

2004中野区政世論調査

2005年(平成17年)1月

中 野 区

はじめに

中野区では区政課題の解決にあたり、区民の皆さまのご意見を聴くことが重要と考え、さまざまな広聴事業を実施しています。

その一つである中野区政世論調査は、区民の皆さまのご意見を科学的に調査・分析するもので、1971年（昭和46年）から区政の重要課題をテーマとして毎年実施（ただし1977年のみ未実施）しており、今回で33回目となります。

今年度は、「健康」「スポーツ活動」「学習活動（スポーツ以外）」「震災対策」「インターネットの利用」をテーマに、また、毎回、継続して行う調査として「生活環境の満足度」「施策への要望」「定住意向」について伺いました。

さらに、区政運営の指針となる「中野区基本構想」やその基本計画である「新しい中野をつくる10か年計画」における区政目標や、仕事の見直しを進めるための行政評価で必要とする事項について伺いました。

調査結果は、今後の区政運営の貴重な資料として活用させていただきます。

最後になりましたが、今回の調査の実施にあたり、ご協力いただきました区民並びに関係者の皆さまに、心からお礼を申し上げます。

2005年（平成17年）1月

中野区総務部広聴広報分野

I 調査実施の概要

目 次

I 調査実施の概要	1
1. 調査のあらまし	3
(1) 調査の目的	3
(2) 調査内容	3
(3) 調査設計	3
(4) 回収結果	3
(5) 地域センター別調査区域図	4
(6) 地域センター担当区域一覧	4
2. 報告書の見方	5
3. 回答者の属性	6
4. 質問と回答	8
II 調査結果の詳細	27
〈テーマ別調査〉	
1. 「健康」について	29
(1) 自分の健康状態（問1）	29
(2) 健康への気配り（問2）	31
(3) 健康診断の受診状況（問3）	34
(4) 受けた健康診断の実施主体（問3-1）	36
(5) 健康診断の内容（問3-2）	37
(6) 診断結果の活用（問3-3）	38
(7) 健康診断を受けなかった理由（問3-4）	39
(8) 健康づくりへの要望（問4）	40
2. 「スポーツ活動」について	42
(1) スポーツを行う頻度（問5）	42
(2) スポーツを行わない理由（問5-1）	45
(3) 現在行っている、または行ってみたいスポーツ（問6）	46
(4) ボランティアとしてスポーツ活動に関わる意向（問7）	48
(5) ボランティアとしてのスポーツ活動への関わり方（問7-1）	50
3. 「学習活動（スポーツ以外）」について	51
(1) 学習や趣味などの活動状況（問8）	51
(2) 現在行っている、または行ってみたい学習や趣味（問9）	54
(3) 学んだ成果を社会の中で活かしたいか（問9-1）	55
(4) 学んだ成果の活かし方（問9-1-1）	57
4. 「震災対策」について	58
(1) 震災に対する家庭での備え（問10）	58
(2) 耐震相談窓口の周知度（問11）	60

(3) 耐震相談を受ける意向 (問12)	63
5. 「インターネットの利用」について	65
(1) 仕事以外でのインターネットの利用状況 (問13)	65
(2) インターネットの利用目的 (問13-1)	67
(3) インターネットへの接続方法 (問13-2)	68

〈経年調査〉

6. 「生活環境の満足度」について	69
(1) 生活環境の満足度 (問14)	69
7. 「施策への要望」について	73
(1) 施策への要望 (問15)	73
8. 「定住意向」について	82
(1) 定住意向 (問17)	82
(2) 住み続ける理由 (問17-1)	85
(3) 転出する理由 (問17-2)	87

〈区政目標・行政評価で活用する調査〉

9. 「新しい中野をつくる10か年計画」に関する事項等	88
(1) 区(本庁舎)の窓口の利用状況 (問18)	88
(2) 職員の窓口対応 (問18-1)	88
(3) 電話による区(本庁舎)への問い合わせ状況 (問19)	89
(4) 職員の電話対応 (問19-1)	89
(5) 住まいの満足度 (問20)	90
(6) 周辺道路の満足度 (問21)	91
(7) 地域情報の入手状況 (問22)	91
(8) 学習・スポーツ情報の入手状況 (問23)	92
(9) 図書館サービスの満足度 (問24)	92
(10) 区民の意見・要望の反映度 (問25)	93
(11) 環境にやさしい行動をしているか (問26)	93
(12) 地域活動やボランティア活動の参加状況 (問27)	94
(13) 介護保険制度に対する評価 (問28)	94
(14) 性別役割分業の考え方をなくすべきか (問29)	95
(15) 男女平等意識 (問30)	95
(16) 男女が多様な働き方ができるようになるべきか (問31)	96
(17) 子ども総合相談窓口の周知度 (問32)	96
(18) 住民税の認知度 (問33)	97

III 結果の数表	99
-----------	----

1. 調査のあらまし

(1) 調査目的

区政の重要課題に対する区民の意識・要望などを把握し、今後の区政運営の基礎資料とする。

(2) 調査内容

- ① 健康について
- ② スポーツ活動について
- ③ 学習活動（スポーツ以外）について
- ④ 震災対策について
- ⑤ インターネットの利用について
- ⑥ 生活環境の満足度について
- ⑦ 施策への要望について
- ⑧ 定住意向について
- ⑨ 「新しい中野をつくる10か年計画」に関する事項等

(3) 調査設計

- ① 調査地域 中野区全域
- ② 調査対象 中野区内に住む満20歳以上の男女個人
- ③ 標本数 1,300人
- ④ 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- ⑤ 調査方法 調査員による訪問配付、訪問回収法
- ⑥ 調査期間 平成16年7月11日（日）～7月31日（土）

(4) 回収結果

- ① 標本数 1,300
- ② 有効回収数 1,087（83.6%）
- ③ 回収不能数 213（16.4%）

（内 訳）

合計	転居	長期不在	一時不在	住所不明	拒否	その他
213	47	11	50	23	70	12
(100.0%)	(22.1%)	(5.2%)	(23.5%)	(10.8%)	(32.9%)	(5.6%)

(5) 地域センター別調査区域図

地 域	20歳以上の人口	標 本 数	有効回収数	有効回収率
南 中 野	24,884	140	109	77.9%
弥 生・東 部	40,043	210	150	71.4%
鍋 横・桃 園	29,902	160	147	91.9%
昭 和・東中野	18,663	100	97	97.0%
上高田・新 井	24,636	130	91	70.0%
江古田・沼 袋	31,741	170	151	88.8%
野 方・大 和	33,300	180	147	81.7%
鷺 宮・上鷺宮	39,583	210	195	92.9%
計	242,752	1,300	1,087	83.6%

※20歳以上の人口は平成16年7月2日現在

(6) 地域センター担当区域一覧

地 域	担 当 町 丁
南 中 野	南台1～5丁目、弥生町1～2丁目の一部、弥生町3～6丁目
弥 生・東 部	弥生町1～2丁目の一部、本町1～3丁目、本町4丁目の一部、中央1～2丁目 中央3丁目の一部、東中野1～2丁目、東中野4丁目の一部、中野1丁目の一部
鍋 横・桃 園	本町4丁目の一部、本町5～6丁目、中央3丁目の一部、中央4～5丁目、 中野1丁目の一部、中野2～3丁目、中野4～5丁目の一部
昭 和・東中野	東中野3・5丁目、東中野4丁目の一部、中野5丁目の一部、中野6丁目 上高田1～2丁目の一部、新井1丁目の一部
上高田・新 井	上高田1～2丁目の一部、上高田3～5丁目、中野4～5丁目の一部、 新井1～3丁目の一部、新井4～5丁目
江古田・沼 袋	松が丘1～2丁目、江原町1～3丁目、江古田1～4丁目、沼袋1～4丁目
野 方・大 和	中野4丁目の一部、新井2～3丁目の一部、丸山1丁目、丸山2丁目の一部、 野方1～4丁目、野方5～6丁目の一部、大和町1～3丁目、大和町4丁目の一部、 若宮1～2丁目の一部
鷺 宮・上鷺宮	丸山2丁目の一部、野方5～6丁目の一部、大和町4丁目の一部、若宮1～2丁目の一 部、若宮3丁目、白鷺1～3丁目、鷺宮1～6丁目、上鷺宮1～5丁目

2. 報告書の見方

(1) 図表中に示してある「n」は、その設問の対象となる回答者総数である。

図表及び「Ⅲ 結果の数表」で表側では「その他」及び「無回答」を除いている場合がある。したがって、各回答者数の合計が回答者総数を下回る場合がある。

また、いくつでも○（複数回答）などの場合は回答が2つ以上ありうる。したがって、合計比は100%を超える。

(2) 百分比は「n」を100%として算出し、本文及び図表中では原則として小数第2位を四捨五入して小数第1位まで示した。このため、百分比の合計が100%に満たない、または上回る場合がある。

(3) 標本誤差（サンプル誤差）は、およそ下表のとおりである。二段抽出の場合の標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数（n）、及び回答の比率（P）によって異なる。

$$b = 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差

N = 母集団数（中野区の20歳以上の人口）

n = 比率算出の基礎（サンプル数）

P = 回答比率

※なお、対象サンプル数（n）に比べて、母集団の大きさ（N）が十分に大きい場合には、 $(N-n) / (N-1) \div 1$ とみなすことができ、下表はこれにより算出した。

回答比率（p） 基数（n）	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,087	±2.6	±3.4	±3.9	±4.2	±4.3
1,000	±2.7	±3.6	±4.1	±4.4	±4.5
800	±3.0	±4.0	±4.6	±4.9	±5.0
600	±3.5	±4.6	±5.3	±5.7	±5.8
400	±4.2	±5.7	±6.5	±7.0	±7.1
200	±6.0	±8.0	±9.2	±9.8	±10.0
100	±8.5	±11.3	±13.0	±13.9	±14.1

※この表の見方は次のとおりである。

例えば「ある設問の回答者数が1,087人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±4.2%以内（55.8～64.2%）である」とみることができる。

3. 回答者の属性

図1 性別

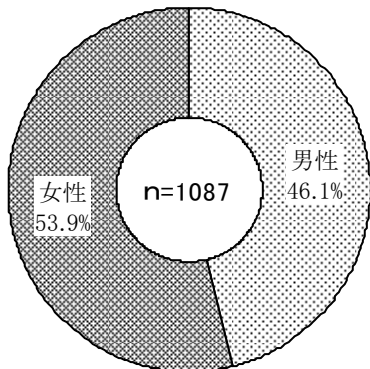


図2 年代別

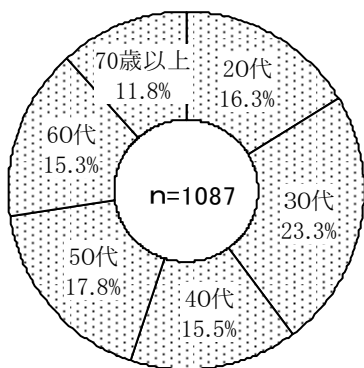


図3 性・年代別

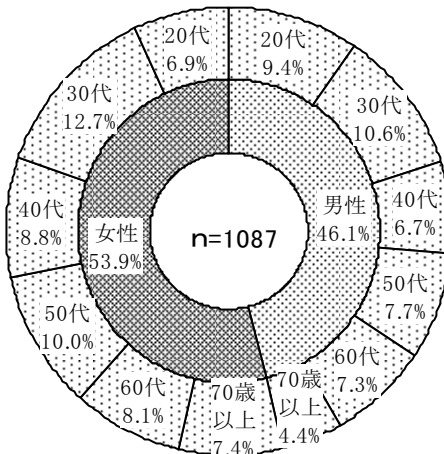


図4 母集団との比較 一性・年代別一

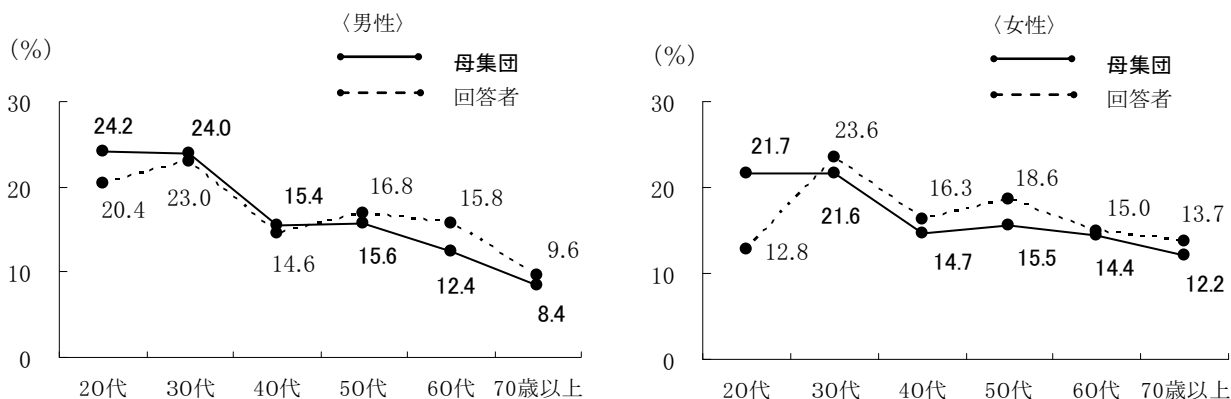


図5 職業

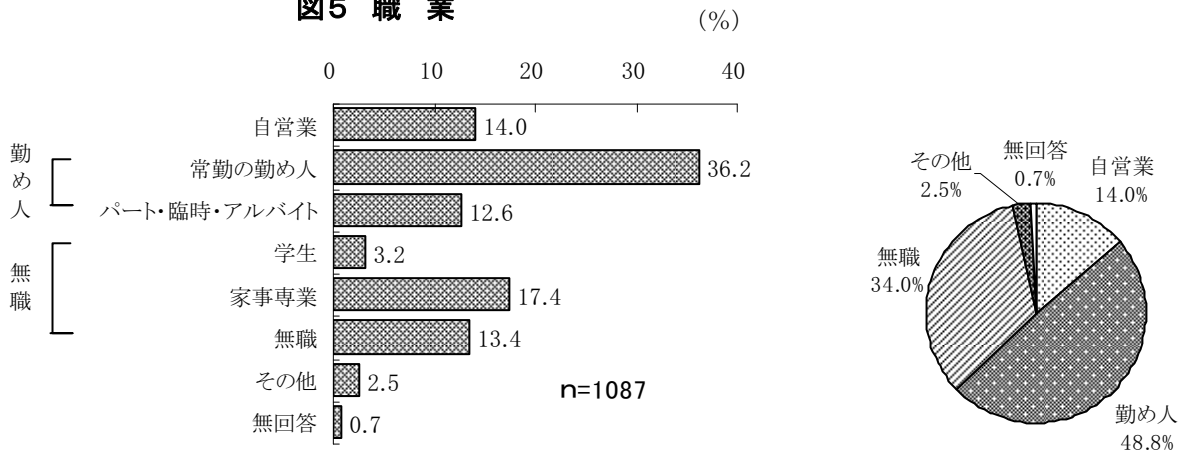


図6 通勤・通学先

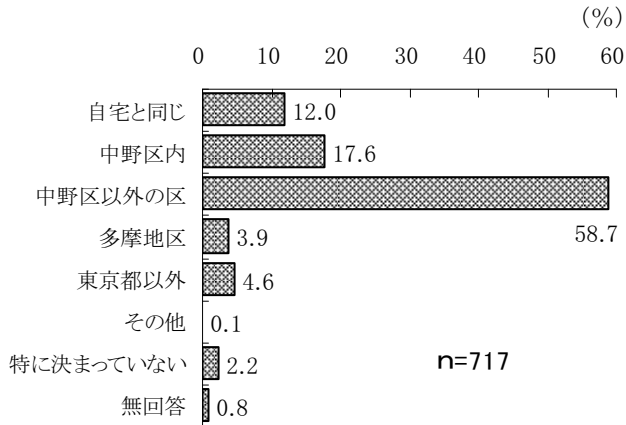


図7 世帯構成

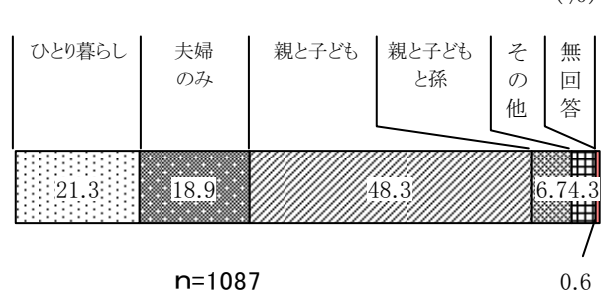


図8 居住形態

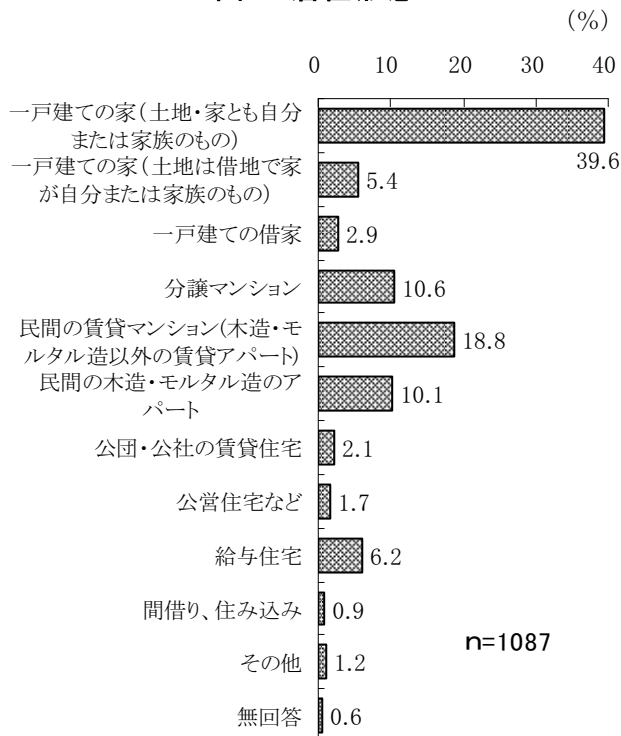
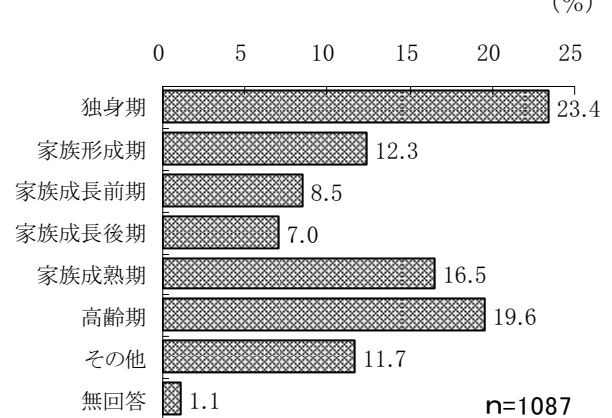


図9 ライフステージ



独身期 → 20・30代の独身
 家族形成期 → 20・30代で子どもがいない夫婦、一番上の子どもが小学校入学前
 家族成長前期 → 一番上の子どもが小・中学生
 家族成長後期 → 一番上の子どもが高校・大学生
 家族成熟期 → 本人が64歳以下で、一番上の子どもが学校卒業
 高齢期 → 65歳以上
 その他 → 40～64歳で独身か夫婦のみ

図10 居住年数

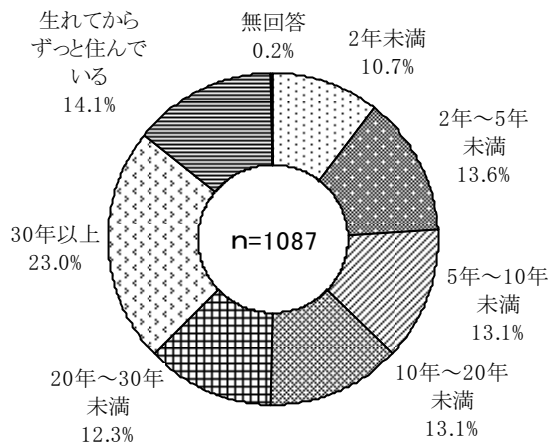
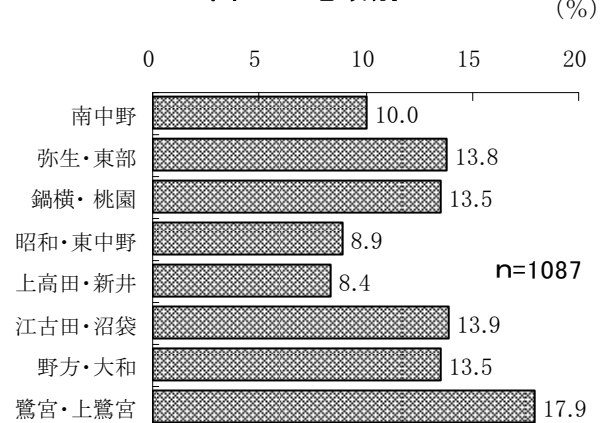


図11 地域別



4. 質問と回答

〈注〉(1) 表右上のnはその質問の回答者総数。

(2) 表内の数値は回答者総数に対する構成比(%)。

* 数値は、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%を0.1~0.2%程度前後することがある。

(3) 複数回答の場合は、比率を合計すると100%を超える場合がある。

【健康についてうかがいます】

問1 あなたは、ご自分の健康状態をどのように感じていますか。(1つに○)

n=1,087

1	良い	30.6
2	まあ良い	51.4
3	あまり良くない	13.9
4	良くない	3.7
	無回答	0.4

問2 あなたは日頃、日常生活の中で健康に気を配っていますか。(1つに○)

n=1,087

1	よく気を配っている	25.8
2	やや気を配っている	55.8
3	あまり気を配っていない	16.3
4	まったく気を配っていない	1.7
	無回答	0.4

問3 あなたは、この1年間に健康診断を受けましたか。

n=1,087

1	受けた	68.3
2	受けなかった	31.4
	無回答	0.4

【問3で“1”に○をつけた方に】

問3-1 それはどこが行う健康診断ですか。(いくつでも○)

n=742

1	区が実施する健康診断(区民健診)	32.9
2	会社が実施する健康診断	46.8
3	学校が実施する健康診断	3.9
4	自費で受ける健康診断	22.8
5	その他(具体的に)	4.4
	無回答	1.6

問3-2 受けた健康診断の内容は何ですか。(いくつでも○)

		n=742
1	基本健康診査（血圧、尿、胸部X線など）	89.6
2	胃がん検診	23.6
3	子宮がん検診	17.5
4	乳がん検診	15.5
5	肺がん検診	11.6
6	大腸がん検診	28.0
7	喉頭がん検診	3.0
8	眼科検診	21.8
9	歯科健診	14.4
10	その他（具体的に)	5.3
	無回答	2.7

問3-3 あなたは、その診断結果をどのように活用しましたか。(いくつでも○)

		n=742
1	前回の結果と比較して健康状態を確かめた	63.7
2	食事や運動などの生活習慣を見直した	29.4
3	病院へ行って医師に相談した	18.1
4	保健所が行っている健康や栄養についての相談を受けた	1.5
5	家族や友人に結果を見せて相談した	7.7
6	その他（具体的に)	2.2
7	気になることがあったが、何もしなかった	5.4
8	気になることがなかったので、何もしなかった	20.6
	無回答	1.9

【問3で“2”に○をつけた方に】

問3-4 健康診断を受けなかった主な理由は何ですか。(1つに○)

		n=341
1	健康なので必要と思わないから	20.2
2	病気で医師にかかっているから	9.7
3	区が健康診断を行っていることを知らなかったから	8.2
4	忙しかったから	26.7
5	費用がかかるから	8.5
6	結果が怖かったから	1.8
7	健康診断をあまり信用していないから	1.5
8	面倒だから	12.9
9	その他（具体的に)	8.2
	無回答	2.3

問4 区民の健康を守るために、中野区ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。

(3つ以内に○)

n=1,087

1	健康診断の充実	45.0
2	ストレスなど心の健康についての相談	18.5
3	運動や栄養など、生活習慣改善のための講座や相談体制の充実	12.2
4	分煙や禁煙など喫煙対策	18.4
5	健康づくりのためのスポーツ施設の整備	34.6
6	健康づくり情報の提供	14.5
7	健康づくり自主グループへの支援	2.3
8	休日診療やかかりつけ医づくりなど医療体制の充実	37.7
9	医療情報の提供	21.3
10	住まいの衛生など、生活環境の改善	9.0
11	飲食店などの監視や食品の安全性確保	12.1
12	感染症や集団中毒などの非常時における健康危機管理体制の強化	14.3
13	その他(具体的に)	2.4
	無回答	4.4

【スポーツ活動についてうかがいます】

問5 あなたは、日頃、スポーツをどの程度行っていますか。季節によって違うものについては、一番よく行う季節のことでお答えください。(1つに○)

n=1,087

1	ほぼ毎日	4.4	5	年に数回程度	15.9
2	週に3~4回程度	5.9	6	行っていない	43.0
3	週に1~2回程度	17.9		無回答	0.7
4	月に1~2回程度	12.1			

【問5で“5”“6”に○をつけた方に】

問5-1 スポーツをあまり行っていない(または行っていない)主な理由は何ですか。

(2つ以内に○)

n=640

1	忙しくて時間がないから	48.0	6	費用がかかるから	15.8
2	仕事や家事で疲れているから	30.3	7	スポーツが好きでないから	13.6
3	身体上の事情で	12.8	8	その他(具体的に)	5.9
4	場所や施設がないから	15.3		無回答	1.9
5	仲間がないから	8.0			

問6 あなたが現在、主に行っている、または行ってみたいスポーツは何ですか。(3つ以内に○)

n=1,087

1 ウォーキング	36.0	10 テニス	14.7
2 ジョギング	8.7	11 バドミントン	5.2
3 水泳・水中ウォーキング	41.1	12 卓球	5.3
4 ゴルフ	15.9	13 バレーボール	4.0
5 野球・ソフトボール	6.0	14 エアロビクス・ダンス	14.4
6 サッカー	4.0	15 その他(具体的に)	13.3
7 バasketボール	2.8	16 スポーツをやりたいと思わ ない	6.8
8 剣道	1.4	無回答	5.1
9 柔道	1.0		

問7 あなたは、ボランティアとして地域のスポーツ活動の運営などに関わりたいと思いますか。(スポーツをやらない方もご回答ください)

n=1,087

1 すでに関わっている	2.5	4 わからない	35.9
2 機会があれば関わってみたい	23.6	無回答	3.1
3 関わりたくない	35.0		

【問7で“2”に○をつけた方に】

問7-1 主にどのような形で関わってみたいと思いますか。(2つ以内に○)

n=256

1 学校スポーツ開放、スポーツクラブの育成や企画・運営	40.2
2 スポーツグループ、サークル活動の指導者	17.6
3 町会、自治会のスポーツイベントの企画・運営	30.9
4 障害のある方のスポーツに関すること	24.6
5 その他(具体的に)	5.5
無回答	2.7

【学習活動(スポーツ以外)についてうかがいます】

問8 あなたは、この1年間に、講座の受講や習い事、自宅などで学習や趣味などの活動を行いましたか。

n=1,087

1 行った	39.7
2 行わなかった	56.0
無回答	4.2

問9 あなたが現在、主に行っている、または、行ってみたい学習や趣味などがありますか。

(3つ以内に○)

n=1,087

1	教養的なもの（歴史、文学、哲学、宗教、科学など）	20.1
2	芸術・文化的なもの（華道、茶道、音楽、美術、写真、映画、歌舞伎など）	38.5
3	生活技術に関するもの（料理、洋裁、日曜大工、ガーデニングなど）	25.8
4	娯楽的なもの（囲碁、将棋、手品など）	6.3
5	野外活動（キャンプ、釣り、ハイキングなど）	15.5
6	仕事に必要な技能、資格取得など	17.2
7	パソコンなど情報化社会に必要な知識、技能	26.5
8	外国語の習得や、国際交流など	21.3
9	地域の伝統的な文化・芸能に関すること（お祭り、郷土芸能など）	3.5
10	子育て、教育に関すること	6.9
11	健康づくり、医療に関すること	8.6
12	ボランティア活動に関すること（手話、点字、介護など）	5.3
13	区政課題や社会問題に関すること（経済、福祉、環境問題、区の重点政策など）	3.5
14	その他（具体的に)	2.9
15	やりたいと思うものはない	8.3
	無回答	4.2

【問9で“1～14”のいずれかに○をつけた方に】

問9-1 あなたは、学んだ成果を実際に社会の中で活かしてみたいと思いますか。

n=951

1	活かしてみたい	56.7
2	そう思わない	38.3
	無回答	5.0

【問9-1で“1”に○をつけた方に】

問9-1-1 それは、主にどのような活動ですか。（2つ以内に○）

n=539

1	地域でのボランティア活動やNPO活動など	29.9
2	指導者として、自分の持つ知識や技能を教える活動	17.4
3	区政への参加（意見・要望の提出、各種委員等への応募など）	6.7
4	学んだことを仕事として活かしたい	64.0
5	その他（具体的に)	5.6
	無回答	2.0

【震災対策についてうかがいます】

問 10 あなたのお宅では、地震やそれによる火災が起こったときのために、どのような備えをしていますか。(いくつでも○)

	n=1,087
1 消火器	43.1
2 懐中電灯・ローソク・マッチ	69.5
3 携帯ラジオと乾電池	51.0
4 食料	26.9
5 飲料水	37.4
6 衣類	12.3
7 救急医療品	26.6
8 預金通帳など貴重品の災害時に備えた保管	21.2
9 消火バケツや風呂水のため置き	19.3
10 家具の固定	16.6
11 家族で避難場所や連絡方法などを話し合っている	16.9
12 その他(具体的に)	1.3
13 備えていない	16.2
無回答	0.7

問 11 中野区では、今年4月から耐震相談窓口を開設し、住宅などの耐震性や耐震診断などについての相談をお受けしています。あなたは、このことを知っていますか。

	n=1,087
1 知っている	13.2
2 知らない	85.0
無回答	1.7

問 12 あなたは、この耐震相談を受けてみたいと思いますか。

	n=1,087
1 受けてみたい	15.4
2 今は受けたいと思わないが、将来、受けてみたい	39.0
3 受けたいと思わない	19.6
4 わからない	22.8
無回答	3.2

【インターネットの利用についてうかがいます】

問 13 現在、あなたは仕事以外でインターネットを利用していますか。(いくつでも○)

n=1,087

1	パソコンで利用している（区立施設に設置した区民公開用インターネット端末を除く）	48.5
2	区立施設に設置した区民公開用インターネット端末で利用している	0.6
3	携帯電話やPHSで利用している	30.2
4	ゲーム機で利用している	4.8
5	PDA（携帯情報端末）で利用している	1.6
6	固定電話（Lモード）で利用している	1.3
7	その他（具体的に	0.5
8	利用していない	38.9
	無回答	4.2

【問 13 で “ 1 ～ 7 ” のいずれかに○をつけた方に】

問 13-1 インターネットを利用する目的は何ですか。(いくつでも○)

n=618

1	ホームページからの情報収集	85.1
2	電子メールのやりとり	74.4
3	チャットや掲示板サービス	16.5
4	インターネットを使った電話サービス（IP電話、テレビ電話など）	9.9
5	書籍や衣類、チケットなど商品の購入・予約	40.1
6	オークションによる商品の売買	14.4
7	音楽や映画、写真などの電子データの購入や鑑賞	19.3
8	有料で提供されている情報の利用	7.8
9	飛行機や列車、ホテルなどの予約	36.2
10	金融機関や証券会社などとの取引	16.7
11	ホームページの作成及び公開	7.9
12	オンラインゲーム	10.5
13	国や地方自治体への電子申請	1.1
14	その他（具体的に	1.3
	無回答	1.1

【問 13 で “ 1 ” “ 4 ” に○をつけた方に】

問 13-2 パソコン、ゲーム機でのインターネットへの接続方法は次のうちどれですか。

(1つに○)

	n=540
1 ダイヤルアップ (電話回線)	16.3
2 ADSL (高速の電話回線)	46.5
3 FTTH (光回線)	13.5
4 ケーブルテレビ	13.5
5 その他 (具体的に)	1.5
6 わからない	3.5
無回答	5.2

【住みやすさの満足度についてうかがいます】

問 14 あなたは、自宅周辺の生活環境についてどのように感じていますか。

各項目ごとにお答えください。(1つずつ○)

各 n=1,087

	良い	どちらか といえば 良い	どちらか といえば 悪い	悪い	無回答
ア 交通の便	58.8	32.5	6.0	2.0	0.7
イ 買い物の便	45.6	39.7	11.0	2.6	1.0
ウ みどりの豊かさ	11.3	38.0	32.8	14.8	3.1
エ 公園や広場	10.6	37.4	33.3	15.3	3.4
オ 近所付き合い	11.8	41.7	28.3	16.0	2.2
カ 交通の安全性	11.1	44.6	30.5	10.9	2.9
キ 災害時の安全性	5.5	38.5	37.4	14.2	4.5
ク 風紀や治安	8.5	54.6	25.6	8.6	2.9
ケ 景観や街並み	10.1	47.9	30.8	8.3	2.9
コ 騒音や大気汚染	5.1	34.5	34.9	22.4	3.2
サ ごみ出しやリサイクル	14.5	55.8	20.6	6.3	2.8
シ 全体としての住みやすさ	17.2	65.6	12.4	2.6	2.2

【施策への要望についてうかがいます】

問 15 つぎにあげる施策の中で、今後特に力をいれてほしいものを3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけてください。

	第1位	第2位	第3位	総 合
	n=1,087	n=1,087	n=1,087	n=1,087
1 平和	12.8	1.7	2.4	16.8
2 人権	1.8	2.7	0.7	5.2
3 情報化（IT）の推進	1.8	0.7	1.7	4.3
4 防災	6.9	8.6	4.7	20.2
5 地域・自治活動	0.4	0.6	0.8	1.8
6 防犯	17.4	15.7	10.5	43.6
7 産業振興（産業・商店街の活性化、中小企業支援など）	2.0	2.0	2.3	6.3
8 消費者支援	0.7	1.7	2.4	4.8
9 みどり・環境向上（緑化の助成、景観行動の推進、まちの美化など）	5.5	5.6	6.4	17.6
10 ごみ対策（ごみの収集、リサイクルなど）	3.1	5.1	4.5	12.7
11 子育て支援	7.2	3.6	3.3	14.1
12 青少年育成	1.7	2.2	2.8	6.6
13 男女平等	0.4	0.5	0.6	1.5
14 健康（区民健診、健康相談、介護予防など）	7.5	10.5	6.9	24.9
15 公衆衛生（害虫防除、食品衛生、公害防止など）	1.4	2.6	4.5	8.5
16 高齢者福祉	8.5	9.4	7.6	25.5
17 障害者福祉	1.6	1.8	1.8	5.2
18 低所得者支援	2.7	2.9	2.8	8.3
19 道路整備	1.2	2.6	1.8	5.6
20 公園整備	0.5	3.1	3.5	7.1
21 住宅対策	1.8	3.1	3.8	8.7
22 駅前などの重点まちづくり	2.9	2.9	5.9	11.7
23 学校教育	3.2	3.8	3.8	10.8
24 文化・スポーツ	2.5	2.3	6.4	11.2
25 その他（具体的に)	1.1	0.3	0.7	2.1
26 特になし	1.0	—	—	1.0
無回答	2.4	4.1	7.2	2.4

【定住性についてうかがいます】

問 16 あなたは、中野区にお住まいになって何年になりますか。(1つに○)

n=1,087

1	2年未満	10.7
2	2年～5年未満	13.6
3	5年～10年未満	13.1
4	10年～20年未満	13.1
5	20年～30年未満	12.3
6	30年以上	23.0
7	生まれてからずっと住んでいる	14.1
	無回答	0.2

問 17 これからも引き続いて中野区にお住まいになりますか。(1つに○)

n=1,087

1	ずっと住み続けるつもり	32.2
2	今のところは住み続けるつもり	48.1
3	いずれ転出するつもり	9.7
4	近いうち転出するつもり	2.4
5	わからない	7.5
	無回答	0.2

【問 17 で “ 1 ” “ 2 ” に ○ を つ け た 方 に】

問 17-1 あなたが中野区に住み続ける主な理由は何ですか(3つ以内に○)

n=873

1	自分の家(土地)があるから	58.2
2	家賃(地代)が安いから	6.1
3	通勤・通学に便利だから	35.6
4	買い物に便利だから	24.5
5	子育てしやすいから	0.8
6	仕事や商売の関係で	12.8
7	地域での人間関係が良いから	9.0
8	周囲の環境が良いから	10.3
9	まちの雰囲気が好きだから	7.1
10	親や子どもなど、親族が近く(または一緒)にいるから	16.8
11	住宅に満足しているから	7.0
12	物価が安いから	3.3
13	土地になじみや愛着があるから	24.3
14	その他(具体的に)	2.9
15	特に理由はない	1.9
	無回答	1.5

【問 17 で “ 3 ” “ 4 ” に○をつけた方に】

問 17-2 あなたが中野区から転出する主な理由は何ですか（3つ以内に○）

	n=131
1 自分の家（土地）でないから	51.1
2 家賃（地代）が高いから	18.3
3 通勤・通学に不便だから	4.6
4 買い物に不便だから	1.5
5 子育てしにくいから	1.5
6 仕事や商売の関係で	27.5
7 地域での人間関係が悪いから	3.8
8 周囲の環境が悪いから	9.2
9 まちの雰囲気が嫌いだから	5.3
10 親や子どもなど、親族の近く（または一緒）に住みたいから	10.7
11 住宅に不満をもっているから	13.0
12 物価が高いから	2.3
13 土地になじみや愛着がないから	8.4
14 その他（具体的に)	18.3
15 特に理由はない	1.5

※ここからは「新しい中野をつくる10か年計画」に関する設問です。

区は現在、区政運営の指針となる「中野区基本構想」の改定と、同構想の内容を具体化するための基本計画である「新しい中野をつくる10か年計画」の策定に取り組んでいます。

区ではこれまでも目標に対する成果を評価し、仕事の見直しを進める取り組みを行ってきました。この計画においても各項目ごとに達成すべき目標を定めます。

次の設問はこの計画や、これまでの仕事の見直しに活かしていきます。ご協力をお願いします。

【満足度をうかがいます】

問18 区は、誰もが気持ちよく利用できる区役所を目標としています。

あなたは、過去1年くらいの間に区役所本庁舎の窓口を利用したことがありますか。

	n=1,087
1 ある	58.2
2 ない	40.8
無回答	1.0

【問18で“1”に○をつけた方に】

問18-1 その時の職員の対応はいかがでしたか。(1つに○)

	n=633
1 非常に良い	10.3
2 良い	35.7
3 普通	45.8
4 悪い	6.3
5 非常に悪い	1.9

問19 また、過去1年くらいの間に区役所本庁舎に電話をかけたことがありますか。

	n=1,087
1 ある	39.7
2 ない	58.9
無回答	1.4

【問19で“1”に○をつけた方に】

問19-1 その時の職員の対応はいかがでしたか。(1つに○)

	n=432
1 非常に良い	9.5
2 良い	32.9
3 普通	46.3
4 悪い	8.8
5 非常に悪い	2.5

問 20 区は、安全で快適な住環境づくりを目標にしています。
 あなたは、現在のお住まいにどの程度満足していますか。
 各項目ごとにお答えください。(1つずつ○)

各 n=1,087

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
ア 住宅の広さ、部屋数	25.5	32.3	25.4	14.0	2.9
イ 増改築・修繕のしやすさ	8.6	24.3	32.9	24.0	10.1
ウ 耐震性や耐火性	13.2	34.9	30.2	16.7	5.1
エ 防音性(音の漏れ具合)	10.9	30.9	35.4	18.0	4.7
オ 庭やベランダなどの外部空間	12.2	30.6	30.6	21.3	5.2
カ 日当たりや風通し	24.7	35.9	23.6	12.7	3.2
キ 総合的にみて	14.0	44.1	28.0	10.4	3.6

問 21 区は、地域に応じたまちづくりを進め、安全で快適な生活空間づくりを目標としています。
 あなたは、お住まいの周辺道路にどの程度満足していますか。
 各項目ごとにお答えください。(1つずつ○)

各 n=1,087

	満足	やや満足	やや不満	不満	どちらとも いえない	わからない	無回答
ア 車の流れや渋滞	5.0	23.1	32.3	21.3	8.0	6.4	3.9
イ 車に乗っているときの安全性	3.2	27.8	29.7	12.7	7.1	14.0	5.5
ウ 歩道の歩きやすさ	5.2	21.2	30.8	36.2	2.8	0.9	3.0
エ 沿道の景観	4.0	27.7	31.3	21.4	9.7	2.0	3.9
オ 災害時の避難路としての安心感	2.4	17.2	30.1	30.2	8.4	7.9	3.9
カ 道路補修や維持管理	3.9	26.7	27.4	19.2	9.2	9.5	4.1
キ 総合的にみて	3.0	25.8	34.6	20.4	9.6	2.9	3.7

問 22 区は、地域で自主的な活動を活発に行っていただけるよう、地域の情報を十分提供することを目標としています。

あなたは、お住まいの地域の情報について、地域センターの発行する地域ニュースや区のホームページ、ケーブルテレビなどで得ることができますか。(1つに○)

n=1,087

1 得ることができる	34.4
2 どちらかといえば得ることができる	27.7
3 どちらかといえば得ることができない	9.0
4 得ることができない	9.5
5 わからない	16.5
無回答	2.9

問 23 区は、区民のみなさんに生涯を通して学習・スポーツ活動を続けていただくために、さまざまな方法で情報提供を行うことを目標にしています。

あなたは、地域の学習・スポーツに関して知りたい情報を十分に得ていると感じますか。(1つに○)

n=1,087

1 十分得ている	3.0
2 ある程度得ている	24.9
3 あまり得ていない	40.7
4 全く得ていない	17.3
5 必要としていない	11.6
無回答	2.5

問 24 区は、「区民にとって利用しやすく魅力ある図書館」を目標にしています。

あなたは、現在の図書館サービス(蔵書構成、インターネットサービス、レファレンスサービス、開館日、開館時間など)に満足していますか。(1つに○)

n=1,087

1 満足している	6.2
2 ある程度満足している	21.7
3 少し不満である	12.1
4 不満である	7.5
5 どちらともいえない	11.1
6 わからない	39.2
無回答	2.1

問 25 区は、多くの区民の意見・要望を区政運営に活かすことを目標にしています。

あなたは、現在、区民の意見・要望などが区政に反映されていると思いますか。(1つに○)

n=1,087

1 反映されている	2.6
2 どちらかといえば反映されている	13.9
3 どちらかといえば反映されていない	20.4
4 反映されていない	11.9
5 わからない	48.6
無回答	2.7

【生活状況をうかがいます】

問 26 区は、区民の一人ひとりの方に環境にやさしい生活を送っていただくことを目標にしています。

あなたは、環境にやさしい行動（冷暖房機の温度設定に気をつける、レジ袋を断る、車の停車時にエンジンを切るなど）をしていますか。(1つに○)

n=1,087

1 している	24.9
2 多少はしている	52.4
3 あまりしていない	15.3
4 していない	5.2
無回答	2.1

問 27 区は、ボランティア活動など、区民の自主的な活動が活発に行われる社会を目標としています。

あなたは、この1年間に町会・自治会、PTAなどの地域活動やボランティア活動をしたことがありますか。(1つに○)

n=1,087

1 週に1回以上ある	2.2
2 月に1、2回程度ある	4.8
3 年に数回ある	11.4
4 ない	79.9
無回答	1.7

【ご意見などをうかがいます】

問 28 区は、区民のみなさんが介護保険制度を使ったサービスを利用して、住み慣れた自宅・地域で暮らし続けられることを目標にしています。

介護保険制度が始まって4年が経過し、中野区では現在、約7千人の方がこのサービスを利用して生活しています。あなたは、この制度を全体として評価していますか。(1つに○)

n=1,087

1	大いに評価している	10.8
2	多少は評価している	30.3
3	あまり評価していない	9.3
4	全く評価していない	2.3
5	わからない	45.6
	無回答	1.7

問 29 区は、性別による差別をなくし、男女が参画した立案や決定がされる社会を目標にしています。

あなたは、例えば男は仕事、女は家庭というような性別役割分業の考え方をなくしていくべきだと考えますか。(1つに○)

n=1,087

1	そう思う	33.4
2	ある程度そう思う	36.7
3	あまりそう思わない	11.3
4	そう思わない	5.5
5	どちらともいえない	11.1
	無回答	1.9

問 30 また、社会のあらゆる場面で男性あるいは女性が優遇されていると思いますか。(1つに○)

n=1,087

1	男性が優遇されていると思う	32.6	4	どちらともいえない	45.7
2	女性が優遇されていると思う	7.1		無回答	2.3
3	男女平等だと思う	12.3			

問 31 区は、全ての人に多様な働き方が選択できる社会を目標にしています。

民間企業の中には一人あたりの労働時間を短くして、仕事を分かち合うワークシェアリングを導入するところも出始めています。あなたは、このような方法を用いて男女が多様な働き方ができるようにするべきだと思いますか。(1つに○)

n=1,087

1	そう思う	49.5	4	わからない	15.3
2	そう思わない	9.0		無回答	3.1
3	どちらともいえない	23.1			

問 32 区は、子育てに悩みを持った方がいつでも相談できる場を確保することを目標にしています。
あなたは、区役所内に子ども総合相談窓口（子ども家庭支援センター）があることを知っていますか。

n=1,087

1 知っている	27.4
2 知らない	69.9
無回答	2.7

問 33 区は、区民のみなさんに、税金を納得したうえで負担していただくことを目標にしています。
区民のみなさんが区に納めている住民税は、区民サービスのための基本的な財源です。あなたは、住民税がどのような用途に使われているか知っていますか。（1つに○）

n=1,087

1 知っている	6.0
2 多少は知っている	28.7
3 ほとんど知らない	38.5
4 知らない	24.9
無回答	1.8

【フェースシート】

統計的に処理するために、あなた自身とご家族についてお聞きします。

F 1 あなたの性別はどちらですか。

n=1,087

1 男	46.1	2 女	53.9
-----	------	-----	------

F 2 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。

n=1,087

1 20～24 歳	7.1	7 50～54 歳	8.2
2 25～29 歳	9.2	8 55～59 歳	9.6
3 30～34 歳	11.2	9 60～64 歳	7.5
4 35～39 歳	12.1	10 65～69 歳	7.8
5 40～44 歳	8.8	11 70 歳以上	11.8
6 45～49 歳	6.7		

F 3 あなたのご職業は、次のどれにあたりますか。（主なもの1つに○）

n=1,087

1 自営業	14.0	5 家事専業	17.4
2 常勤の勤め人	36.2	6 無職	13.4
3 パート・臨時・アルバイト	12.6	7 その他（具体的に ）	2.5
4 学生	3.2	無回答	0.7

【F3で“1”“2”“3”“4”に○をつけた方に】

F3-1 勤務先または通学先は、どちらですか。(1つに○)

n=717				
1	自宅と同じ	12.0	5 東京都以外	4.6
2	中野区内	17.6	6 その他(具体的に)	0.1
3	中野区以外の区	58.7	7 特に決まっていない	2.2
4	多摩地区	3.9	無回答	0.8

F4 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(1つに○)

n=1,087		
1	一戸建ての家(土地・家とも自分または家族のもの)	39.6
2	一戸建ての家(土地は借地で家が自分または家族のもの)	5.4
3	一戸建ての借家	2.9
4	分譲マンション	10.6
5	民間の賃貸マンション(木造・モルタル造以外の賃貸アパート)	18.8
6	民間の木造・モルタル造のアパート	10.1
7	公団・公社の賃貸住宅	2.1
8	公営住宅など(都営・区営住宅、区の高齢者アパート・障害者アパート)	1.7
9	給与住宅など(寮、社宅、公務員住宅)	6.2
10	間借り、住み込み	0.9
11	その他(具体的に)	1.2
	無回答	0.6

F5 あなたご自身は、次のどれにあたりますか。(1つに○)

n=1,087		
1	20~30代の独身者	23.4
2	20~30代の子どものいない夫婦または、一番上の子どもが就学前の親	12.3
3	一番上の子どもが小学生~中学生	8.5
4	一番上の子どもが高校生~大学生	7.0
5	64歳以下で、一番上の子どもが学校を卒業している	16.5
6	40~64歳の独身者または、40~64歳の子どものいない夫婦	11.7
7	65歳以上	19.6
	無回答	1.1

F6 現在、いっしょにお住まいのご家族は、あなたを含め、次のどれにあたりますか。(1つに○)

n=1,087				
1	ひとり暮らし	21.3	4 親と子どもと孫	6.7
2	夫婦のみ	18.9	5 その他(具体的に)	4.3
3	親と子ども	48.3	無回答	0.6

Ⅱ 調査結果の詳細

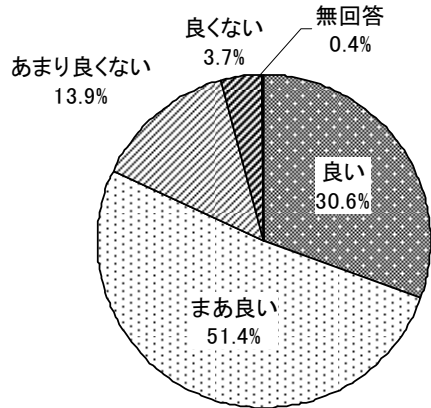
1. 健康について
2. スポーツ活動について
3. 学習活動（スポーツ以外）について
4. 震災対策について
5. インターネットの利用について
6. 生活環境の満足度について
7. 施策への要望について
8. 定住意向について
9. 「新しい中野をつくる10か年計画」に関する事項等

1. 「健康」について

(1) 自分の健康状態……「良い」と「まあ良い」の合計は 82.0%

問1 あなたは、ご自身の健康状態をどのように感じていますか。(1つに○)

図1-1 自分の健康状態



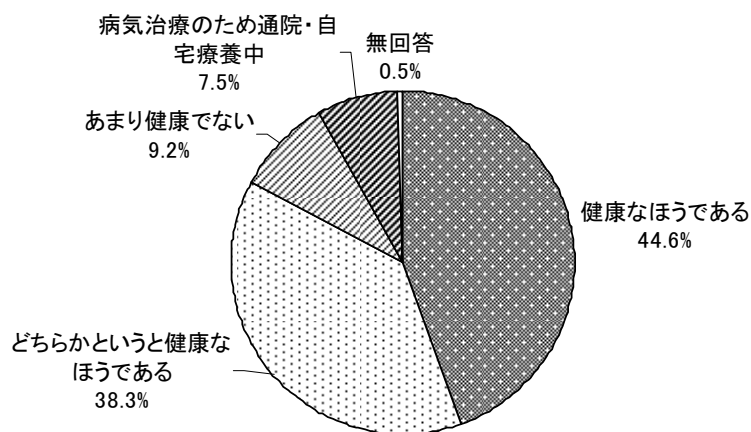
n = 1087

自分の健康状態をどのように感じているかがあったところ、「まあ良い」が51.4%で最も多く、「良い」が30.6%、これらを合計した“健康”は82.0%となっている。「あまり良くない」は13.9%、「良くない」は3.7%だった。

参考までに、選択肢は異なるが1999年度の中野区政世論調査の結果を示す。「健康なほうである」44.6%、「どちらかという健康なほうである」38.3%を合計した“健康”は82.9%であった。「あまり健康ではない」は9.2%だった。

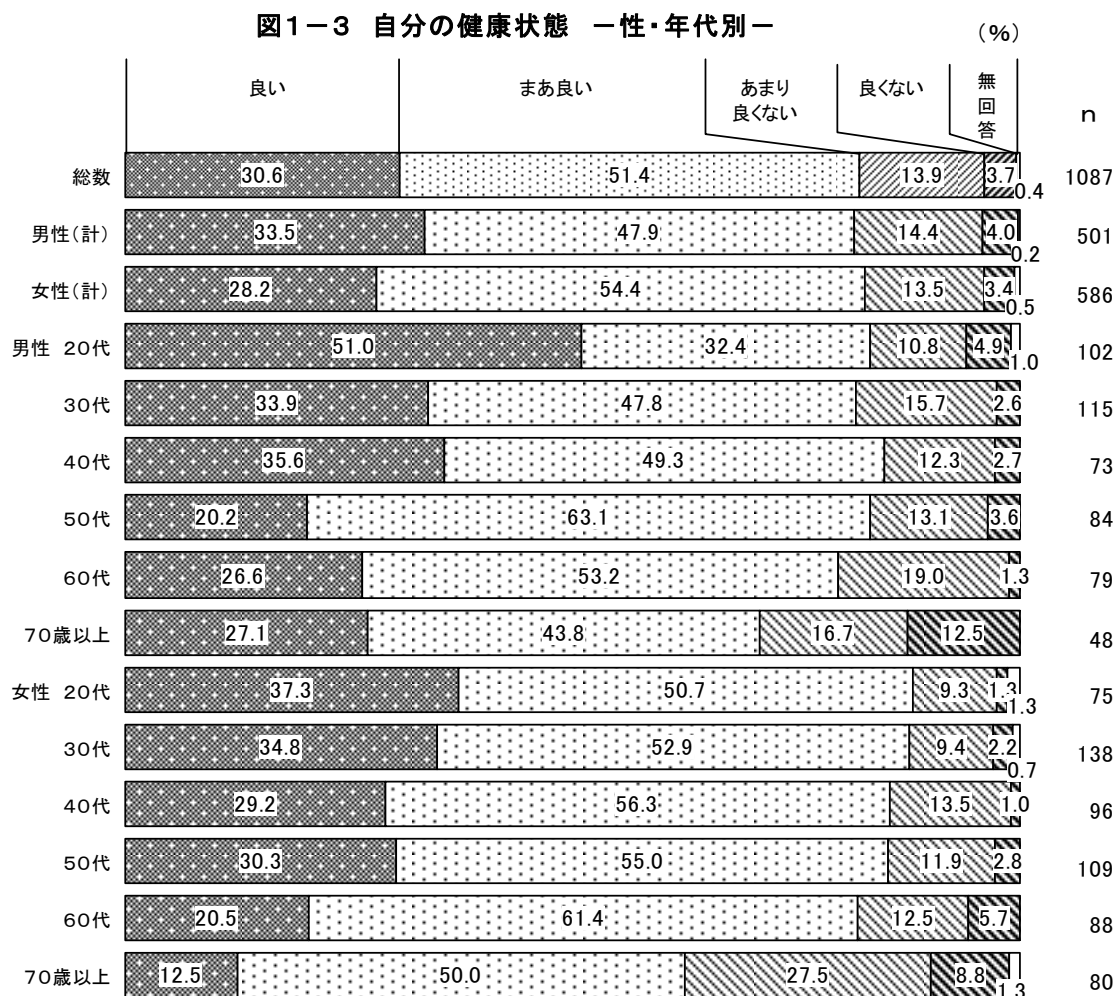
あなたは、ご自身の健康状態をどのように感じていますか。(1つに○)

図1-2 自分の健康状態 -1999年度-



n = 1057

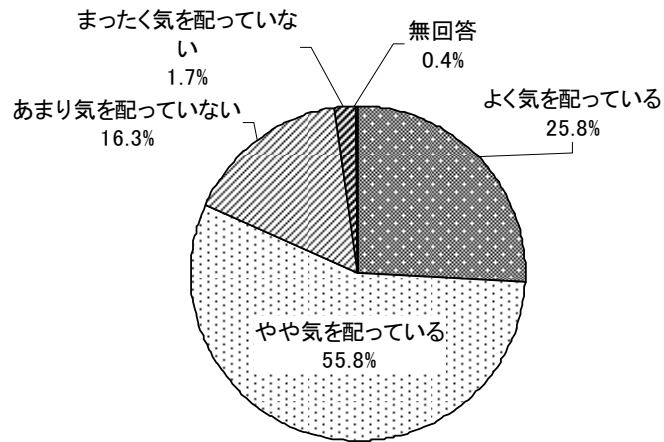
性・年代別でみると、「良い」は男女とも20代が多く、特に男性20代は51.0%で目立っている。一方、「良い」が少ないのは、男性は50代(20.2%)、女性は70歳以上(12.5%)となっている。「まあ良い」と「良い」を合計した“健康”は、男女とも70歳以上が、少なくなっている。「あまり良くない」は、女性70歳以上が27.5%で最も多かった。



(2)健康への気配り……“気を配っている層”は約8割

問2 あなたは日頃、日常生活の中で健康に気を配っていますか。(1つに○)

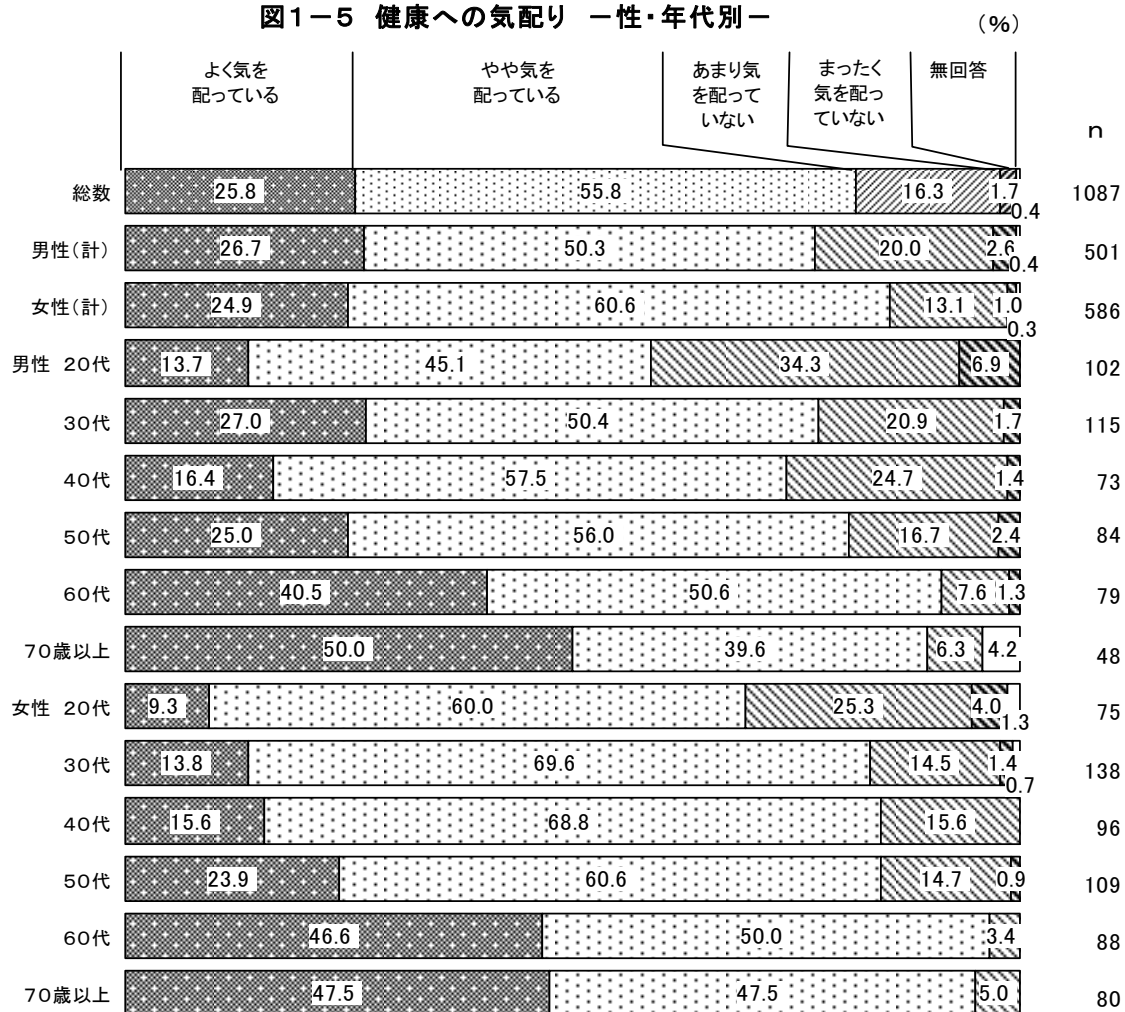
図1-4 健康への気配り



日常生活の中で健康に気を配っているかうかがったところ、「よく気を配っている」25.8%、「やや気を配っている」55.8%、これらを合計した“気を配っている層”は、81.6%だった。一方、「あまり気を配っていない」16.3%、「まったく気を配っていない」1.7%、これらを合計した“気を配っていない層”は18.0%だった。

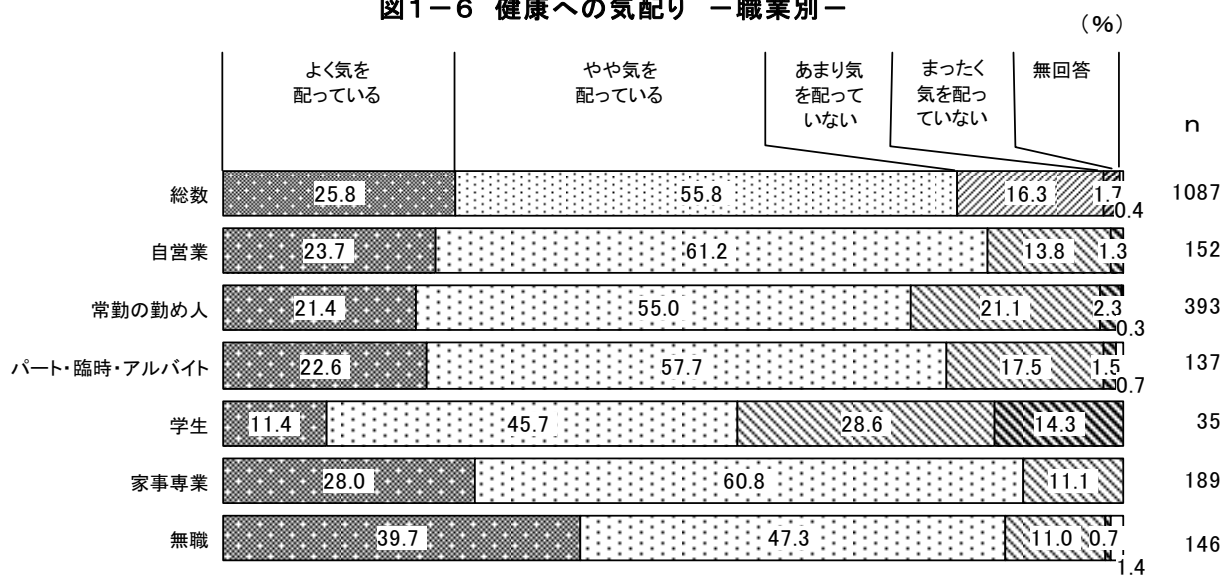
性・年代別でみると、“気を配っている層”は、男女とも60代と70歳以上が多く、「よく気を配っている」は、男性70歳以上50.0%が最も多くなっている。“気を配っていない層”は、男女とも20代が多く、特に男性20代は、約4割が“気を配っていない層”である。

図1-5 健康への気配り -性・年代別-



職業別では、“気を配っている層”は、家事専業 88.8%、と無職 87.0%が多くなっている。“気を配っていない層”が多いのは学生で、4割を超えている。一方、家事専業からは「まったく気を配っていない」は挙げられなかった。

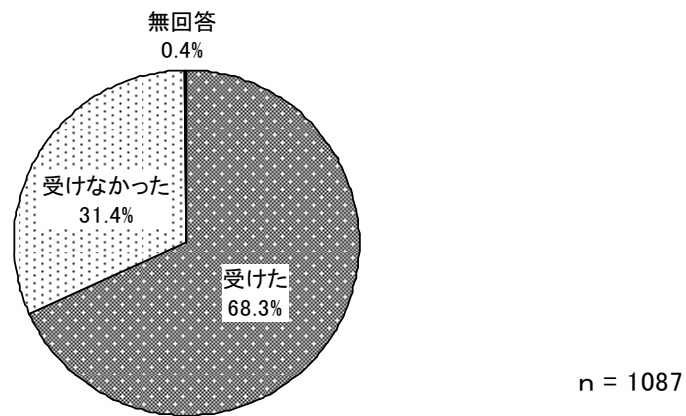
図1-6 健康への気配り -職業別-



(3)健康診断の受診状況……過去1年間の受診率は68.3%

問3 あなたは、この1年間に健康診断を受けましたか。(1つに○)

図1-7 健康診断の受診状況

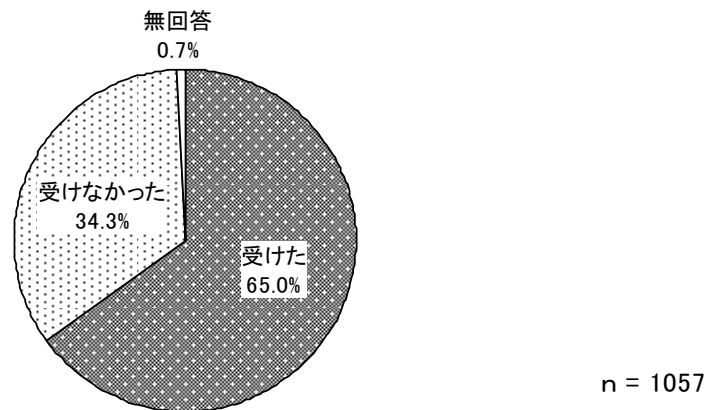


この1年間の健康診断の受診状況をうかがったところ、「受けた」は68.3%、「受けなかった」は31.4%だった。

参考までに、1999年度の中野区政世論調査の結果を示す。「受けた」は65.0%、「受けなかった」は34.3%だった。

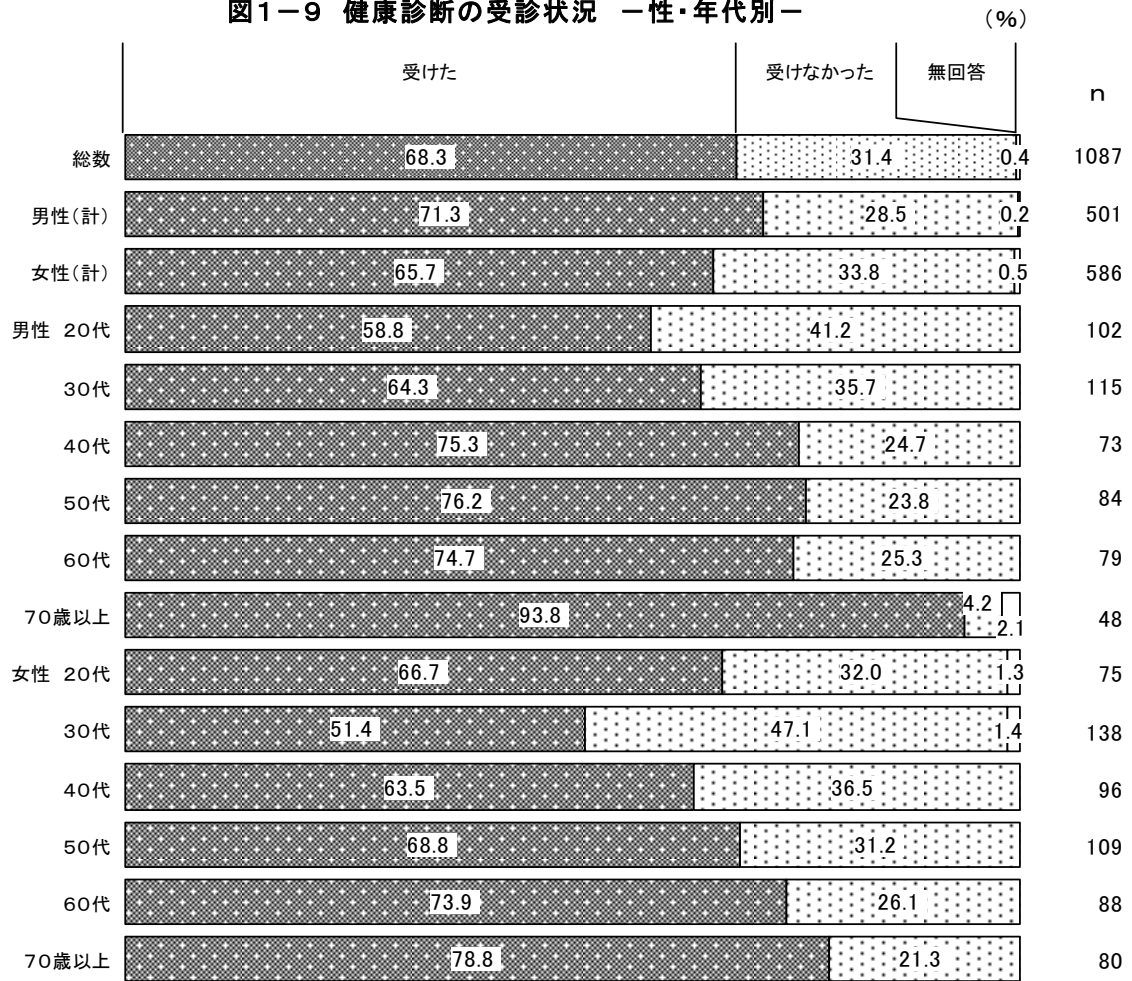
最近1年間に健康診断を受けましたか。

図1-8 健康診断の受診状況 -1999年度-



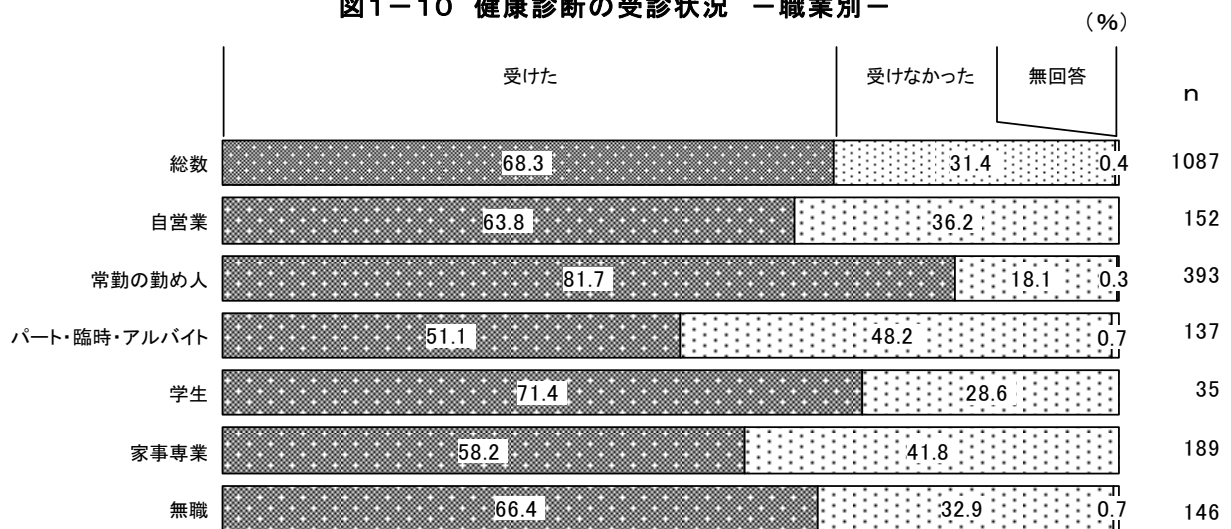
性・年代別でみると、「受けた」は男女とも70歳以上が多く、特に男性70歳以上は93.8%でとても目立っている。一方、女性30代は51.4%ですべての年代で最も少ない。

図1-9 健康診断の受診状況 -性・年代別-



職業別では、「受けた」は多い順に、常勤の勤め人 81.7%、学生 71.4%、無職 66.4%、自営業 63.8%、家事専業 58.2%、パート・臨時・アルバイト 51.1%となっている。

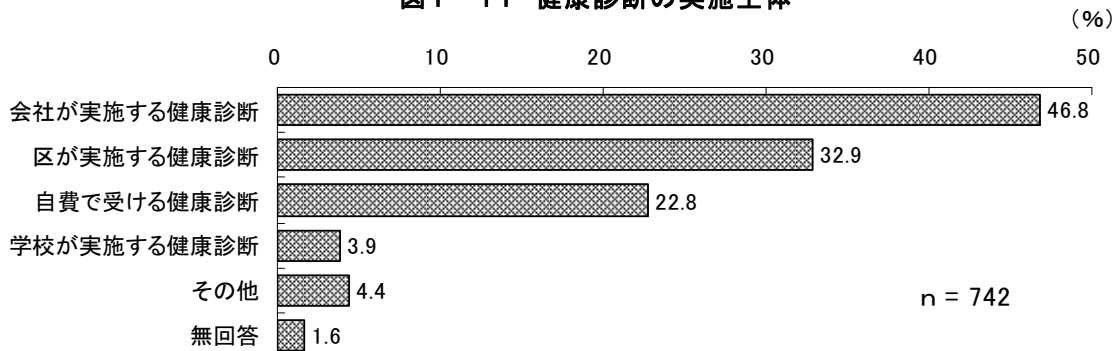
図1-10 健康診断の受診状況 -職業別-



(4) 受けた健康診断の実施主体……会社が実施する健康診断が最も多い
【問3で「1 受けた」という方に】

問3-1 それはどこが行う健康診断ですか。(いくつでも○)

図1-11 健康診断の実施主体



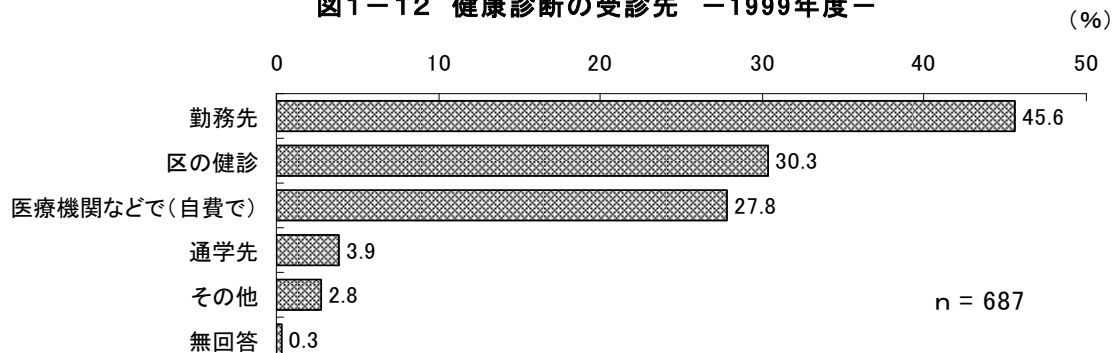
健康診断を「受けた」と答えた人に、それはどこが行う健康診断か、複数回答で該当する項目をすべて挙げてもらった。

その結果、「会社が実施する健康診断」が46.8%で最も多く、続いて「区が実施する健康診断」、32.9%、「自費で受ける健康診断」22.8%となっている。

参考までに、1999年の中野区政世論調査の結果を示す。今回調査と順位は変わらず、「勤務先」が45.6%、「区の健診」30.0%、「医療機関などで（自費で）」27.8%であった。

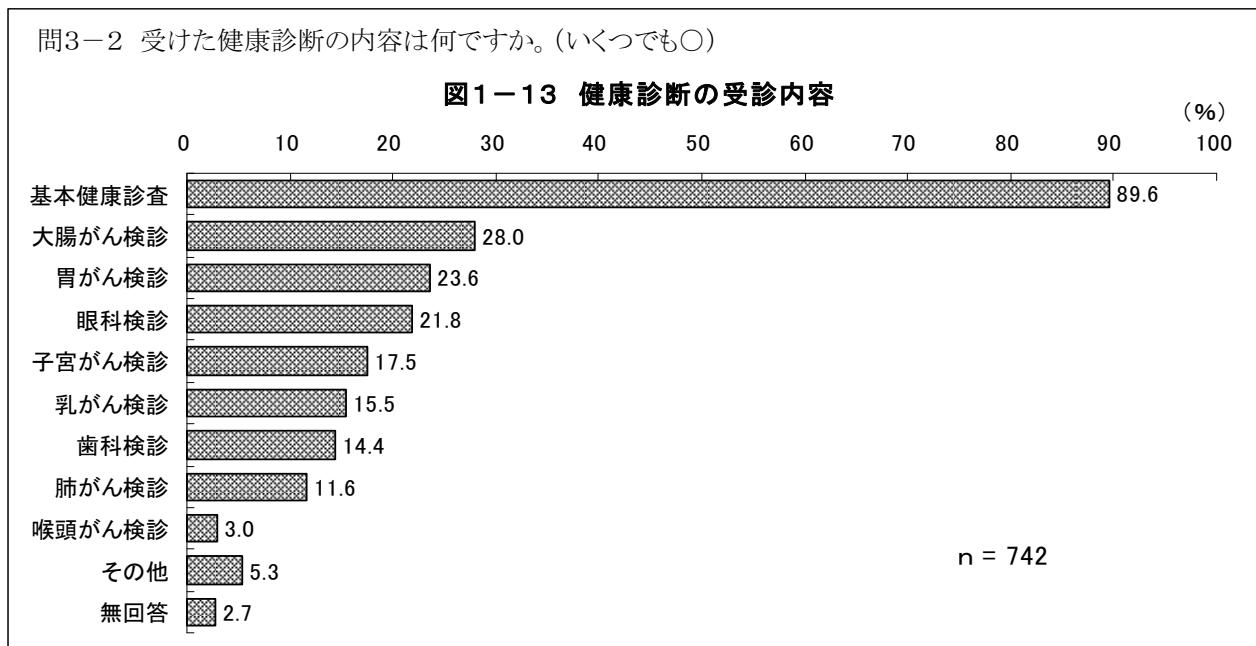
どこで受けましたか。(いくつでも○)

図1-12 健康診断の受診先 -1999年度-



(5)健康診断の受診内容……「基本健康診査」が約9割

【問3で「1 受けた」という方に】



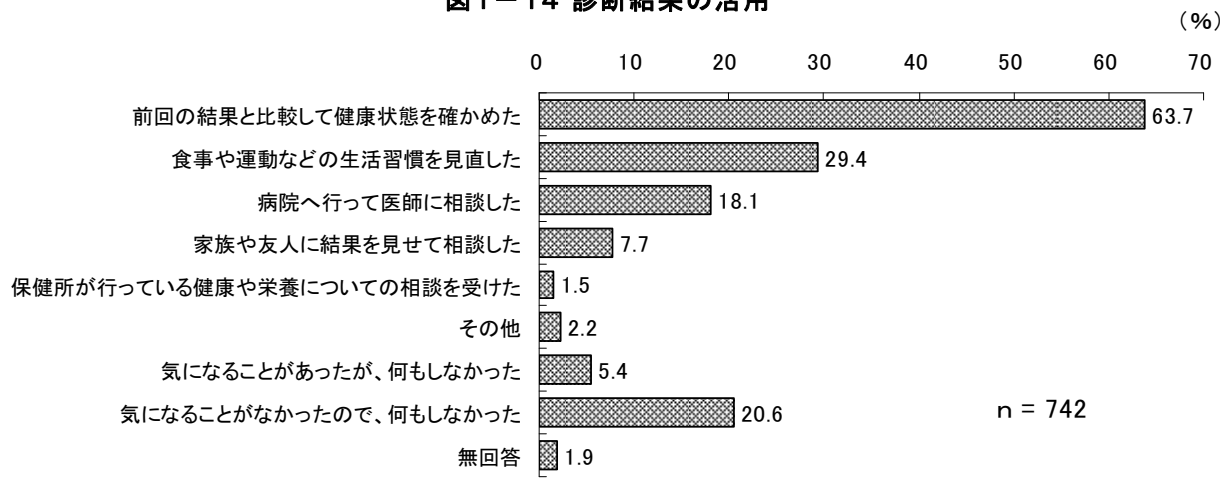
健康診断を「受けた」と答えた人に、健康診断の受診内容を複数回答で該当する項目をすべて挙げてもらった。

その結果、「基本健康診査（血圧、尿、胸部X線など）」が89.6%で約9割に達した。それ以外では、「大腸がん検診」28.0%が最も多く、続いて「胃がん検診」23.6%、「眼科検診」21.8%、「子宮がん検診」17.5%、「乳がん検診」15.5%という結果だった。

(6) 診断結果の活用……「前回の結果と比較して健康状態を確かめた」がトップ
 【問3で「1 受けた」という方に】

問3-3 あなたは、その診断結果をどのように活用しましたか。(いくつでも○)

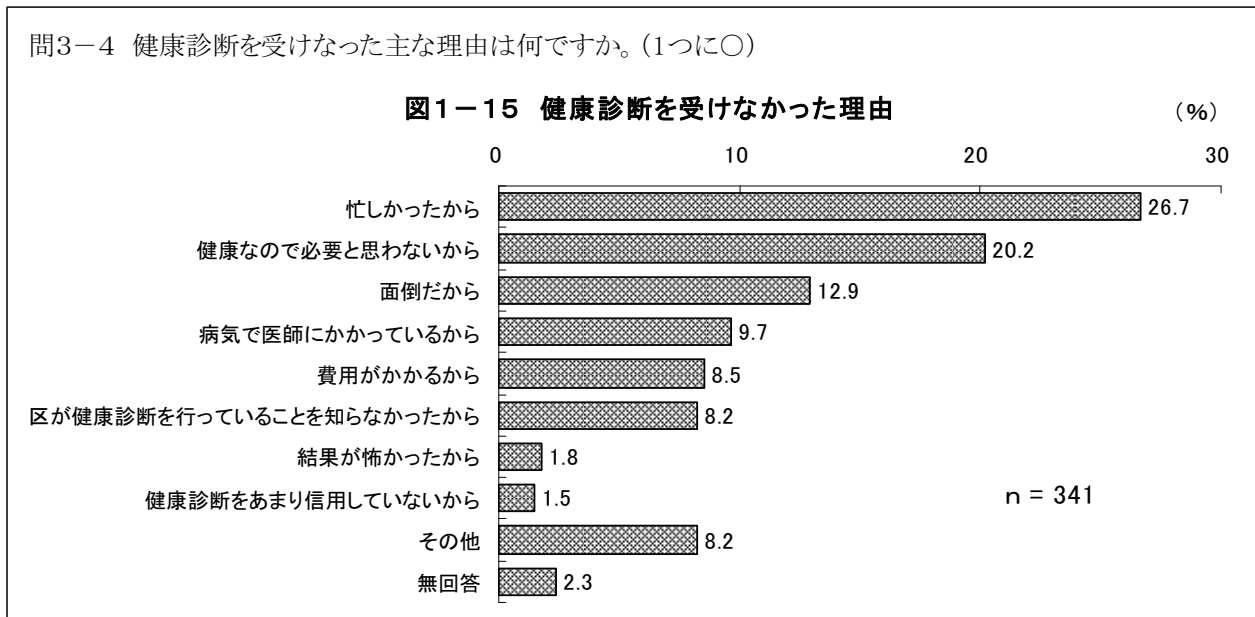
図1-14 診断結果の活用



健康診断を「受けた」と答えた人に、健康診断の結果をどのように活用したか複数回答で該当する内容をすべて挙げてもらった。

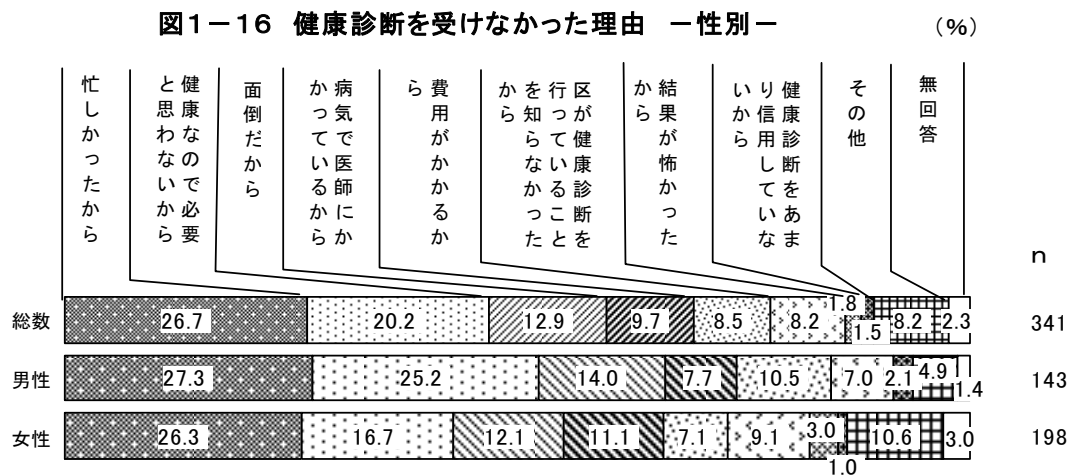
その結果、「前回の結果と比較して健康状態を確かめた」が63.7%で最も多く、「食事や運動などの生活習慣を見直した」29.4%、「病院へ行って医師に相談した」18.1%が続いた。「気になることがあったが、何もしなかった」は5.4%、「気になることがなかったのに、何もしなかった」は20.6%だった。

(7)健康診断を受けなかった理由……「忙しかったから」が最多
【問3で「2 受けなかった」という方に】

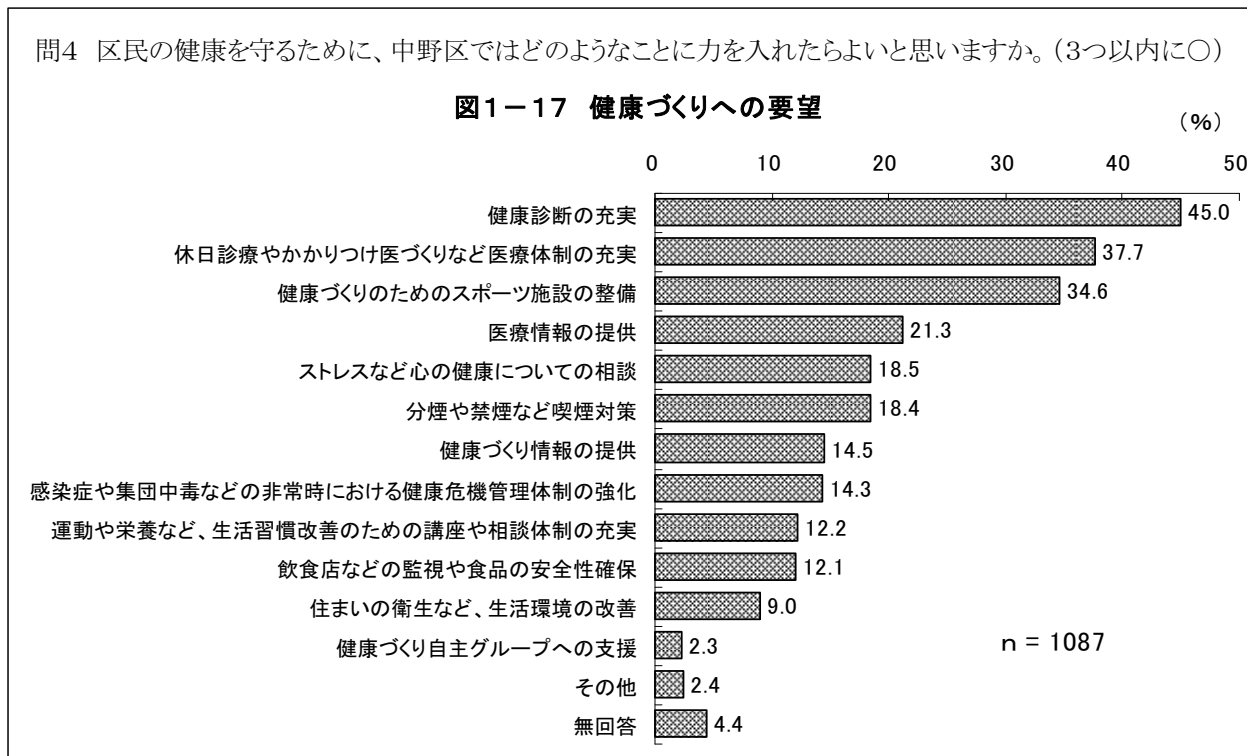


健康診断を「受けなかった」と答えた人に、健康診断を受診しなかった理由をたずねたところ、「忙しかったから」が26.7%で最も多く、「健康なので必要と思わないから」(20.2%)、「面倒だから」(12.9%)、「病気で医師にかかっているから」(9.7%)が続いた。

性別でみると、「健康なので必要と思わないから」が男性25.2%に対し、女性は16.7%でやや開きがある。



(8)健康づくりへの要望……「健康診断の充実」が45.0%で最も多い



区民の健康を守るために、中野区はどのようなことに力をいれたらよいか、複数回答で該当する項目を3つまで挙げてもらった。

その結果、「健康診断の充実」が45.0%、これに「休日診療やかかりつけ医づくりなど医療体制の充実」(37.7%)、「健康づくりのためのスポーツ施設の整備」(34.6%)が続いた。

性・年代別では、「健康診断の充実」は、男性は年代が高くなるに従って多くなる傾向があるが、女性は30代(51.4%)と60代(51.1%)がやや多くなっている。「ストレスなど心の健康についての相談」は、男性30代(25.2%)と女性20代(30.7%)が目立っている。「運動や栄養など、生活習慣改善のための講座や相談体制の充実」は、男性70歳以上(25.0%)が多く、女性20代(5.3%)が最も少なかった。「健康づくりのためのスポーツ施設の整備」は、男性20代と30代がそれぞれ54.9%、46.1%と目立っている。「健康づくり情報の提供」は、男女とも70歳以上が多く、特に男性70歳以上は29.2%と多い。「休日診療やかかりつけ医づくりなど医療体制の充実」は、男女とも30代と40代が目立っている。

ライフステージ別では、「ストレスなど心の健康についての相談」は独身期(27.6%)が最も多く、最も少ない家族成長後期(9.2%)との差が目立つ。「健康づくりのためのスポーツ施設の整備」は、家族形成期(49.3%)と独身期(43.7%)が多かった。一方、高齢期(18.3%)では少なかった。「休日診療やかかりつけ医づくりなど医療体制の充実」は、家族形成期(50.7%)、家族成長前期(48.9%)、家族成長後期(46.1%)が目立っている。「医療情報の提供」も家族形成期(25.4%)、家族成長前期(22.8%)、家族成長後期(23.7%)が目立っている。高齢期は16.0%で少ない。「感染症や集団中毒などの非常時における健康危機管理体制の強化」は高齢期(19.7%)がやや目立っている。

表1-1 健康づくりへの要望 -性・年代別、ライフステージ別-

(%)

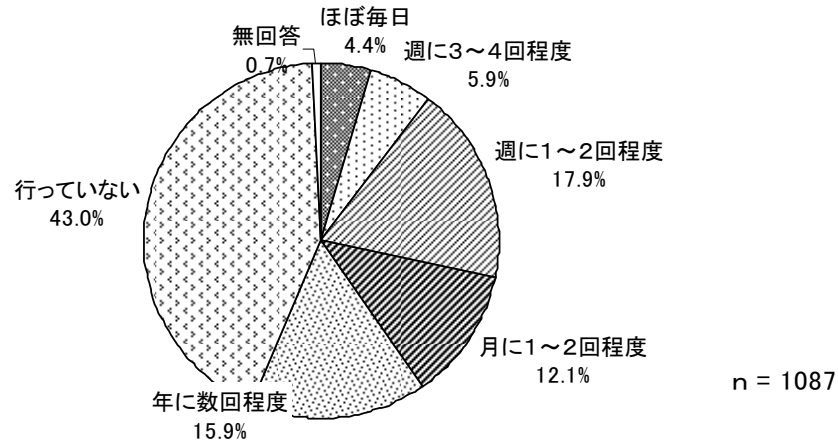
		n	健康診断の充実	のストレスなどの心の健康について	運動や栄養など、生活習慣改善のための講座や相談体制の充実	分煙や禁煙など喫煙対策	健康づくりのためのスポーツ施設の整備	健康づくり情報の提供	健康づくり自主グループへの支援	休日診療やかかりつけ医づくりなど医療体制の充実	医療情報の提供	住まいの衛生など、生活環境の改善	飲食店などの監視や食品の安全性確保	感染症や集団中毒などの非常時における健康危機管理体制の強化	その他	無回答	
総数		1087	45.0	18.5	12.2	18.4	34.6	14.5	2.3	37.7	21.3	9.0	12.1	14.3	2.4	4.4	
性・年代別	男性(計)	501	45.5	16.0	14.4	21.4	36.3	15.2	2.0	35.7	19.0	10.4	11.4	13.6	1.8	4.2	
	女性(計)	586	44.5	20.6	10.4	15.9	33.1	14.0	2.6	39.4	23.2	7.8	12.6	14.8	2.9	4.6	
	男性	20代	102	35.3	20.6	7.8	24.5	54.9	8.8	2.9	26.5	14.7	15.7	9.8	12.7	2.9	4.9
		30代	115	38.3	25.2	14.8	24.3	46.1	13.0	-	43.5	24.3	12.2	13.9	11.3	2.6	-
		40代	73	42.5	11.0	9.6	20.5	37.0	12.3	2.7	42.5	17.8	8.2	9.6	15.1	-	6.8
		50代	84	52.4	13.1	15.5	21.4	28.6	17.9	1.2	39.3	23.8	11.9	9.5	10.7	1.2	2.4
		60代	79	54.4	7.6	19.0	22.8	20.3	17.7	3.8	36.7	16.5	6.3	6.3	19.0	2.5	7.6
		70歳以上	48	62.5	10.4	25.0	6.3	12.5	29.2	2.1	18.8	12.5	2.1	22.9	14.6	-	6.3
	女性	20代	75	45.3	30.7	5.3	16.0	41.3	6.7	1.3	32.0	20.0	9.3	20.0	10.7	2.7	4.0
		30代	138	51.4	22.5	6.5	18.1	37.0	8.7	2.2	46.4	26.8	13.0	10.1	10.1	2.2	1.4
40代		96	39.6	16.7	11.5	18.8	36.5	17.7	1.0	46.9	27.1	2.1	11.5	12.5	2.1	2.1	
50代		109	37.6	17.4	11.9	16.5	38.5	21.1	4.6	39.4	26.6	7.3	11.0	17.4	6.4	0.9	
60代		88	51.1	19.3	15.9	10.2	26.1	8.0	-	34.1	19.3	6.8	12.5	20.5	2.3	9.1	
70歳以上	80	40.0	18.8	12.5	13.8	15.0	22.5	6.3	31.3	15.0	6.3	13.8	20.0	1.3	13.8		
ライフステージ別	独身期	254	40.2	27.6	10.6	22.4	43.7	13.0	1.6	30.3	20.9	11.0	15.4	12.2	3.1	3.5	
	家族形成期	134	50.7	16.4	6.7	17.9	49.3	3.7	3.0	50.7	25.4	17.2	7.5	9.7	-	1.5	
	家族成長前期	92	40.2	18.5	8.7	16.3	38.0	8.7	2.2	48.9	22.8	7.6	10.9	8.7	3.3	2.2	
	家族成長後期	76	34.2	9.2	14.5	18.4	38.2	11.8	-	46.1	23.7	11.8	13.2	17.1	2.6	5.3	
	家族成熟期	179	46.9	15.6	14.5	20.7	31.8	15.1	3.9	41.3	19.0	5.0	7.3	15.6	4.5	2.8	
	高齢期	213	51.6	14.6	16.9	11.7	18.3	19.2	3.3	29.6	16.0	6.1	15.5	19.7	0.9	10.8	
	その他	127	48.0	17.3	11.0	21.3	29.1	24.4	0.8	34.6	26.8	6.3	11.0	14.2	2.4	2.4	

2. 「スポーツ活動」について

(1) スポーツを行う頻度……月に1～2回以上行う人は約4割

問5 あなたは、日頃、スポーツをどの程度行っていますか。季節によって違うものについては、一番よく行う季節のことでお答えください。(1つに○)

図2-1 スポーツを行う頻度



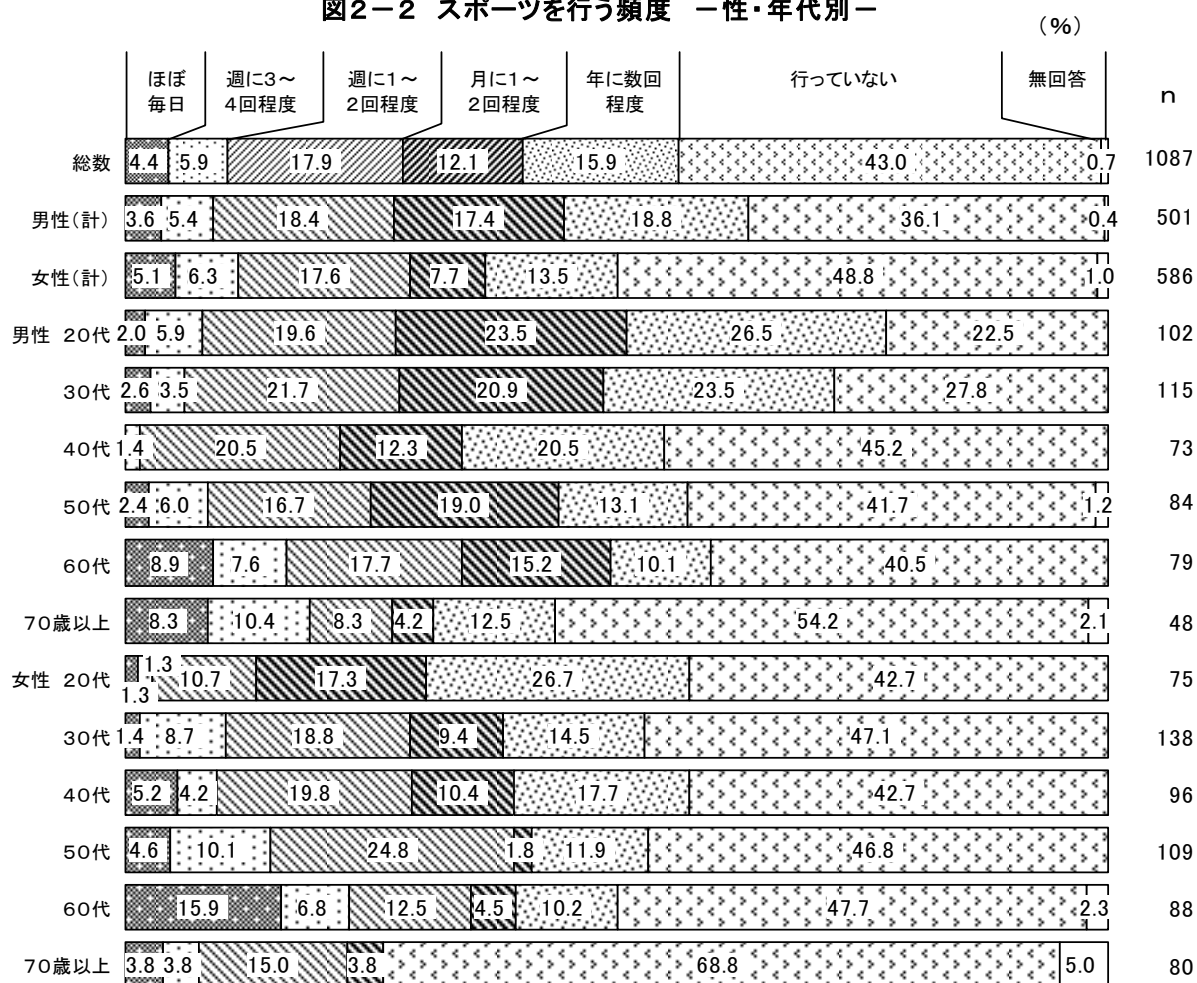
日頃、スポーツをどの程度行っているかがったところ、「行っていない」が43.0%で最も多く、これに「年に数回程度」しか行っていない15.9%を加えた“行わない層”は58.9%となっている。一方、“頻繁に行う層”（「ほぼ毎日」4.4%＋「週に3～4回程度」5.9%）は10.3%、“ある程度定期的に行う層”（「週に1～2回程度」17.9%＋「月に1～2回程度」12.1%）は30.0%という結果で、これらを合わせると約4割になる。

性・年代別でみると、男女別では、“頻繁に行う層”と“ある程度定期的に行う層”の合計は、男性44.8%、女性36.7%で男性が多く、年代別では、男性は、20代(51.0%)、30代(48.7%)、60代(49.4%)で多くなっている。しかし、“頻繁に行う層”だけでは、男性20代、30代がそれぞれ7.9%、6.1%に対して、同60代、70歳以上がそれぞれ16.5%、18.7%と多くなっている。また、男性40代は“頻繁に行う層”は1.4%にとどまり、「ほぼ毎日」は挙げられなかった。

女性は、“頻繁に行う層”と“ある程度定期的に行う層”の合計は30代～60代までが目立っているが、“頻繁に行う層”だけでは、60代が22.7%で、すべての年代層で最も多くなっている。「ほぼ毎日」でも女性60代が15.9%で最も多い。

なお、“行わない層”は、男女とも70歳以上(66.7%、68.8%)が多いが、男性40代(65.7%)、女性20代(69.4%)も目立つ。

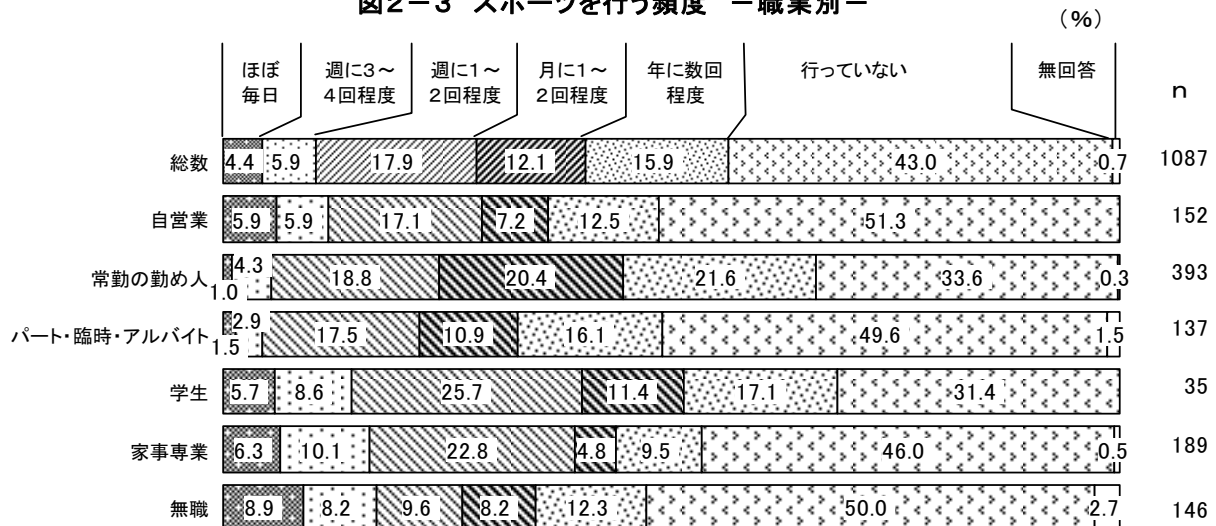
図2-2 スポーツを行う頻度 ー性・年代別ー



職業別では、“頻繁に行う層”は無職（17.1%）、家事専業（16.4%）、学生（14.3%）の順が多いが、これに、“ある程度定期的に行う層”を加えると、学生（51.4%）、家事専業（44.0%）、無職（34.9%）の順になる。

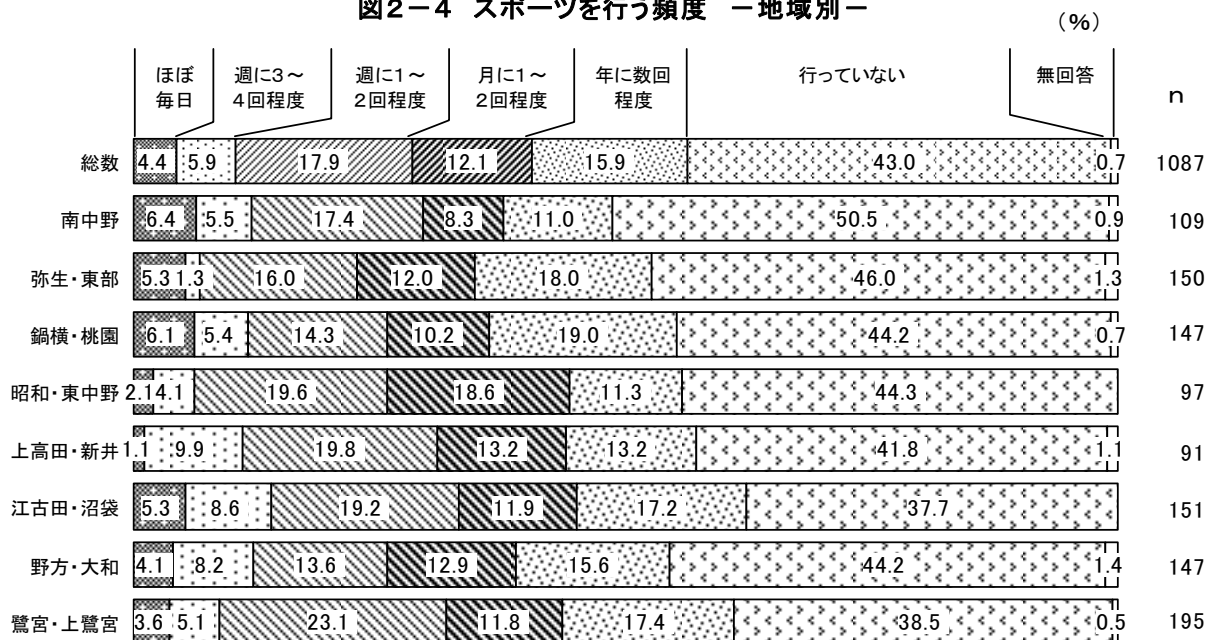
「行っていない」が最も多いのは自営業（51.3%）、続いて「無職」（50.0%）、「パート・臨時・アルバイト」（49.6%）であるが、「年に数回程度」を加えた“行わない層”でみると、「パート・臨時・アルバイト」（65.7%）が最も多く、次いで「自営業」（63.8%）、「無職」（62.3%）となっている。

図2-3 スポーツを行う頻度 - 職業別 -



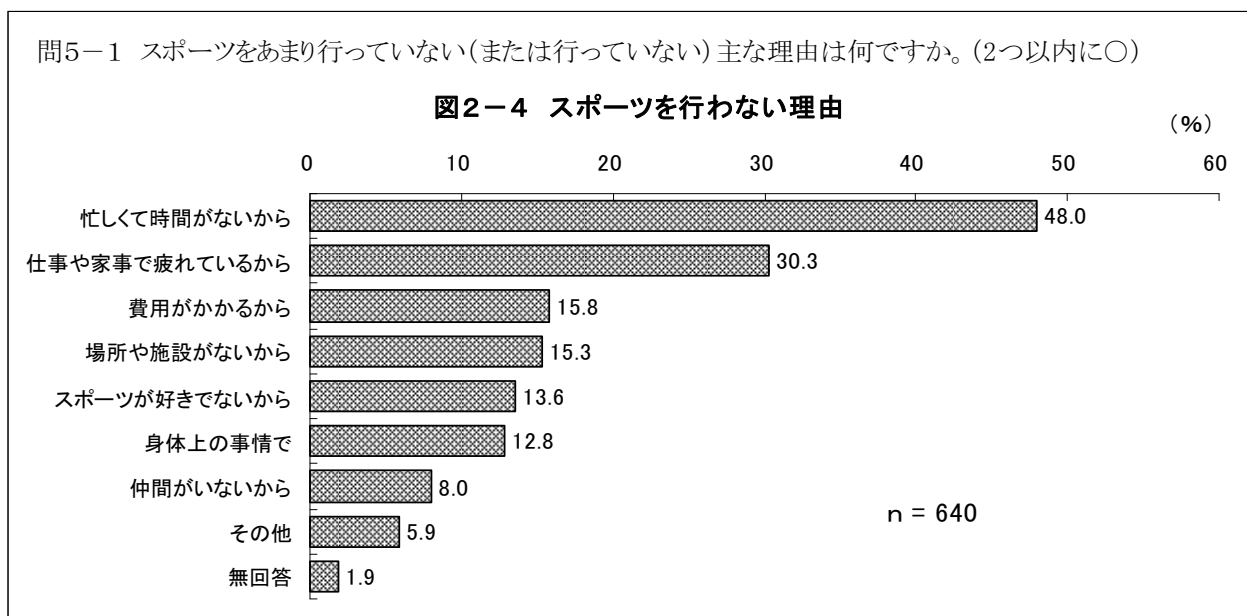
地域別では、“頻繁に行う層”と“ある程度定期的に行う層”を合わせると「江古田・沼袋」（45.0%）、「昭和・東中野」（44.4%）、「上高田・新井」（44.0%）、「鷺宮・上鷺宮」（43.6%）が多く、「弥生・東部」（34.6%）、「鍋横・桃園」（36.0%）で少ない。「行っていない」が最も多いのは、「南中野」（50.5%）となっている。

図2-4 スポーツを行う頻度 - 地域別 -



(2) スポーツを行わない理由……「忙しくて時間がないから」が 48.0%でトップ

【問5で「5年に数回程度」「6行っていない」という方に】



スポーツを行っている頻度を「年に数回程度」と答えた人と「行っていない」と答えた人に、その理由を複数回答で該当する内容を2つまで挙げてもらった。その結果、「忙しくて時間がないから」が48.0%でトップ、続いて「仕事や家事で疲れているから」30.3%、「費用がかかるから」15.8%、「場所や施設がないから」15.3%、「スポーツが好きでないから」13.6%の順となっている。

性別でみると、「忙しくて時間がないから」は、男性が52.7%に対し、女性は44.4%、「仕事や家事で疲れているから」は男性が24.0%に対し、女性は35.1%、「スポーツが好きでないから」は、男性が10.9%に対し、女性は15.6%だった。

職業別では、「忙しくて時間がないから」は、常勤の勤め人68.7%が最も多く、自営業60.8%が続いている。「仕事や家事で疲れているから」は常勤の勤め人39.6%、パート・臨時・アルバイト33.3%、家事専業31.4%、自営業30.9%が目立っている。「費用がかかるから」は、パート・臨時・アルバイトの31.1%で最も多く、最も少ないのは、家事専業の9.5%だった。「スポーツが好きでないから」は、最も多かった家事専業21.0%に対し、常勤の勤め人は最も少なく6.0%だった。

表2-1 スポーツを行わない理由 - 性別、職業別 -

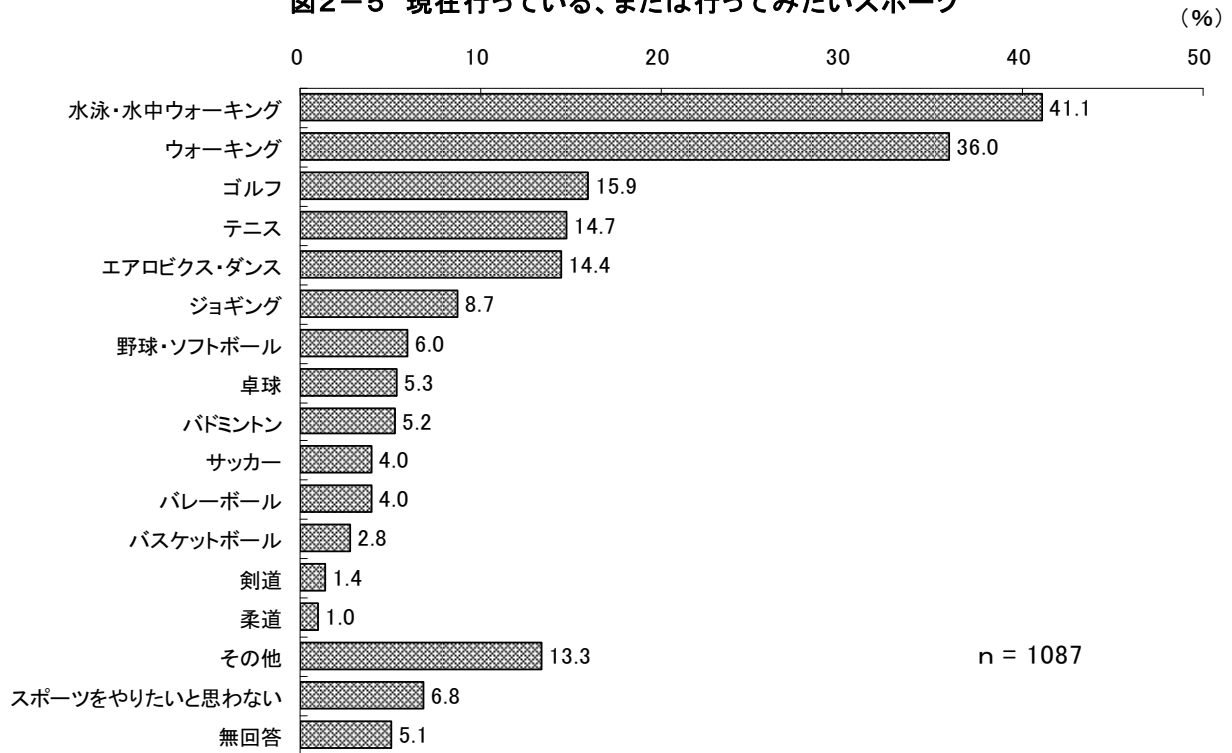
(%)

		n	忙しくて時間がないから	仕事や家事で疲れているから	身体上の事情で	場所や施設がないから	仲間がないから	費用がかかるから	スポーツが好きでないから	その他	無回答
総数		640	48.0	30.3	12.8	15.3	8.0	15.8	13.6	5.9	1.9
性別	男性	275	52.7	24.0	13.5	17.5	8.0	14.5	10.9	4.4	2.2
	女性	365	44.4	35.1	12.3	13.7	7.9	16.7	15.6	7.1	1.6
職業別	自営業	97	60.8	30.9	9.3	13.4	5.2	16.5	13.4	5.2	1.0
	常勤の勤め人	217	68.7	39.6	4.1	18.9	5.1	13.8	6.0	3.2	-
	パート・臨時・アルバイト	90	40.0	33.3	5.6	17.8	10.0	31.1	16.7	4.4	2.2
	学生	17	35.3	5.9	11.8	29.4	11.8	17.6	17.6	5.9	-
	家事専業	105	37.1	31.4	16.2	8.6	6.7	9.5	21.0	8.6	1.9
	無職	91	6.6	8.8	39.6	12.1	16.5	15.4	19.8	9.9	6.6

(3) 現在行っている、または行ってみたいスポーツ……水泳・水中ウォーキング 41.1%が最多

問6 あなたが現在、主に行っている、または行ってみたいスポーツは何ですか。(3つ以内に○)

図2-5 現在行っている、または行ってみたいスポーツ



現在、主に行っている、または行ってみたいスポーツを、複数回答で該当する種目を3つまで挙げてもらった。

その結果、「水泳・水中ウォーキング」が41.1%で最も多く、「ウォーキング」が36.0%、これに「ゴルフ」(15.9%)、「テニス」(14.7%)、「エアロビクス・ダンス」(14.4%)がほぼ同率で続いた。「スポーツをやりたいと思わない」は6.8%だった。

性・年代別でみると、男女差のある項目は、「ジョギング」（男性 13.6%、女性 4.6%）、「水泳・水中ウォーキング」（男性 35.7%、女性 45.7%）、「ゴルフ」（男性 22.6%、女性 10.2%）、「野球・ソフトボール」（男性 12.0%、女性 0.9%）、「エアロビクス・ダンス」（男性 4.6%、女性 22.9%）だった。「ウォーキング」は、男性は 60 代（50.6%）、女性は 50 代（52.3%）が最も多く、男女とも 20 代が最も少なくなっている（20.6%、24.0%）。

職業別でみると、「ゴルフ」は、常勤の勤め人（22.6%）と自営業（19.1%）が多く、学生は 2.9%と少なかった。「サッカー」と「テニス」は、学生が目立っている。「柔道」と「剣道」は、家事専業と無職から挙げられなかった。「エアロビクス・ダンス」は、家事専業 22.8%が最も多かった。「スポーツをやりたいと思わない」は、無職 17.1%がやや目立っている。

表2-2 現在行っている、または行ってみたいスポーツ ー性・年代別、職業別ー

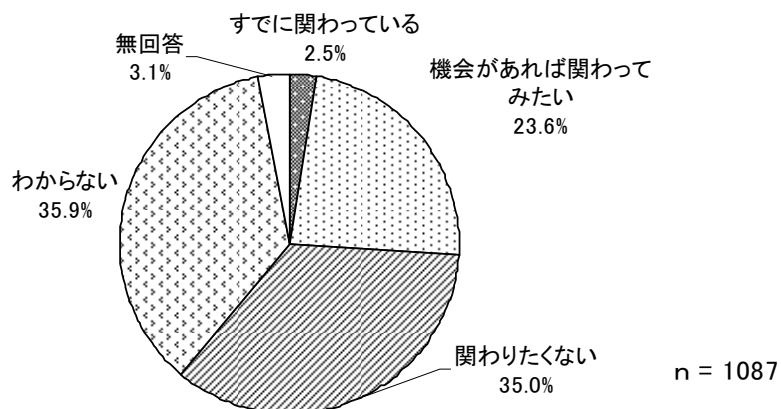
(%)

		n	ウォーキング	ジョギング	水泳・水中ウォーキング	ゴルフ	野球・ソフトボール	サッカー	バスケットボール	剣道	柔道	テニス	バドミントン	卓球	バレーボール	エアロビクス・ダンス	その他	スポーツをやりたいと思わない	無回答	
総数		1087	36.0	8.7	41.1	15.9	6.0	4.0	2.8	1.4	1.0	14.7	5.2	5.3	4.0	14.4	13.3	6.8	5.1	
性・年代別	男性（計）	501	32.3	13.6	35.7	22.6	12.0	7.6	5.2	2.0	2.0	15.8	4.0	5.4	2.0	4.6	14.4	6.8	4.6	
	女性（計）	586	39.1	4.6	45.7	10.2	0.9	0.9	0.7	0.9	0.2	13.8	6.3	5.3	5.6	22.9	12.5	6.8	5.5	
	男 性	20代	102	20.6	11.8	37.3	7.8	23.5	20.6	12.7	4.9	4.9	25.5	6.9	3.9	2.9	3.9	13.7	4.9	2.0
		30代	115	27.0	18.3	47.0	28.7	13.9	13.9	9.6	0.9	2.6	15.7	3.5	6.1	3.5	8.7	13.9	3.5	3.5
		40代	73	24.7	11.0	30.1	26.0	6.8	-	1.4	1.4	1.4	16.4	2.7	5.5	-	2.7	13.7	13.7	6.8
		50代	84	36.9	16.7	36.9	25.0	10.7	1.2	-	1.2	-	16.7	4.8	3.6	2.4	6.0	16.7	4.8	3.6
		60代	79	50.6	8.9	31.6	25.3	5.1	-	1.3	2.5	1.3	7.6	2.5	6.3	-	2.5	16.5	7.6	3.8
		70歳以上	48	43.8	12.5	18.8	25.0	4.2	-	-	-	-	6.3	2.1	8.3	2.1	-	10.4	10.4	12.5
	女 性	20代	75	24.0	9.3	52.0	8.0	1.3	2.7	4.0	4.0	1.3	30.7	18.7	5.3	17.3	26.7	8.0	4.0	-
		30代	138	39.1	2.9	51.4	13.0	2.2	1.4	-	-	-	18.1	7.2	2.9	7.2	31.2	15.2	2.9	3.6
40代		96	31.3	4.2	40.6	15.6	-	1.0	1.0	2.1	-	20.8	7.3	6.3	4.2	21.9	15.6	6.3	2.1	
50代		109	52.3	2.8	50.5	9.2	0.9	-	-	-	-	10.1	3.7	4.6	3.7	27.5	10.1	4.6	2.8	
60代		88	51.1	8.0	48.9	8.0	-	-	-	-	-	2.3	2.3	8.0	2.3	14.8	11.4	8.0	5.7	
70歳以上		80	31.3	2.5	26.3	5.0	-	-	-	-	-	-	-	6.3	-	8.8	12.5	18.8	21.3	
職業別	自営業	152	40.8	11.2	44.7	19.1	6.6	2.6	1.3	2.6	0.7	9.2	2.0	3.9	3.3	10.5	10.5	3.9	7.2	
	常勤の勤め人	393	31.8	12.0	44.3	22.6	8.4	4.8	4.8	1.5	1.8	20.1	4.8	4.1	4.3	14.2	16.8	2.3	3.1	
	パート・臨時・アルバイト	137	35.0	8.0	50.4	10.9	5.8	6.6	2.9	3.6	1.5	10.9	10.9	7.3	5.1	16.1	6.6	9.5	2.2	
	学生	35	20.0	14.3	22.9	2.9	8.6	14.3	5.7	-	2.9	31.4	8.6	5.7	8.6	5.7	17.1	14.3	2.9	
	家事専業	189	42.3	4.2	45.0	9.0	1.1	0.5	-	-	-	14.3	4.2	6.3	3.7	22.8	11.1	5.8	6.3	
	無職	146	38.4	4.1	23.3	13.0	4.8	2.1	2.1	-	-	8.2	4.1	5.5	2.1	6.8	16.4	17.1	9.6	

(4) ボランティアとしてスポーツ活動に関わる意向……「関わりたくない」が「機会があれば関わってみたい」を上回る

問7 あなたは、ボランティアとして地域のスポーツ活動の運営などに関わりたいと思いますか。(スポーツを
やらない方もご回答ください)

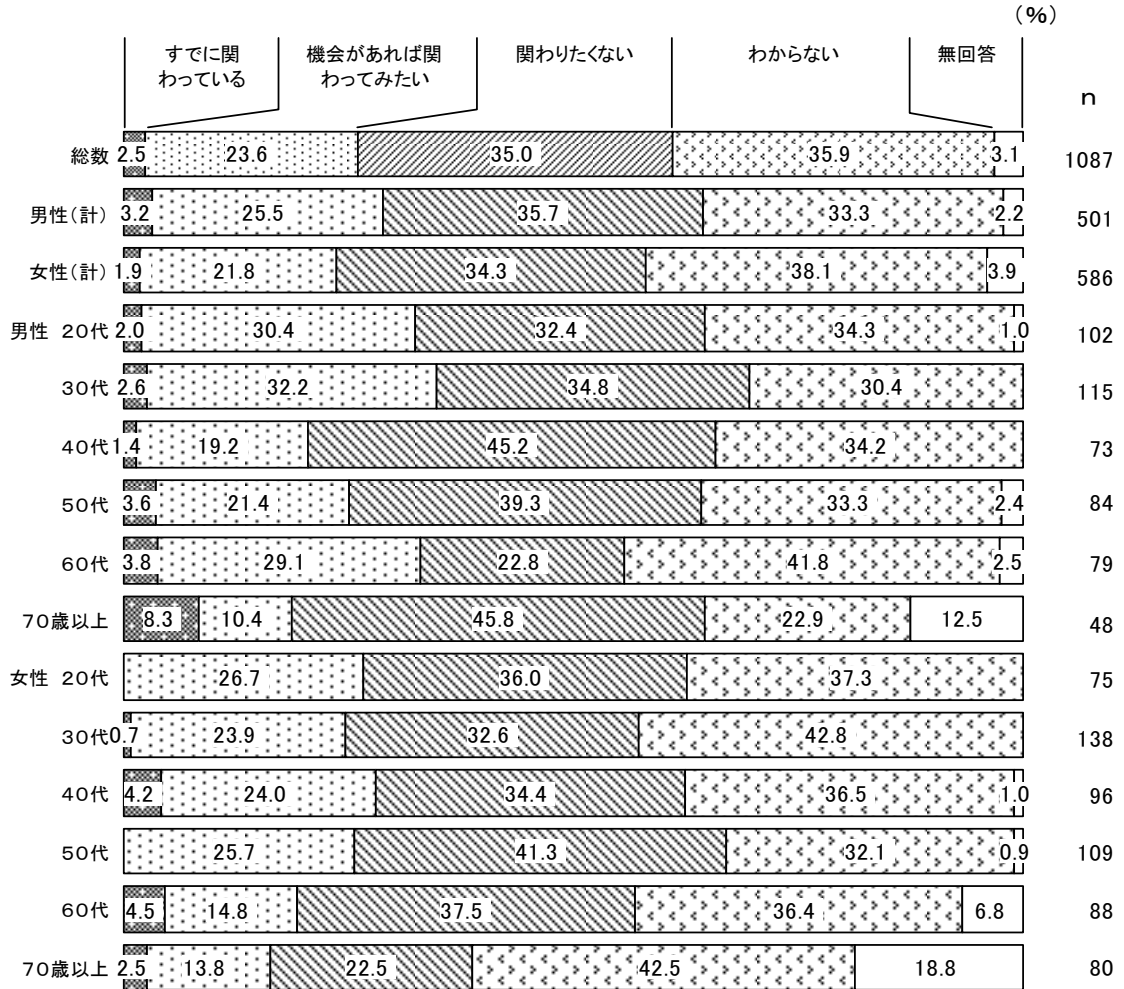
図2-6 ボランティアとしてスポーツ活動に関わる意向



ボランティアとして地域のスポーツ活動の運営などに関わってみたいと思うか、スポーツをやらな
い人も含めてたずねたところ、「関わりたくない」が35.0%で、「機会があれば関わってみたい」23.6%
を上回った。「すでに関わっている」は2.5%だった。なお、「わからない」は35.9%だった。

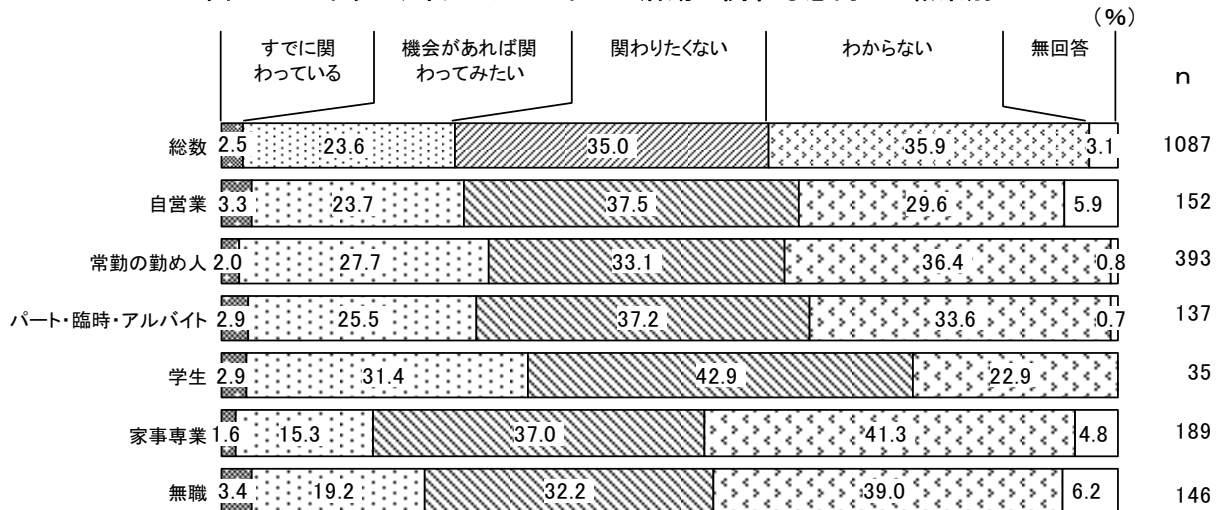
性・年代別でみると、「機会があれば関わってみたい」は男性20代(30.4%)、30代(32.2%)、60
代(29.1%)で多くなっている。「すでに関わっている」は、男性70歳以上が、8.3%で特に目立っ
ている一方、女性20代、50代からは、挙げられなかった。「関わりたくない」は、男性70歳以上が45.8%
で最も多いが、女性70歳以上は22.5%で最も少なかった。男性40代の45.2%も目立っている。

図2-7 ボランティアとしてスポーツ活動に関わる意向 - 性・年代別 -



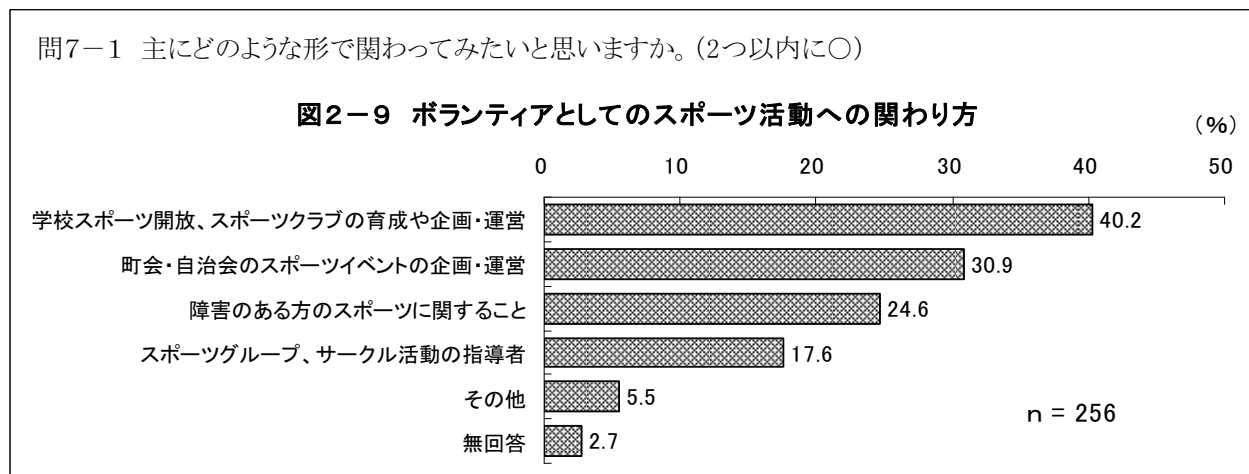
職業別でみると、「機会があれば関わってみたい」が最も多いのは学生（31.4%）、最も少ないのは家事専業（15.3%）となっている。

図2-8 ボランティアとしてスポーツ活動に関わる意向 - 職業別 -



(5) ボランティアとしてのスポーツ活動への関わり方……「学校開放、スポーツクラブの育成や企画・運営」がトップ

【問7で「2 機会があれば関わってみたい」という方に】



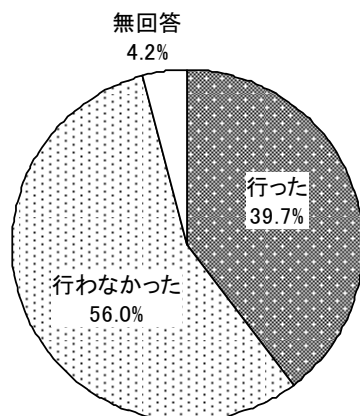
ボランティアとして地域のスポーツ活動に「機会があれば関わってみたい」と答えた人に、その関わり方を複数回答で2項目まで挙げてもらったところ、「学校スポーツ開放、スポーツクラブの育成や企画・運営」(40.2%)がトップ、次いで「町会・自治会のスポーツイベントの企画・運営」(30.9%)だった。

3. 「学習活動(スポーツ以外)」について

(1) 学習や趣味などの活動状況……「行わなかった」が過半数

問8 あなたは、この1年間に、講座の受講や習い事、自宅などで学習や趣味などの活動を行いましたか。
(1つに○)

図3-1 学習や趣味などの活動状況

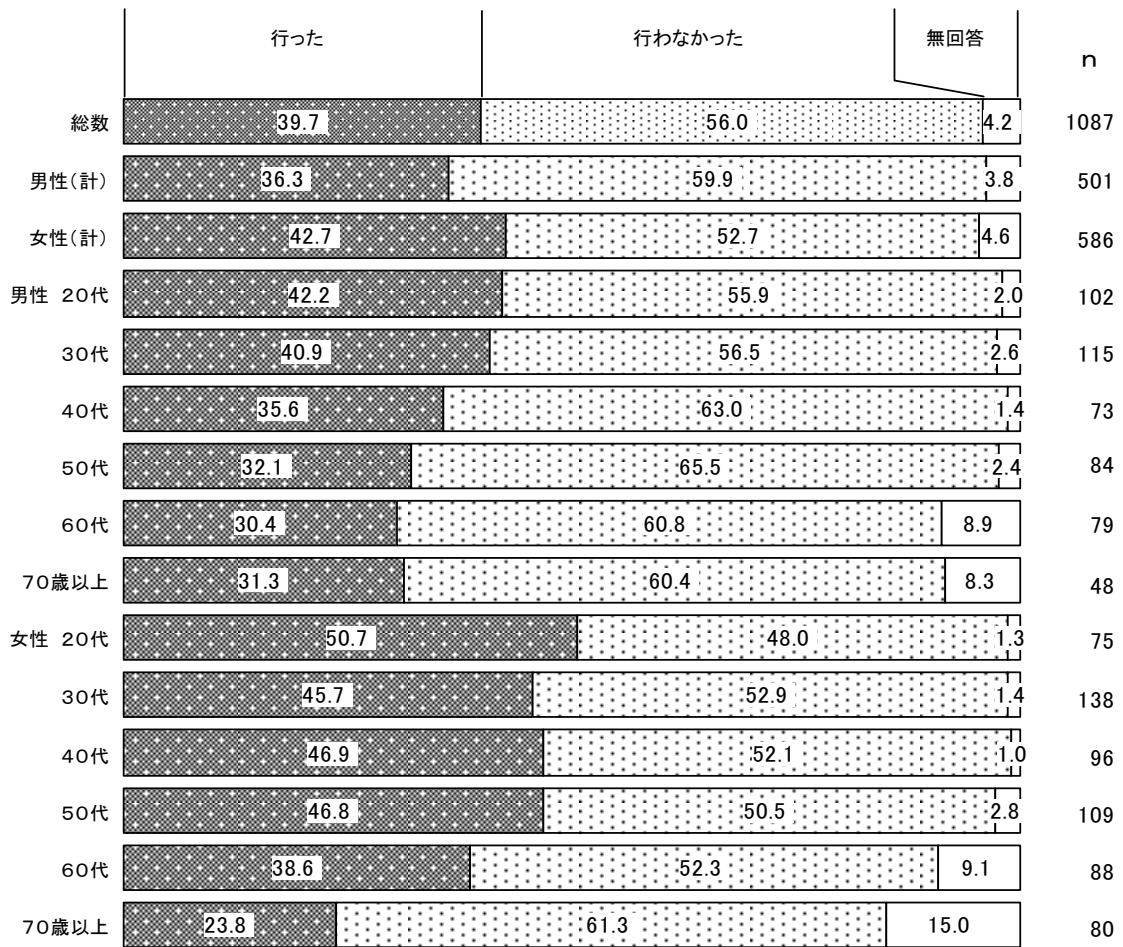


n = 1087

この1年間に、講座の受講や習い事、自宅などで学習や趣味などの活動を行ったかうかがったところ、「行わなかった」が56.0%で、「行った」39.7%を上回った。

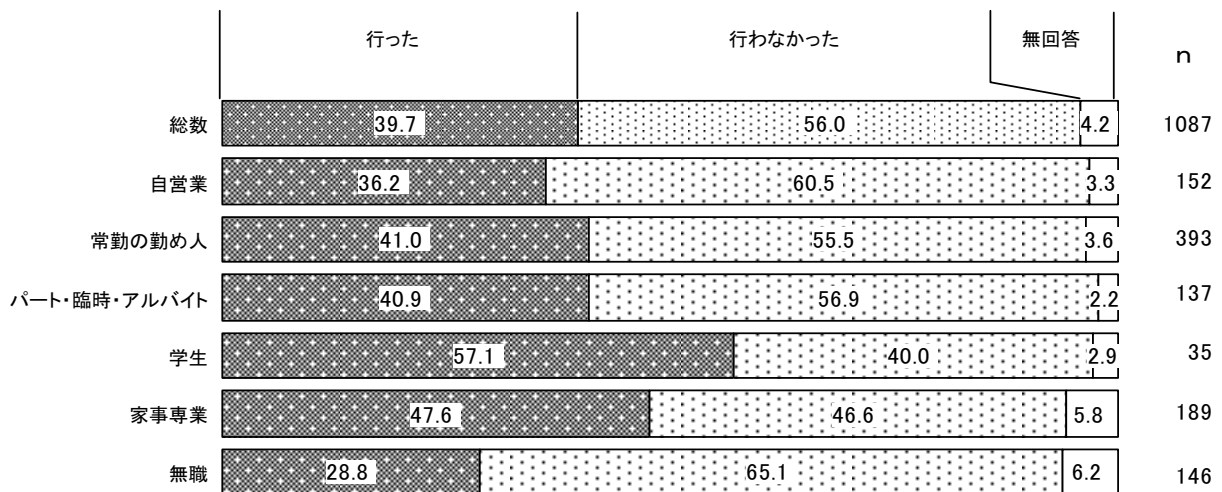
性・年代別でみると、「行った」は男性が36.3%に対して女性42.7%、20代から60代まで女性が男性より多くなっている。目立った年代は男女とも20代で、特に女性20代は50.7%で最も多くなっている。一方、最も少なかったのは、女性70歳以上(23.8%)だった。

図3-2 学習や趣味などの活動状況 ー性・年代別ー (%)

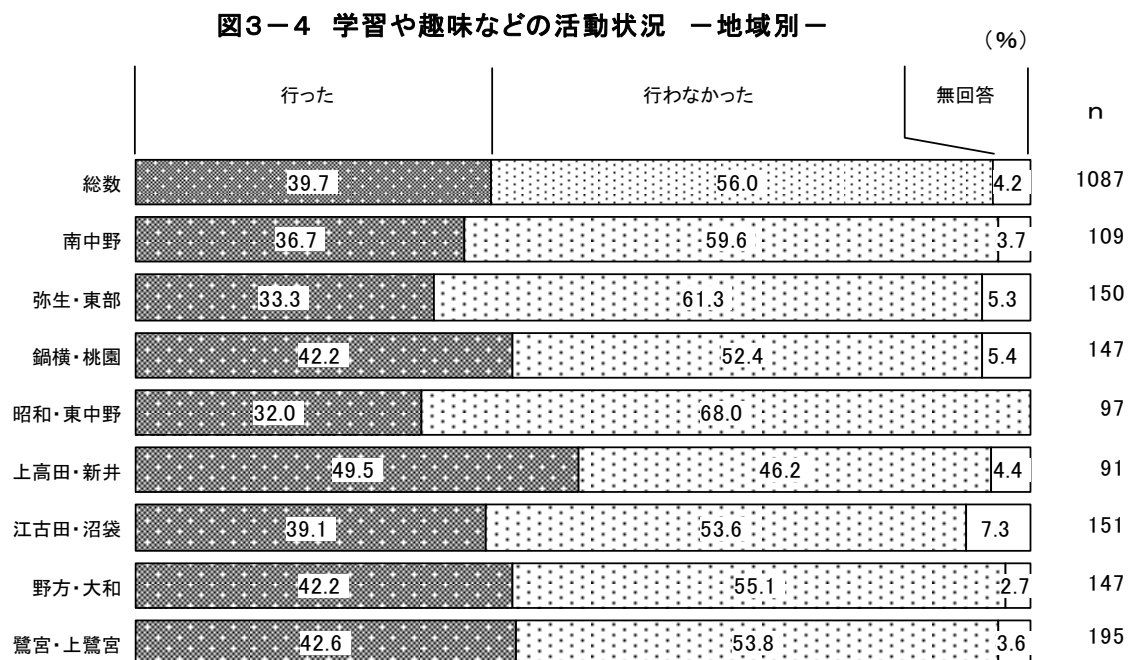


職業別では、「行った」は学生 57.1%が最も多く、専業主婦 47.6%が続いている。一方、少ないのは無職 (28.8%)、自営業 (36.2%) の順となっている。

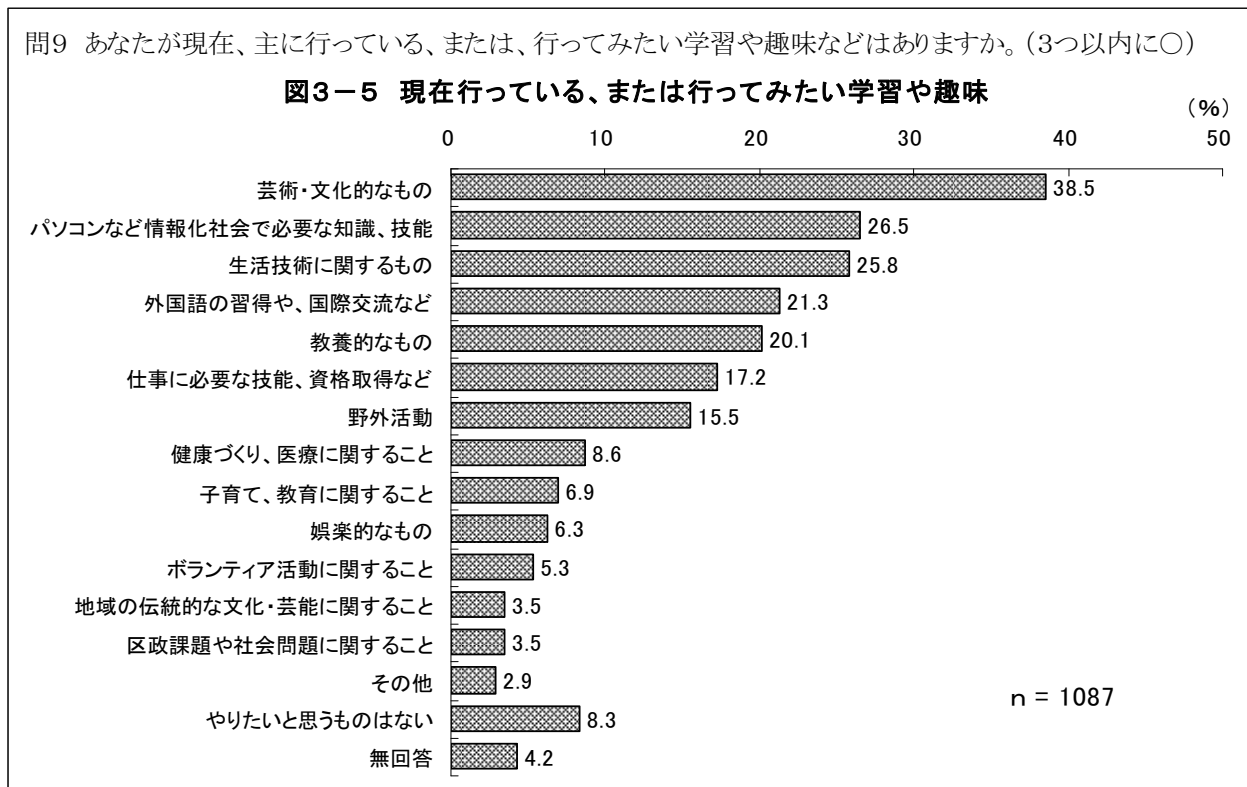
図3-3 学習や趣味などの活動状況 ー職業別ー (%)



地域別では、「行った」は上高田・新井 49.5%が最も多く、鷺宮・上鷺宮 42.6%、鍋横・桃園と野方・大和が同率の 42.2%で続いている。最も少なかった地域は、昭和・東中野 32.0%だった。



(2) 現在行っている、または行ってみたい学習や趣味……「芸術・文化的なもの」が 38.5%で最多



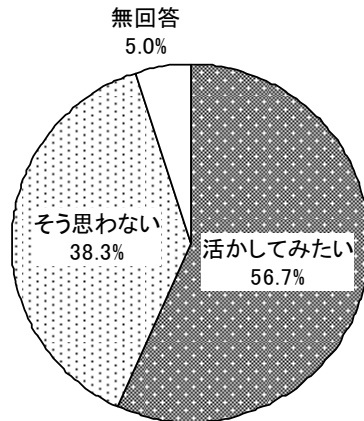
現在、主に行っている、または、行ってみたい学習や趣味などを複数回答で該当する項目を3つまで挙げてもらった。

その結果、「芸術・文化的なもの」(38.5%)が最も多く、続いて「パソコンなど情報化社会に必要な知識、技能」(26.5%)、「生活技術に関するもの」(25.8%)、「外国語の習得や、国際交流など」(21.3%)、「教養的なもの」(20.1%)、「仕事に必要な技能、資格取得など」(17.2%)が挙げられた。少なかった項目は、「地域の伝統的な文化・芸能に関すること」「区政課題や社会問題に関すること」で、いずれも3.5%という結果だった。なお、「やりたいと思うものはない」は8.3%だった。

(3)学んだ成果を社会の中で活かしたいか……56.7%が「活かしてみたい」
【問9で、現在行っている、または行ってみたい学習や趣味を挙げた方に】

問9-1 あなたは、学んだ成果を実際に社会の中に活かしてみたいと思いますか。

図3-6 学んだ成果を社会の中で活かしたいか

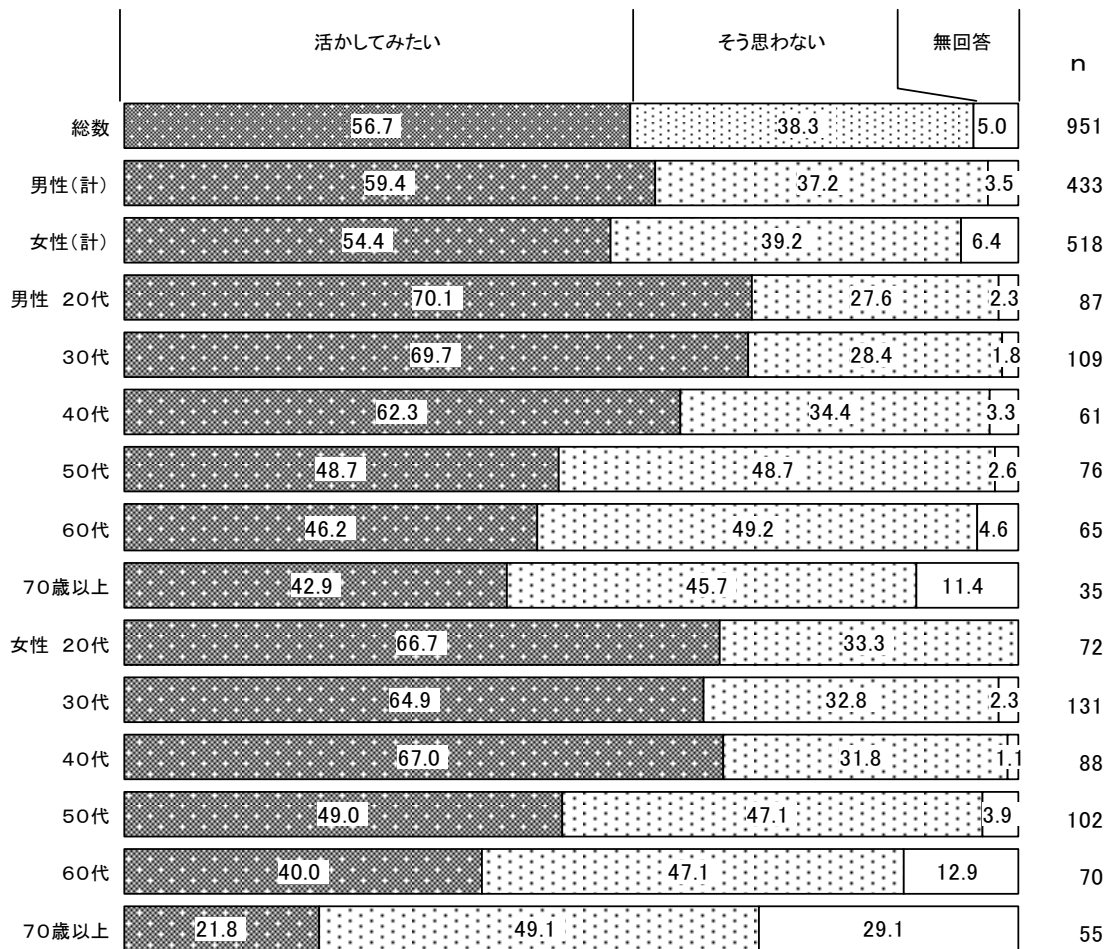


n = 951

現在行っている、または、行ってみたい学習や趣味がある人に、学んだ成果を実際に社会の中で活かしてみたいかたずねたところ、「活かしてみたい」が56.7%、「そうは思わない」は38.3%だった。

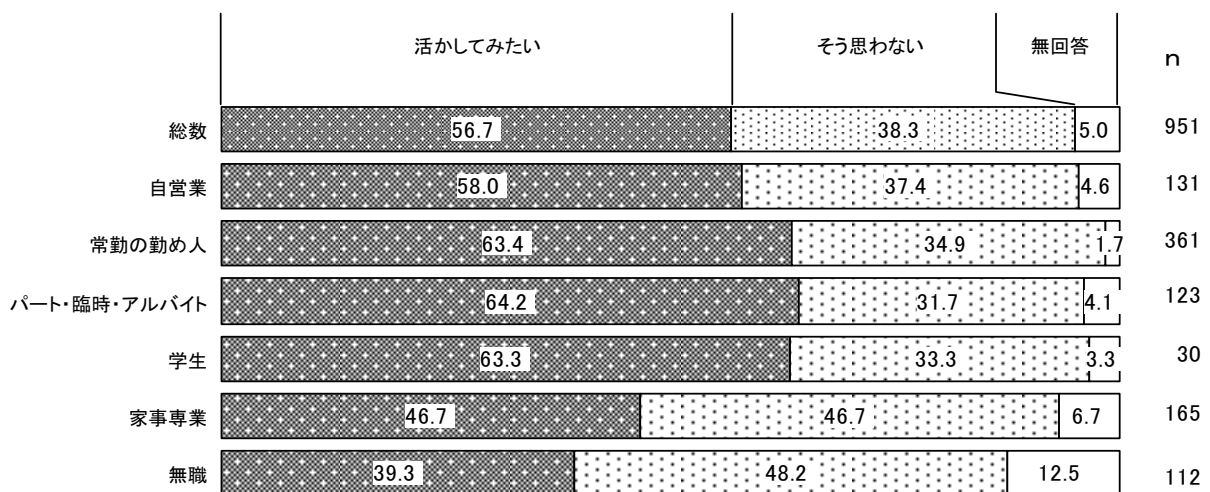
性・年代別で見ると、「活かしてみたい」が最も多かった年代は、男性20代(70.1%)、一方、少なかった年代は女性70歳以上(21.8%)だった。「活かしてみたい」は、男女とも20代から40代が多く、50代以降は少なくなっている。女性70歳以上は、29.1%の人が「無回答」だった。

図3-7 学んだ成果を社会の中で活かしたいか 一性・年代別一 (%)



職業別では、「活かしてみたい」は、パート・臨時・アルバイト (64.2%)、常勤の勤め人 (63.4%)、学生 (63.3%) が多くなっている。無職は、39.3%で最も少なかった。

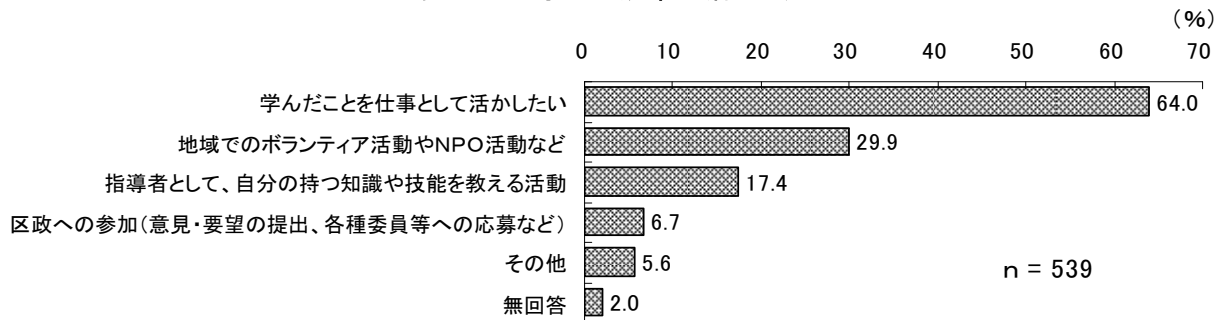
図3-8 学んだ成果を社会の中で活かしたいか 一職業別一 (%)



(4) 学んだ成果の活かし方……「学んだことを仕事として活かしたい」が 64.0%
 【問9-1で「1 活かしてみたい」という方に】

問9-1-1 それは、主にどのような活動ですか。(2つ以内に○)

図3-9 学んだ成果の活かし方



学んだ成果を実際に社会の中で活かしてみたいという人に、どのような活動を通して活かしていきたいか、複数回答で該当する内容を2つまで挙げてもらった。

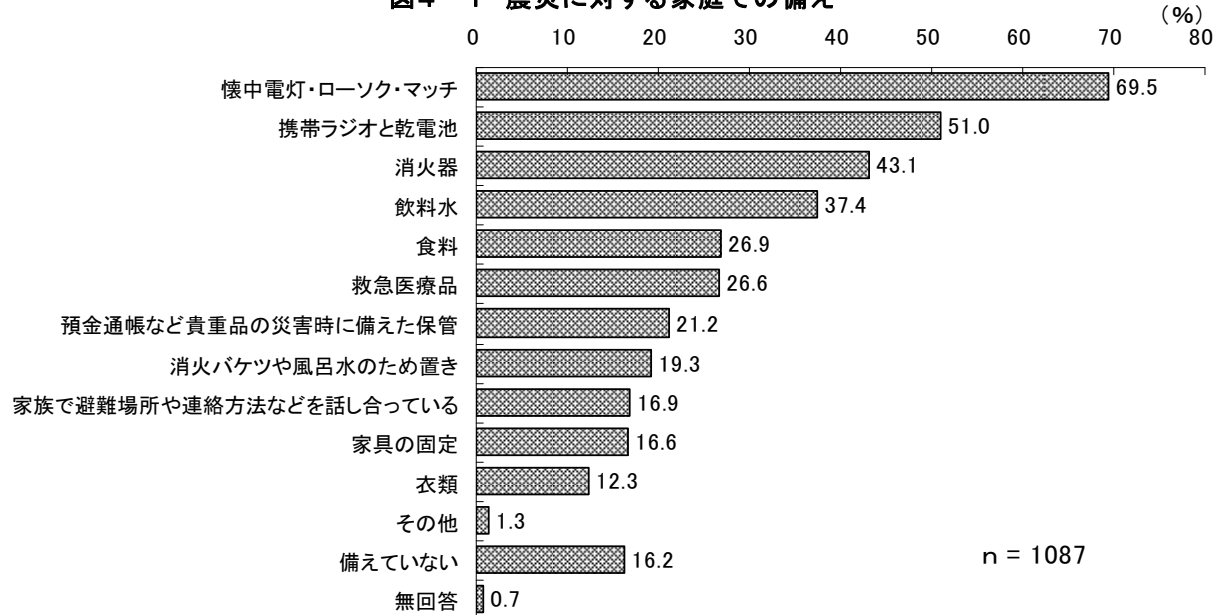
その結果、「学んだことを仕事で活かしたい」が64.0%、これに対し「地域でのボランティア活動やNPO活動など」「指導者として自分の持つ知識や技能を教える活動」は、それぞれ29.9%、17.4%にとどまった。「区政への参加(意見・要望の提出、各種委員等への応募など)」は、6.7%で最も少なかった。

4. 「震災対策」について

(1) 震災に対する家庭での備え……「懐中電灯・ローソク・マッチ」が 69.5%で最多

問10 あなたのお宅では、地震やそれによる火災が起こったときのために、どのような備えをしていますか。
(いくつでも○)

図4-1 震災に対する家庭での備え



震災やそれによる火災が起こったときのためにどのような備えをしているか、複数回答で該当するものをすべて挙げてもらった。

最も多かった備えは「懐中電灯・ローソク・マッチ」で 69.5%、これに「携帯ラジオと乾電池」51.0%、「消火器」43.1%、「飲料水」37.4%が続いている。「備えていない」は 16.2%だった。

地域別でみると、「懐中電灯・ローソク・マッチ」「携帯ラジオと乾電池」「食料」「飲料水」「衣類」「救急医療品」「預金通帳など貴重品の災害時に備えた保管」「消火バケツや風呂水のため置き」が昭和・東中野で最も多くなっている。「備えていない」は、弥生・東部（22.7%）、江古田・沼袋（22.5%）で多く、昭和・東中野（5.2%）で少なかった。

家族形態別では、「消火器」は親と子どもと孫が 57.5%だったのに対し、ひとり暮らしは 29.0%だった。「懐中電灯・ローソク・マッチ」「食料」は、世代が多いほど多くなる傾向にある。「備えていない」は、ひとり暮らしの 32.0%が目立っている。

表4-1 震災に対する家庭での備え ー地域別、家族形態別ー

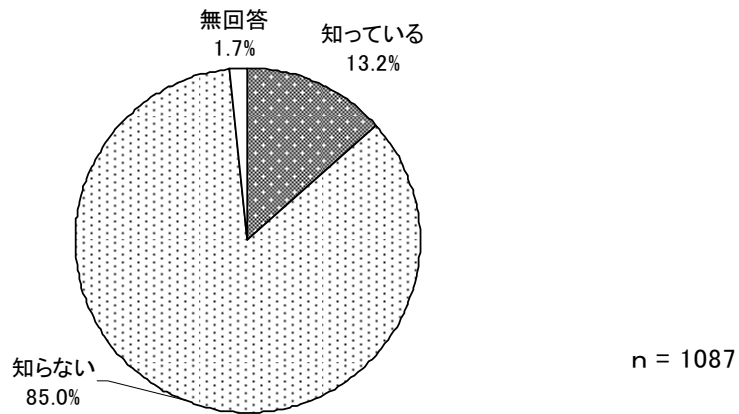
(%)

	n	消火器	懐中電灯・ローソク・マッチ	携帯ラジオと乾電池	食料	飲料水	衣類	救急医療品	預金通帳など貴重品の災害時に備えた保管	消火バケツや風呂水のため置き	家具の固定	家族で避難場所や連絡方法などを話し合っている	その他	備えていない	無回答	
総 数	1087	43.1	69.5	51.0	26.9	37.4	12.3	26.6	21.2	19.3	16.6	16.9	1.3	16.2	0.7	
地域別	南中野	109	43.1	72.5	56.0	18.3	32.1	9.2	26.6	25.7	17.4	17.4	20.2	0.9	14.7	1.8
	弥生・東部	150	44.7	60.7	46.7	24.0	36.7	11.3	21.3	16.7	13.3	9.3	16.0	0.7	22.7	1.3
	鍋横・桃園	147	42.9	63.9	44.2	23.1	29.3	9.5	17.0	16.3	18.4	15.0	13.6	1.4	20.4	0.7
	昭和・東中野	97	40.2	86.6	68.0	51.5	57.7	33.0	58.8	46.4	32.0	20.6	14.4	1.0	5.2	-
	上高田・新井	91	45.1	75.8	52.7	26.4	38.5	18.7	30.8	20.9	22.0	22.0	17.6	1.1	12.1	-
	江古田・沼袋	151	36.4	63.6	41.1	23.2	30.5	9.3	21.2	21.9	15.2	14.6	17.9	2.0	22.5	-
	野方・大和	147	42.2	70.1	56.5	29.3	42.2	8.8	27.9	17.7	23.1	19.0	21.8	2.0	15.0	1.4
	鷺宮・上鷺宮	195	48.7	71.3	50.8	25.6	37.9	8.7	23.1	15.4	18.5	17.9	14.9	1.0	12.3	0.5
家族形態別	ひとり暮らし	231	29.0	51.5	42.0	25.1	29.4	18.6	31.2	23.8	17.7	10.8	2.2	1.3	32.0	0.9
	夫婦のみ	205	49.8	72.7	53.2	25.9	38.0	13.2	26.3	22.9	20.5	19.0	22.9	1.0	12.7	2.0
	親と子ども	525	45.9	75.2	52.2	27.6	40.6	8.2	24.6	18.1	18.7	19.0	19.8	1.1	11.4	0.4
	親と子どもと孫	73	57.5	78.1	61.6	30.1	38.4	15.1	24.7	23.3	27.4	15.1	23.3	1.4	8.2	-
	その他	47	29.8	66.0	55.3	25.5	38.3	19.1	31.9	31.9	17.0	10.6	21.3	4.3	19.1	-

(2) 耐震相談窓口の周知度……「知らない」が 85.0%

問11 中野区では、今年4月から耐震相談窓口を開設し、住宅などの耐震性や耐震診断などについての相談をお受けしています。あなたは、このことを知っていますか。

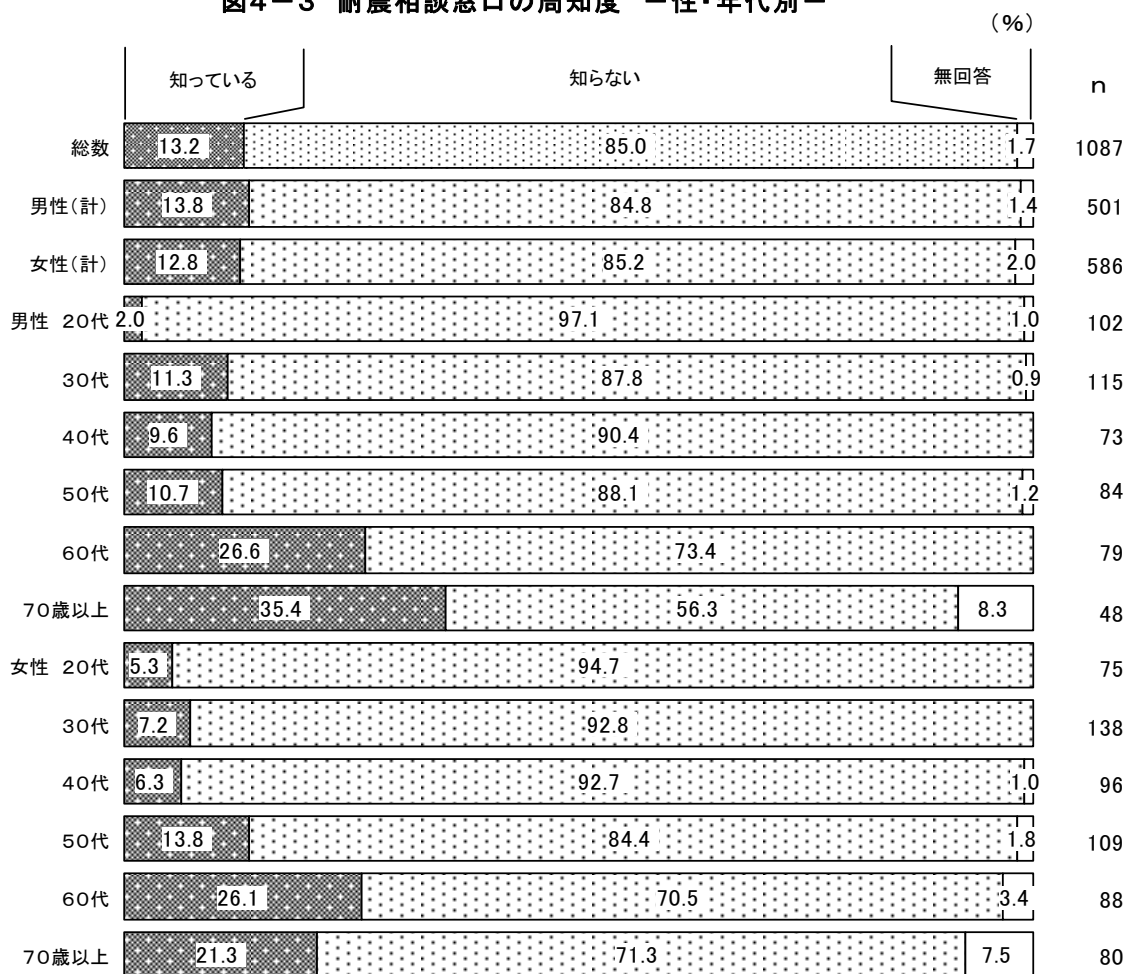
図4-2 耐震相談窓口の周知度



今年(2004年)4月から開設した耐震相談窓口を知っているかたずねたところ、「知らない」が85.0%、「知っている」は13.2%にとどまった。

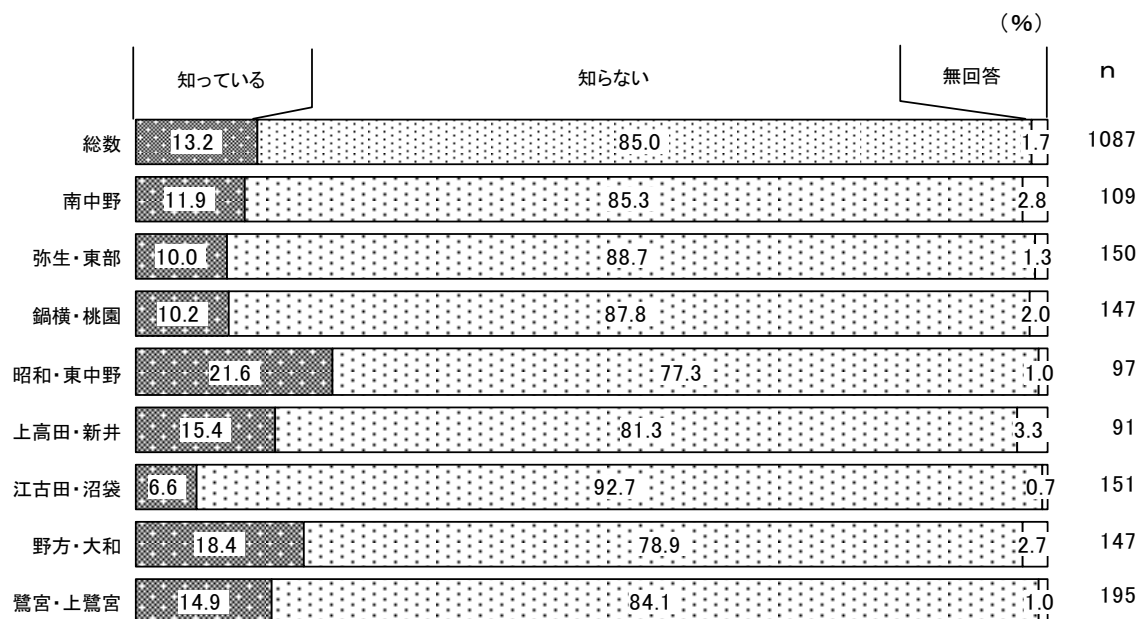
性・年代別で見ると、「知っている」は男性 70 歳以上 (35.4%) が最も多く、その他では男性の 60 代 (26.6%)、女性 60 代 (26.1%) と 70 歳以上 (21.3%) が目立っている。一方、男性 20 代は 2.0% で最も少なく、女性 20 代も 5.3%にとどまった。

図4-3 耐震相談窓口の周知度 ー性・年代別ー



地域別では、「知っている」は昭和・東中野の 21.6%が最も多く、以下、野方・大和（18.4%）、上高田・新井（15.4%）が続いた。最も少なかった地域は、江古田・沼袋（6.6%）だった。

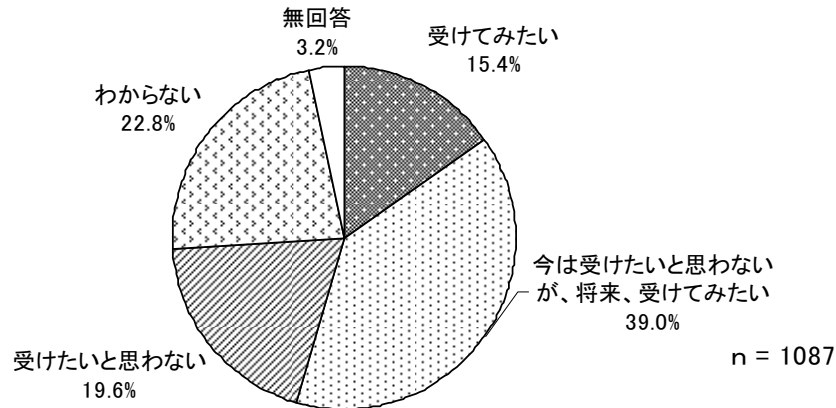
図4-4 耐震相談窓口の周知度 -地域別-



(3) 耐震相談を受ける意向……“受けてみたい層(「受けてみたい」+「今は受けたいと思わないが、将来、受けてみたい)」が 54.4%

問12 あなたは、この耐震相談を受けてみたいと思いますか。

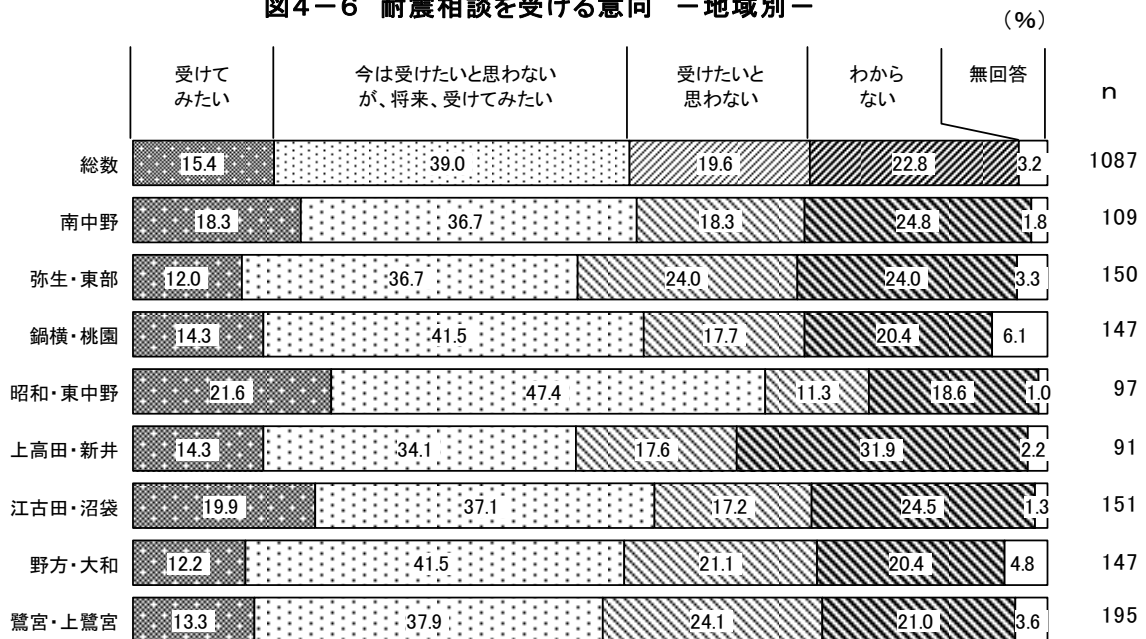
図4-5 耐震相談を受ける意向



耐震相談を受けてみたいかたずねたところ、“受けてみたい層(「受けてみたい」+「今は受けたいと思わないが、将来、受けてみたい)」が 54.4%だった。一方、「受けたいと思わない」は 19.6%だった。「わからない」は 22.8%だった。

地域別でみると、“受けてみたい層”が最も多いのは昭和・東中野(69.0%)、続いて江古田・沼袋(57.0%)、鍋横・桃園(55.8%)の順になっている。

図4-6 耐震相談を受ける意向 -地域別-



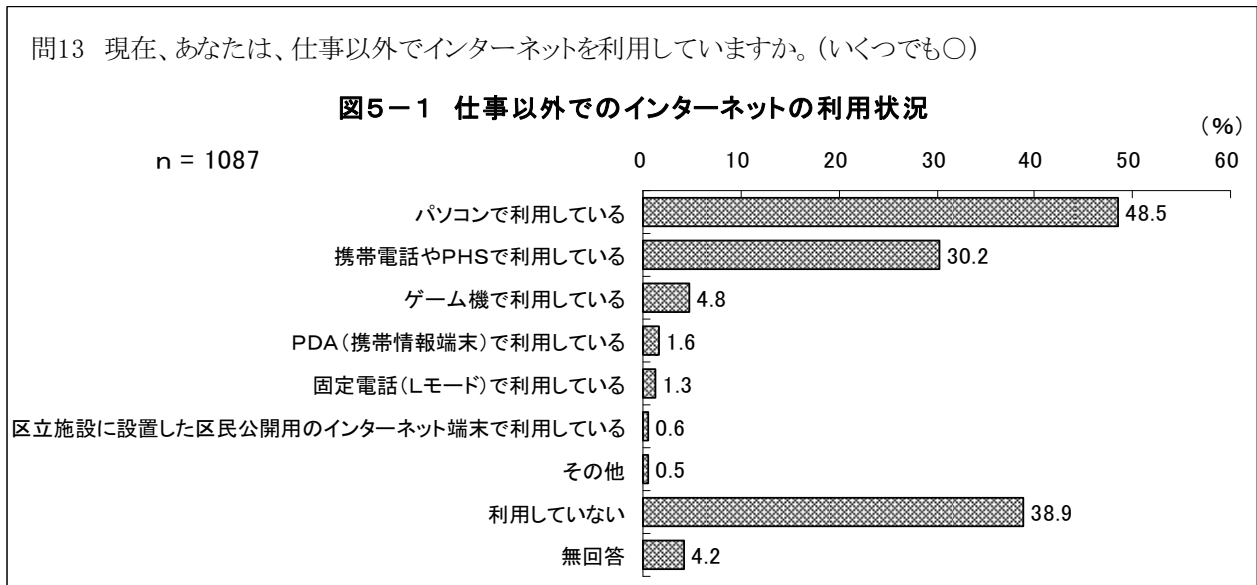
居住形態別では、“受けてみたい層”が多いのは一戸建ての借家 64.6%、一戸建ての家（土地は借地で家は自分または家族のもの） 62.7%、一戸建ての家（土地・家とも自分または家族のもの） 59.7%となっている。「受けたいと思わない」では、公団・公社の賃貸住宅 39.1%が目立っている。

図4-7 耐震相談を受ける意向 - 居住形態別 - (%)

	受けて みたい	今は受けたいと思わ ないが、将来、受けて みたい	受けたいと 思わない	わから ない	無 回 答	n
総数	15.4	39.0	19.6	22.8	3.2	1087
一戸建ての家(土地・家とも自分または家族のもの)	17.4	42.3	17.2	19.3	3.7	430
一戸建ての家(土地は借地で家が自分または家族のもの)	20.3	42.4	22.0	10.2	5.1	59
一戸建ての借家	32.3	32.3	19.4	9.7	6.5	31
分譲マンション	13.0	43.5	14.8	25.2	3.5	115
民間の賃貸マンション(木造・モルタル造以外のアパート)	10.8	33.8	20.6	32.8	2.0	204
民間の木造・モルタル造のアパート	10.9	39.1	21.8	24.5	3.6	110
公団・公社の賃貸住宅	8.7	34.8	39.1	17.4		23
公営住宅など	26.3	15.8	26.3	26.3	5.3	19
給与住宅など	13.4	41.8	26.9	16.4	1.5	67
間借り、住み込み	30.0	20.0	20.0	30.0		10

5. 「インターネットの利用」について

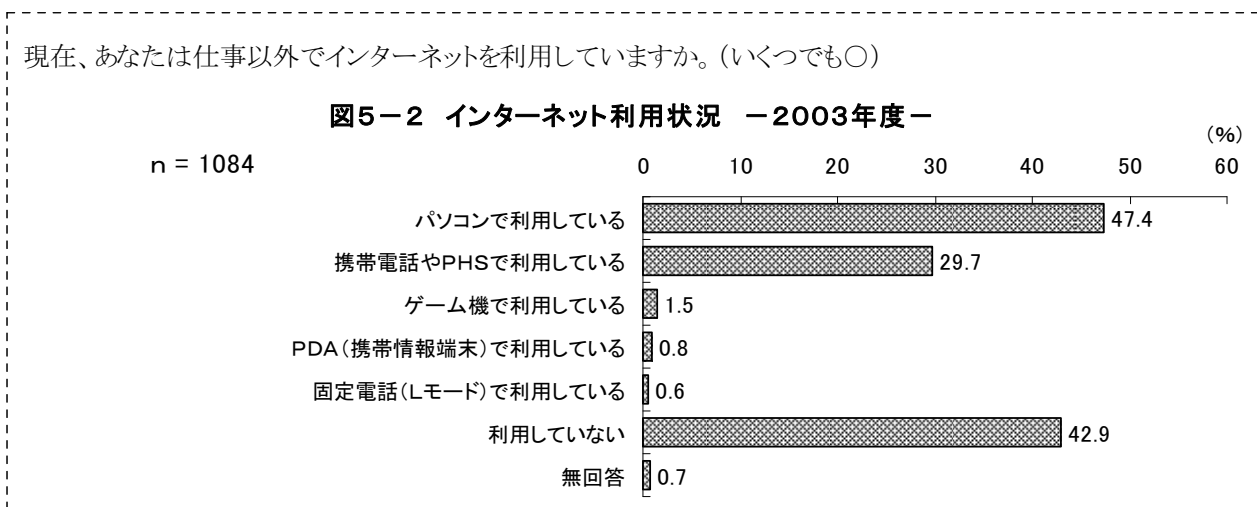
(1) 仕事以外でのインターネットの利用状況……「利用していない」は 38.9%



仕事以外でのインターネットの利用状況について、利用している場合は利用方法について複数回答で該当する方法をいくつでも挙げてもらった。

その結果、利用している方法は「パソコンで利用している」48.5%が最も多く、「携帯電話やPHSで利用している」30.2%が続いた。「ゲーム機で利用している」(4.8%)、「PDA(携帯情報端末)で利用している」(1.6%)、「固定電話(Lモード)で利用している」(1.3%)、「区立施設に設置した区民公開用のインターネット端末で利用している」(0.6%)は、いずれも少なかった。なお、「利用していない」は38.9%だった。

参考までに、選択肢は一部異なるが昨年度(2003年度)の中野区政世論調査の結果を示す。このときも、利用している方法は「パソコンで利用している」47.4%が最も多く、「携帯電話やPHSで利用している」29.7%が続いた。「利用していない」は42.9%だった。



性・年代別でみると、利用方法として「パソコンで利用している」は男女とも20代が最も多く、年代が高くなるに従って少なくなる傾向にある。「ゲーム機で利用している」は男性20代、30代がそれぞれ19.6%、10.4%で特に目立っている。「利用していない」は、男性60代以降、女性50代以降で多くなっている。

職業別では、「パソコンで利用している」で学生が94.3%と目立って多く、次いで常勤の勤め人の64.4%が多い。また、「携帯電話やPHSで利用している」でも学生(80.0%)と常勤の勤め人(43.8%)が目立っている。

一方、「利用していない」が最も多いのは無職(68.5%)、続いて自営業(48.7%)、家事専業(45.0%)の順となっている。学生で「利用していない」と答えた人はいなかった。

表5-1 仕事以外でのインターネットの利用状況 ー性・年代別、職業別ー

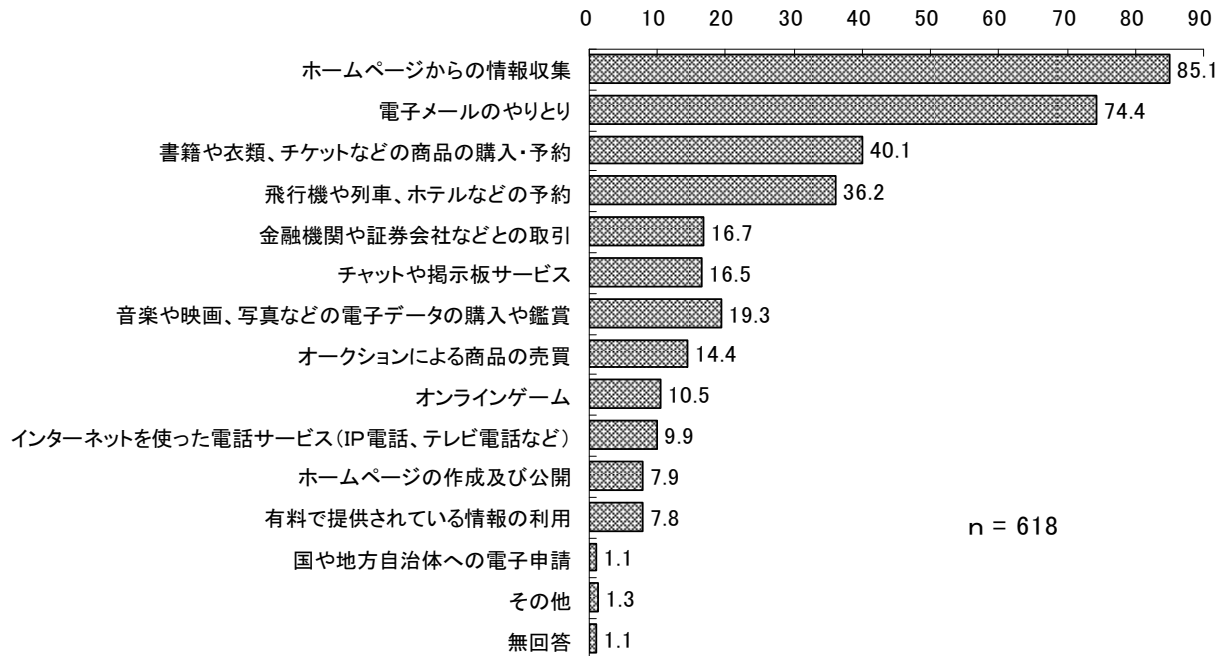
(%)

		n	パソコンで利用している	区立施設に設置した区民公開用のインターネット端末で利用している	携帯電話やPHSで利用している	ゲーム機で利用している	PDA(携帯情報端末)で利用している	固定電話(Lモード)で利用している	その他	利用していない	無回答	
総 数		1087	48.5	0.6	30.2	4.8	1.6	1.3	0.5	38.9	4.2	
性・年代別	男 性 (計)	501	54.9	0.2	32.5	8.0	2.8	0.8	1.0	34.9	2.0	
	女 性 (計)	586	43.0	0.9	28.2	2.0	0.5	1.7	-	42.3	6.1	
	男	20代	102	75.5	1.0	54.9	19.6	5.9	1.0	1.0	15.7	1.0
		30代	115	68.7	-	51.3	10.4	3.5	-	1.7	18.3	-
		40代	73	65.8	-	30.1	6.8	2.7	-	-	27.4	-
		50代	84	47.6	-	14.3	1.2	1.2	1.2	1.2	44.0	3.6
		60代	79	34.2	-	15.2	1.3	1.3	1.3	1.3	55.7	2.5
		70歳以上	48	8.3	-	4.2	2.1	-	2.1	-	77.1	8.3
	女	20代	75	70.7	1.3	54.7	5.3	-	5.3	-	17.3	-
		30代	138	69.6	-	50.7	2.2	1.4	1.4	-	15.2	0.7
		40代	96	58.3	1.0	30.2	1.0	-	3.1	-	37.5	-
		50代	109	32.1	1.8	16.5	-	0.9	-	-	58.7	0.9
60代		88	11.4	1.1	5.7	1.1	-	1.1	-	69.3	14.8	
70歳以上		80	2.5	-	2.5	3.8	-	-	-	66.3	26.3	
職業別	自営業	152	39.5	0.7	21.1	3.3	2.0	0.7	-	48.7	5.9	
	常勤の勤め人	393	64.4	0.3	43.8	7.6	2.3	1.0	1.0	24.7	0.8	
	パート・臨時・アルバイト	137	49.6	0.7	27.0	5.1	2.2	2.9	-	35.8	3.6	
	学生	35	94.3	-	80.0	11.4	-	5.7	-	-	-	
	家事専業	189	40.2	1.1	19.0	1.1	-	1.1	-	45.0	9.0	
	無職	146	18.5	0.7	13.0	2.1	0.7	0.7	-	68.5	6.2	

(2) インターネットの利用目的……「ホームページからの情報収集」85.1%がトップ
 【問13でインターネットを利用していると答えた方に】

問13-1 インターネットを利用する目的は何ですか。(いくつでも○)

図5-3 インターネットの利用目的 (％)



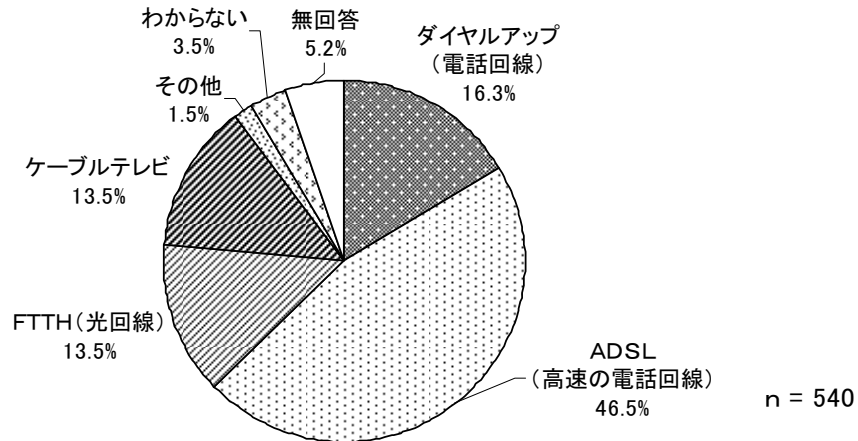
仕事以外でインターネットを利用している人に、利用目的を複数回答で該当するものをすべて挙げてもらった。

その結果、「ホームページからの情報収集」(85.1%)、「電子メールのやりとり」(74.4%)がとびぬけて多く、「書類や衣類、チケットなどの商品の購入・予約」(40.1%)、「飛行機や列車、ホテルなどの予約」(36.2%)が続いた。「国や地方自治体への電子申請」は1.1%となっている。

(3)インターネットへの接続方法……ADSL(高速の電話回線)が46.5%で最も多い
【問13で「1 パソコンで利用している」「4 ゲーム機で利用している」とした方に】

問13-2 パソコン、ゲーム機でのインターネットへの接続方法は次のうちどれですか。(1つに○)

図5-4 インターネットへの接続方法

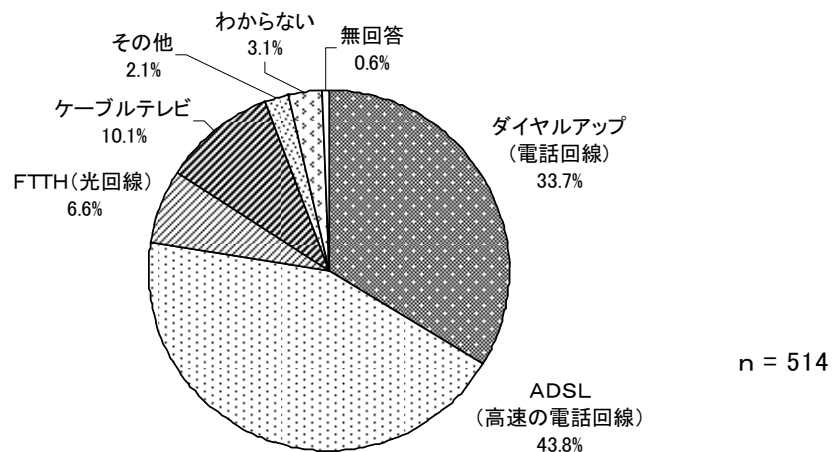


パソコンやゲーム機でインターネットを利用している人に、インターネットの接続方法をうかがったところ、「ADSL (高速の電話回線)」(46.5%)が最も多く、次いで「ダイヤルアップ (電話回線)」(16.3%)、「FTTH (光回線)」と「ケーブルテレビ」は同率の13.5%だった。

質問文は異なるが、昨年度(2003年度)の中野区政世論調査の結果と比較すると、トップの「ADSL (高速の電話回線)」には大きな変化はみられないが、2位の「ダイヤルアップ (電話回線)」(33.7%→16.3%)が半減し、一方、「FTTH (光回線)」(6.6%→13.5%)は倍増となった。

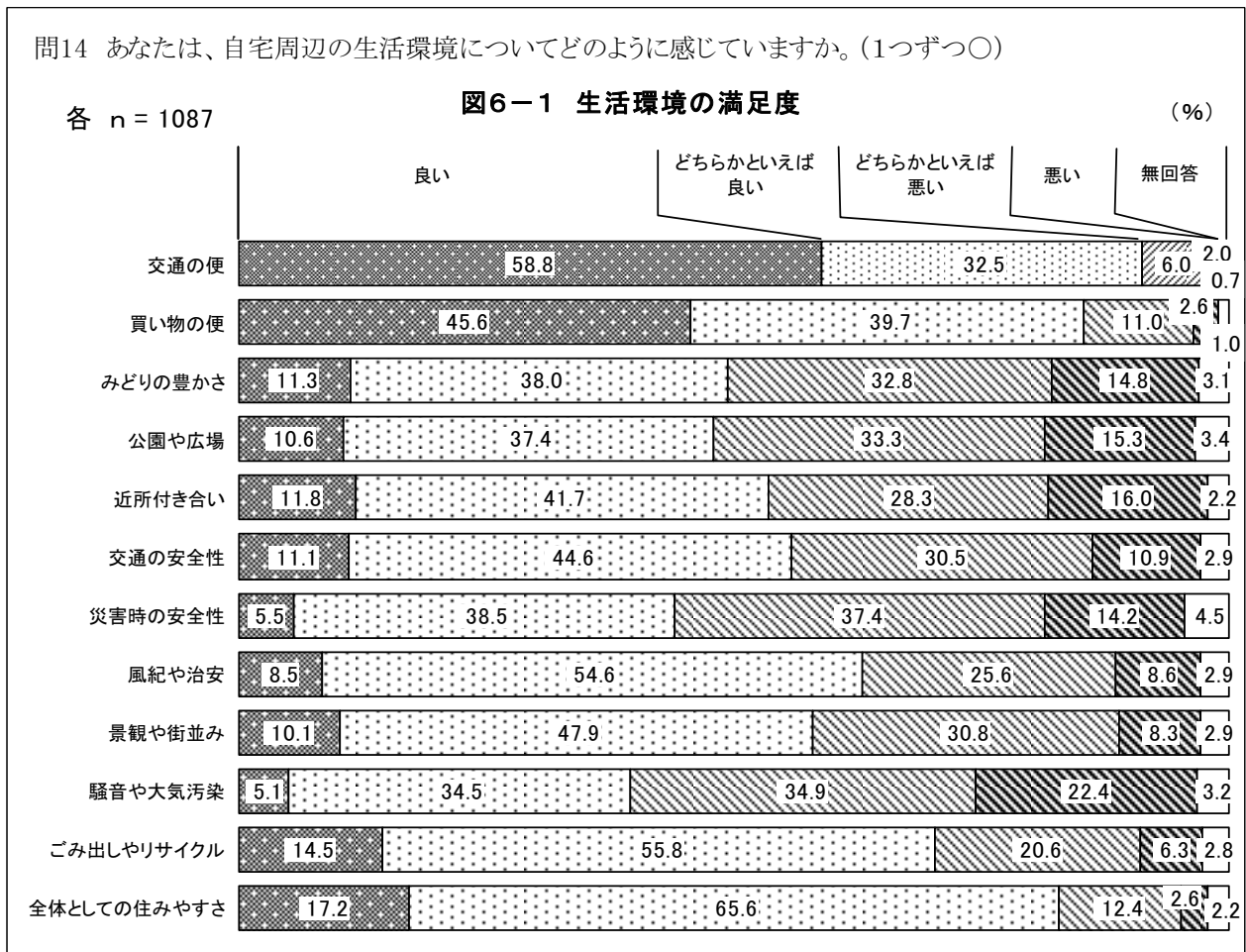
パソコンのインターネットへの接続方法は何ですか。(1つに○)

図5-5 インターネットへの接続方法 -2003年度-



6. 「生活環境の満足度」について

(1)生活環境の満足度……「良い」は“交通の便”、「悪い」は“騒音や大気汚染”が多い



自宅周辺の生活環境を、“全体としての住みやすさ”を含めた12項目に分けて「良い」「どちらかといえば良い」「どちらかといえば悪い」「悪い」の4段階で評価してもらった。

「良い」で目立つのは“交通の便”(58.8%)、“買い物の便”(45.6%)、「悪い」で目立つのは“騒音や大気汚染”(22.4%)となっている。

また、「良い」と「どちらかといえば良い」の合計を“満足層”、「どちらかといえば悪い」と「悪い」の合計を“不満足層”としたところ、“全体としての住みやすさ”を含めた10項目で“満足層”が“不満足層”を上回っており、なかでも“交通の便”(91.3%)、“買い物の便”(85.3%)は目立っている。“全体としての住みやすさ”の満足層も82.8%と多い。

反対に“不満足層”が“満足層”を上回っているのは、“騒音や大気汚染(57.3%)”“災害時の安全性(51.6%)”となっている。

【生活環境の評価点】

満足度の比較をより明確にするために、4段階評価に点数を与え、下式により評価点を算出して、各項目の評価を行った。

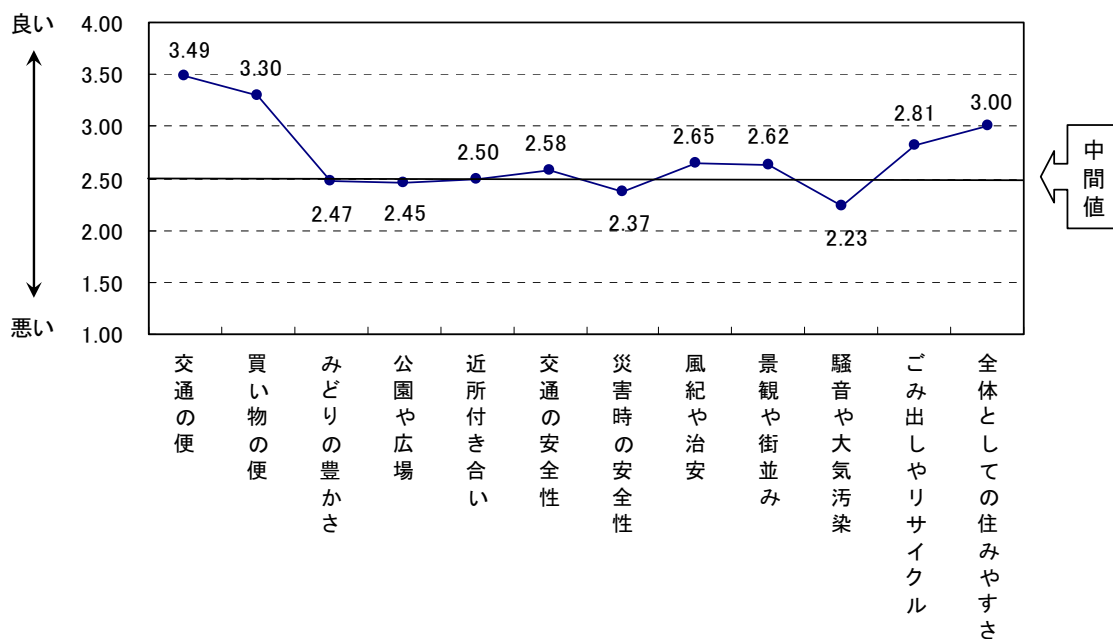
$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「良い」の回答者数} \times 4 \text{点} \\ + \text{「どちらかといえば良い」の回答者数} \times 3 \text{点} \\ + \text{「どちらかといえば悪い」の回答者数} \times 2 \text{点} \\ + \text{「悪い」の回答者数} \times 1 \text{点} \end{array}}{\text{全回答者数 (1,087) - 無回答}}$$

◎この算出方では、評価点は1.00～4.00の間に分布し、2.50が中間値になる

◎4.00に近いほど評価が良く、1.00に近いほど評価が悪い

結果は、「交通の便」の評価が3.49で最も高く、続いて「買い物の便」3.30、「全体としての住みやすさ」3.00となった。一方、評価が最も低いのは「騒音や大気汚染」の2.23、続いて「災害時の安全性」2.37、「公園や広場」2.45となっている。

図6-2 生活環境の評価点



地域別で見ると、「交通の便」と「買い物の便」は全体的に評価が高く、すべての地域で3.00を上回っている。「みどりの豊かさ」は地域による格差が大きく、評価が最も高い地域は江古田・沼袋の2.97、続いて上高田・新井の2.74、評価が低かった地域は弥生・東部の2.08だった。「公園や広場」も地域による格差が大きく、評価が最も高い地域は上高田・新井の3.44、続いて江古田・沼袋の2.99で、評価が低かった地域は「みどりの豊かさ」と同じく、弥生・東部の2.03だった。「近所付き合い」の評価は、昭和・東中野(2.96)と鷺宮・上鷺宮(2.76)が高く、そのほかの地域はあまり差が見られない。「交通の安全性」は、昭和・東中野(2.81)の評価がやや高く、弥生・東部(2.42)、野方・大和(2.46)が中間値を若干下回った。「災害時の安全性」は、昭和・東中野(2.51)、江古田・沼袋(2.55)、上高田・新井(2.43)、鷺宮・上鷺宮(2.48)が中間値付近で、他の地域は評価が低くなっている。「風紀や治安」は、昭和・東中野(2.21)の評価のみが低くなっているが、他の地域は中間値

を超えている。「景観や街並み」は、昭和・東中野 (2.89)、江古田・沼袋 (2.88)、鷺宮・上鷺宮 (2.79) の評価がやや高く、他の地域はいずれも中間値を若干下回っている。「騒音や大気汚染」は、鷺宮・上鷺宮の 2.56 以外は中間値を下回っている。「ごみ出しやリサイクル」と、「全体としての住みやすさ」は、すべての地域で中間値を上回り、地域の格差も少なかった。

図6-3-① 生活環境の評価点 -地域別-

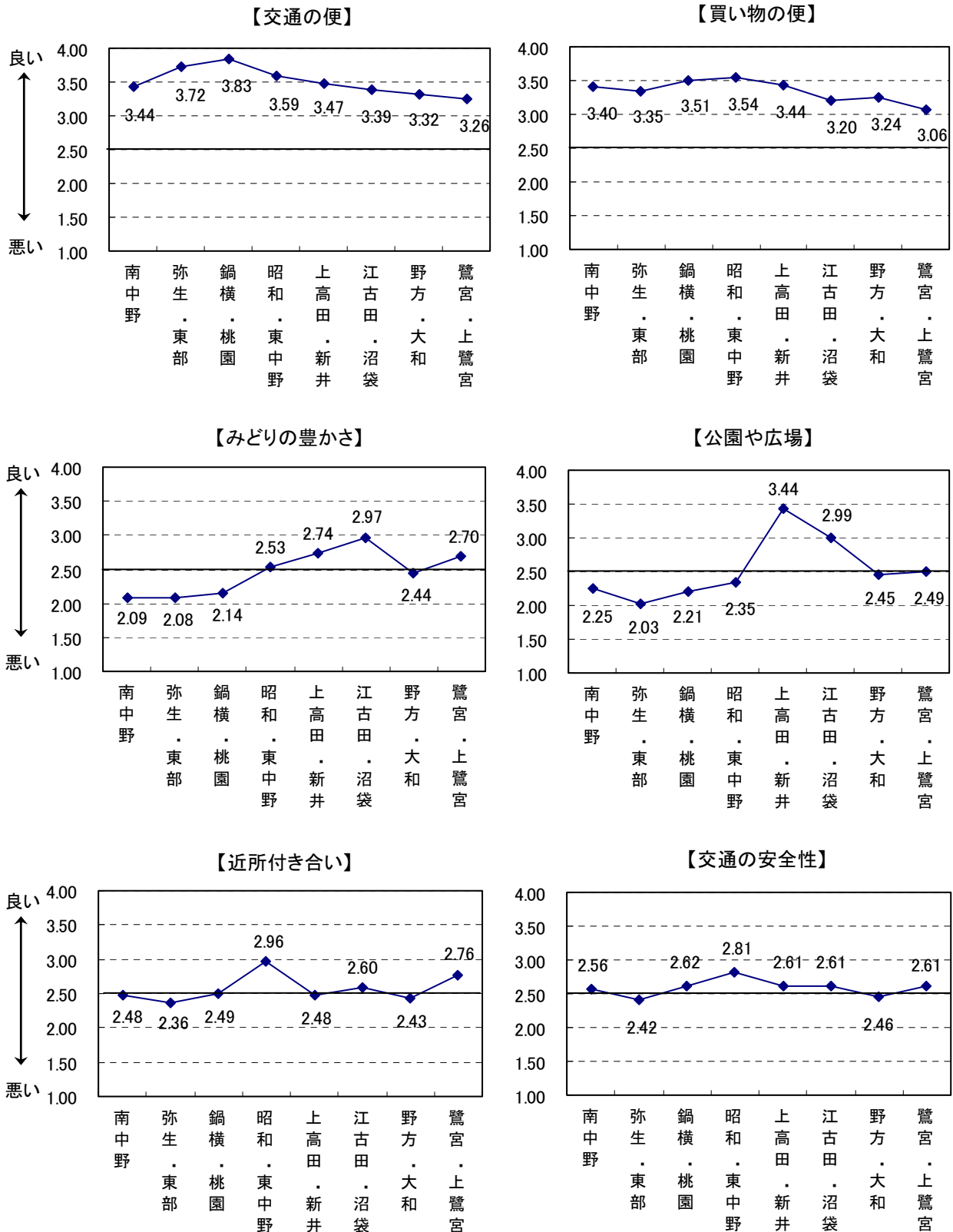
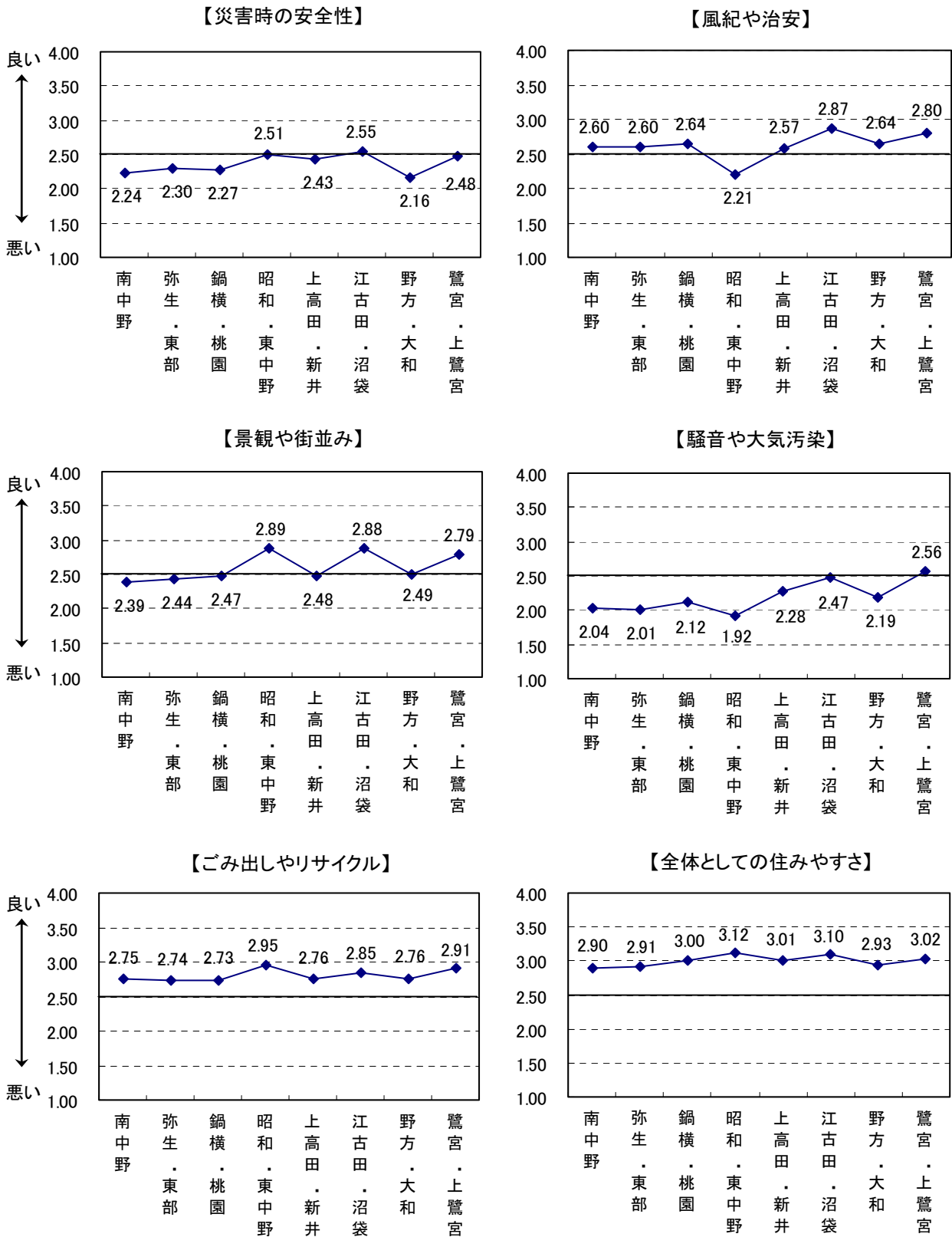


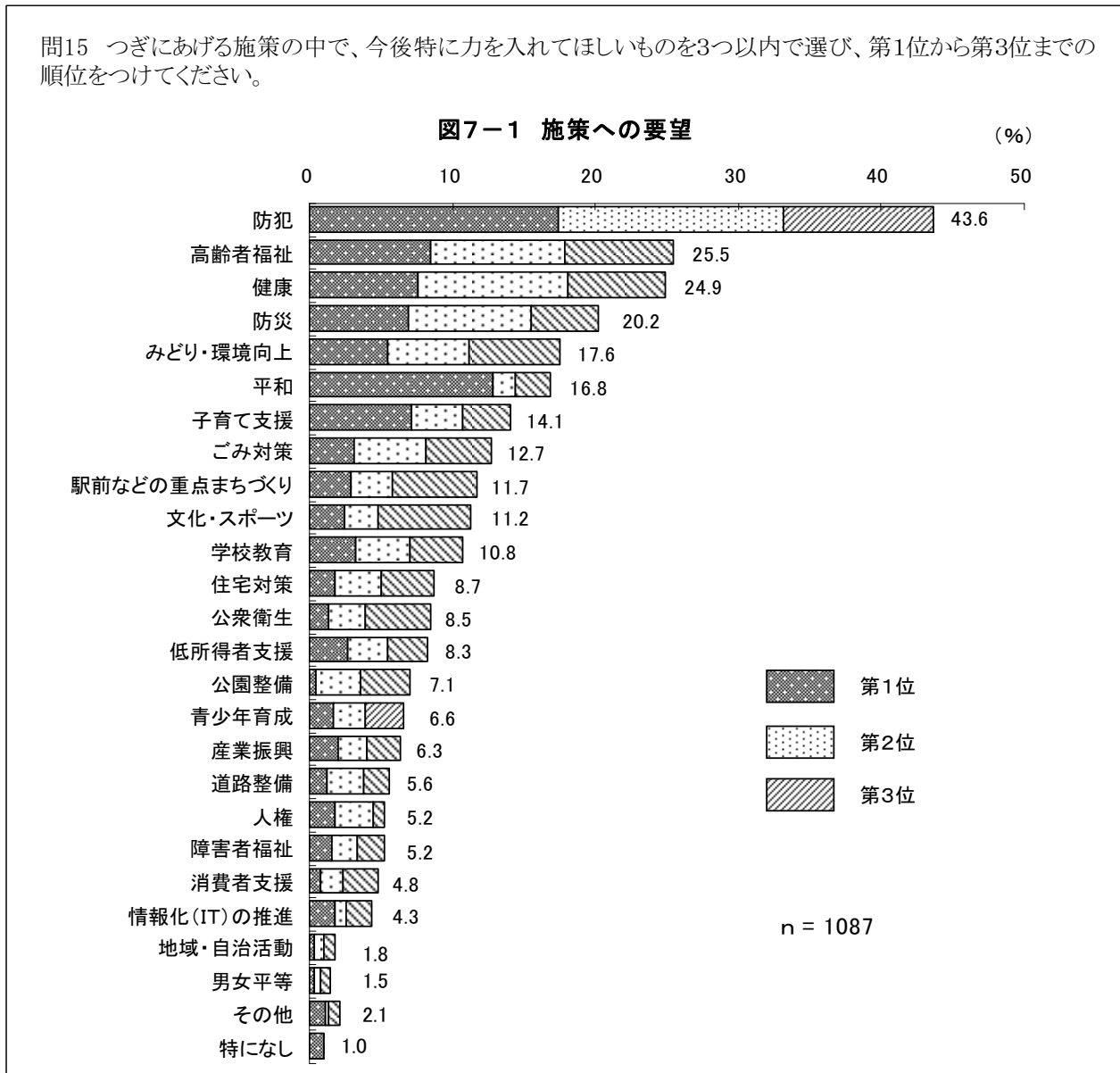
図6-3-② 生活環境の評価点 ー地域別ー



7. 「施策への要望」について

(1) 施策への要望……「防犯」が第1位に

問15 つぎにあげる施策の中で、今後特に力を入れてほしいものを3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけてください。



24項目の中で、今後特に力を入れてほしい施策を3つ以内で第1位から第3位までの順位をつけて挙げてもらった。なお、昨年度(2003年度)までは23項目だったが、今回から新たに「防犯」と「人権」を加え、「国際化施策」を除いて24項目とした。さらに一部の項目の表現を見直した。

その結果、第1位から第3位までを合計すると、「防犯」が43.6%で最も多く、次いで「高齢者福祉」25.5%、「健康」24.9%、「防災」20.2%、「みどり・環境向上」17.6%、「平和」16.8%となった。

なお、これまでは、高齢福祉が11年連続でトップだった。

過去10年間の上位6項目の推移を見ると、今回新たな項目として加わった「防犯」がトップになり、それまで第1位だった高齢者福祉が第2位に下がった。

これまで、上位6項目に挙がらなかった『保健衛生施策』は、今回、「健康」と「公衆衛生」に分けて示した結果、「健康」が第3位になった。

「防災」は、これまで『防災対策』として第2位または第3位に挙げられていたが、今回は第4位となっている。「平和」は、これまで『平和施策』として上位6項目に挙げられなかったが、今回は第6位となっている。

**表7-1 2004(平成16年度)までの施策への要望の時系列推移
第1位～第3位の合計値による上位6項目**

(%)

実施年度(N)	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
1995年 (1,003)	高齢者福祉 (53.2)	防災対策 (38.9)	環境・公害対策 (22.5)	住宅施策 (20.7)	公園・緑化推進 (19.7)	障害者福祉 (15.9)
1996年 (1,041)	高齢者福祉 (43.1)	防災対策 (31.8)	公園・緑化推進 (26.8)	道路整備 (25.5)	環境・公害対策 (21.5)	都市計画など まちづくり (17.7)
1997年 (1,062)	高齢者福祉 (50.4)	環境・公害対策 (28.7)	防災対策 (26.8)	公園・緑化推進 (21.8)	障害者福祉 (17.3)	住宅施策 (16.0)
1998年 (1,063)	高齢者福祉 (53.5)	環境・公害対策 (35.6)	防災対策 (21.1)	公園・緑化推進 (18.2)	省資源施策 (リサイクル 等) (15.6)	障害者福祉 (15.2)
1999年 (1,057)	高齢者福祉 (44.9)	防災対策 (32.3)	環境・公害対策 (30.8)	住宅施策 (20.0)	省資源施策 (リサイクル 等) (19.3)	公園・緑化推進 (19.0)
2000年 (1,067)	高齢者福祉 (47.1)	環境・公害対策 (36.3)	防災対策 (23.5)	省資源施策 (リサイクル 等) (20.5)	学校教育 (17.3)	住宅施策 (16.1)
2001年 (1,122)	高齢者福祉 (45.3)	環境・公害対策 (32.0)	防災対策 (25.3)	省資源施策 (リサイクル 等) (20.2)	学校教育 (15.3)	住宅施策 (15.3)
2002年 (1,070)	高齢者福祉 (49.2)	環境・公害対策 (31.6)	防災対策 (19.4)	学校教育 (17.5)	住宅施策 (15.4)	省資源施策 (リサイクル 等) (12.7)
2003年 (1,084)	高齢者福祉 (38.4)	環境・公害対策 (29.6)	防災対策 (27.7)	住宅施策 (14.8)	公園・緑化推進 (14.7)	文化・スポーツ 施策 (13.7)
2004年 (1,087)	防犯 (43.6)	高齢者福祉 (25.5)	健康 (24.9)	防災 (20.2)	みどり・環境向 上 (17.6)	平和 (16.8)

表 7-2 施策への要望 順位の変化

	2000年	2001年	2002年	2003年	今回
1位	高齢者福祉 47.1%	高齢者福祉 45.3%	高齢者福祉 49.2%	高齢者福祉 38.4%	防犯 43.6% (新規)
2位	環境・公害対策 36.3%	環境・公害対策 32.0%	環境・公害対策 31.6%	環境・公害対策 29.6%	高齢者福祉 25.5%
3位	防災対策 23.5%	防災対策 25.3%	防災対策 19.4%	防災対策 27.7%	健康 24.9% (新規)
4位	省資源施策 20.5%	省資源施策 20.2%	学校教育 17.5%	住宅対策 14.8%	防災 20.2%
5位	学校教育 17.3%	学校教育 15.3%	住宅施策 15.4%	公園・緑化推進 14.7%	みどり・環境向上 17.6% (新規)
6位	住宅施策 16.1%	住宅施策 15.3%	省資源施策 12.7%	文化・スポーツ施策 13.7%	平和 16.8%
7位	障害者福祉 13.6%	清掃事業施策 12.7% (新規)	都市計画など まちづくり 12.2%	低所得者施策 13.5%	子育て支援 14.1% (新規)
8位	低所得者施策 13.0%	公園・緑化推進 11.2%	障害者福祉 11.7%	都市計画など まちづくり 13.1%	ごみ対策 12.7% (新規)
9位	公園・緑化推進 11.6%	児童福祉 10.7%	児童福祉 11.6%	学校教育 12.5%	駅前などの重 点まちづくり 11.7% (新規)
10位	都市計画など まちづくり 11.4%	低所得者施策 10.0%	公園・緑化推進 11.1%	児童福祉 11.7%	文化・スポーツ 11.2%
11位	道路整備 10.4%	都市計画など まちづくり 9.6%	清掃事業施策 10.8%	省資源施策 11.4%	学校教育 10.8%
12位	文化・スポーツ施策 10.1%	文化・スポーツ施策 9.5%	文化・スポーツ施策 10.8%	保健衛生施策 10.1%	住宅対策 8.7%

図7-2-① 施策への要望 順位変化

(注) 項目名を大きく変更したものは昨年度までの名称を () 内に示した

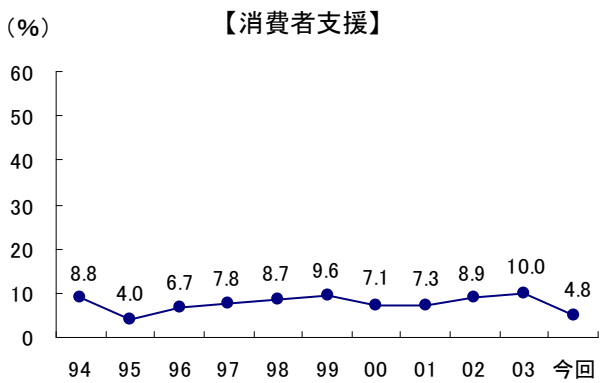
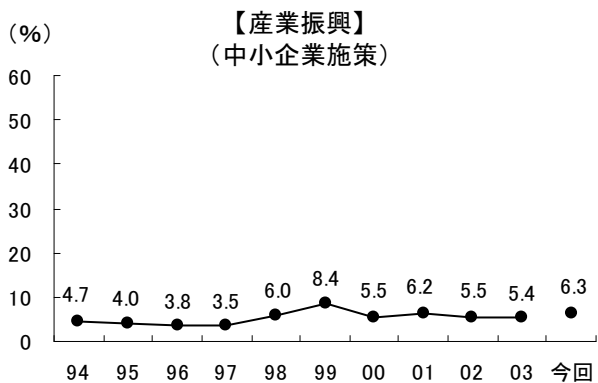
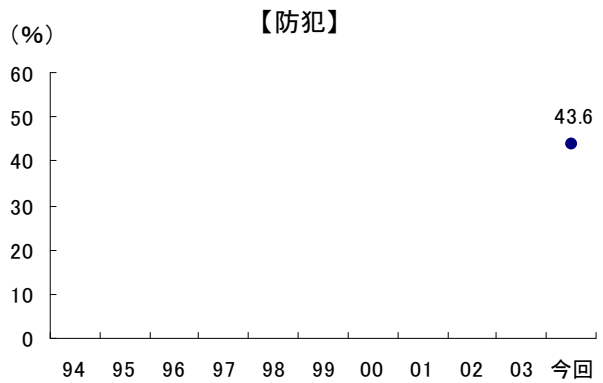
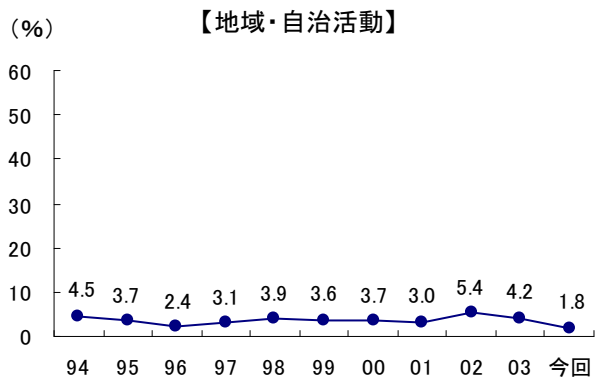
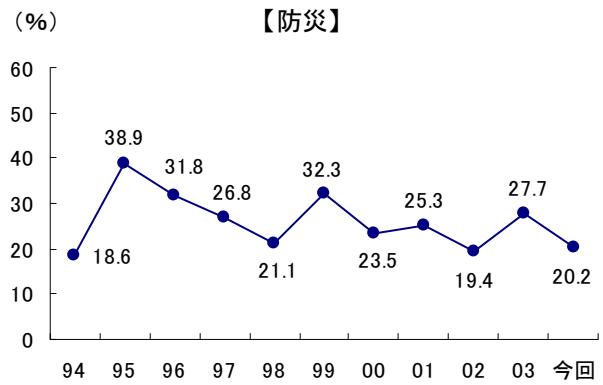
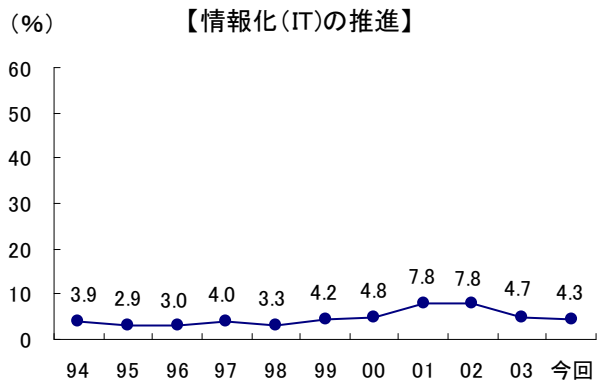
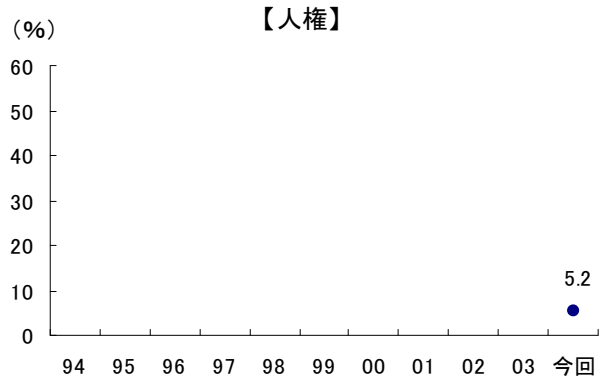
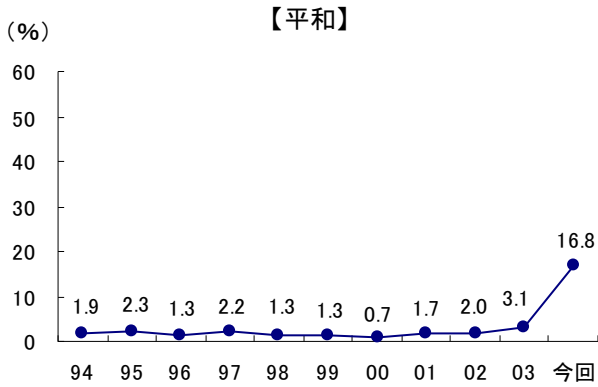


図7-2-② 施策への要望 順位変化

(注) 項目名を大きく変更したものは昨年度までの名称を () 内に示した

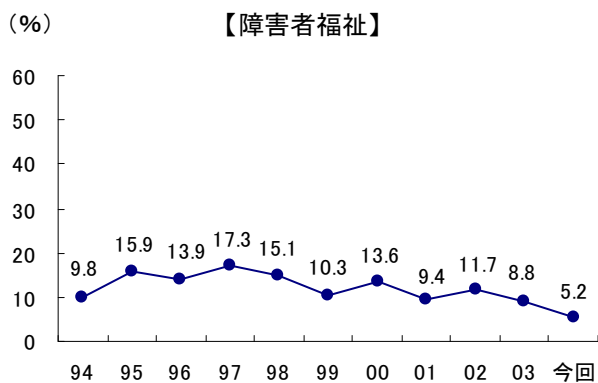
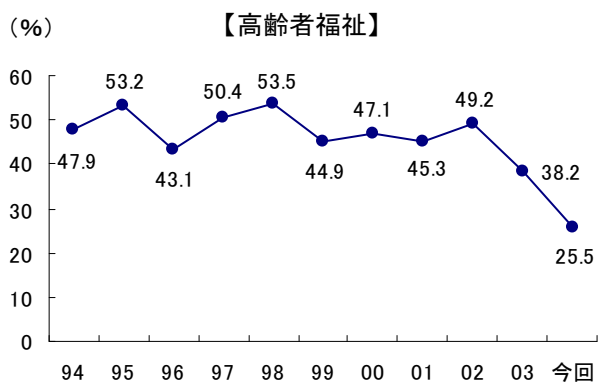
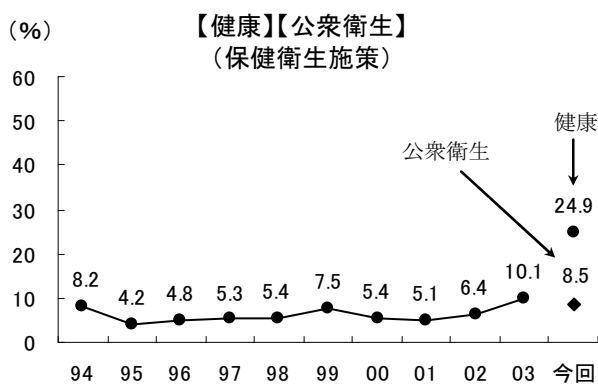
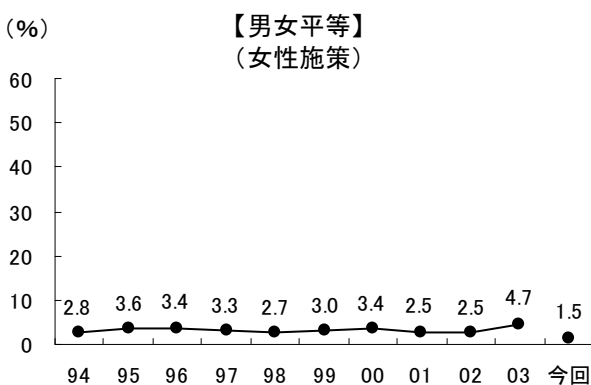
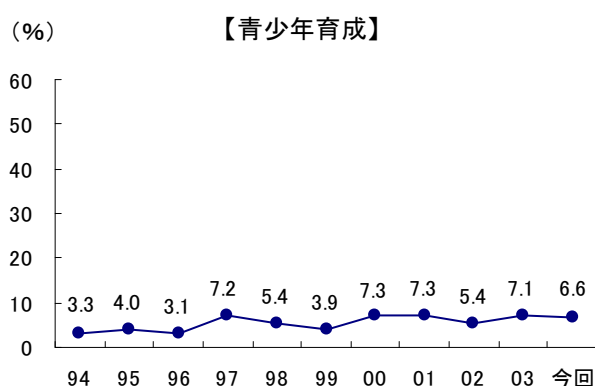
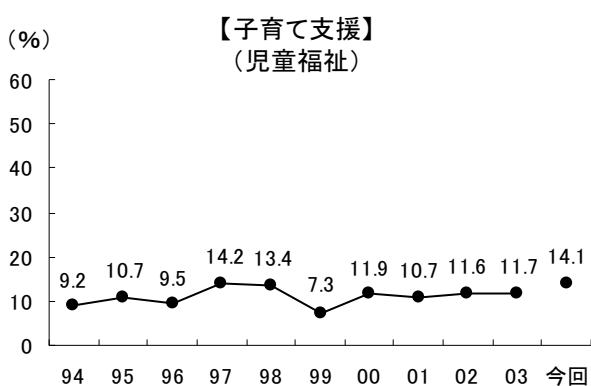
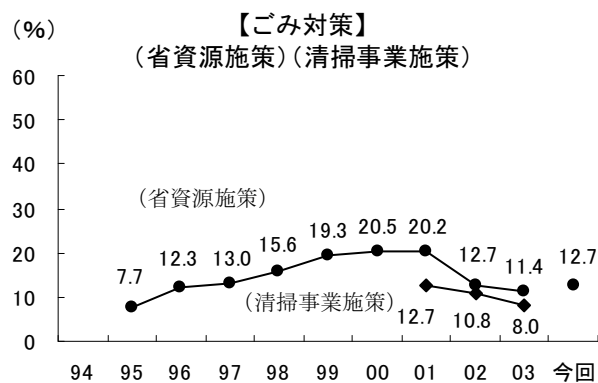
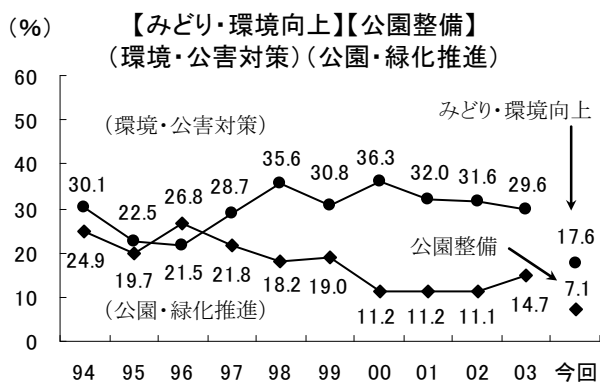
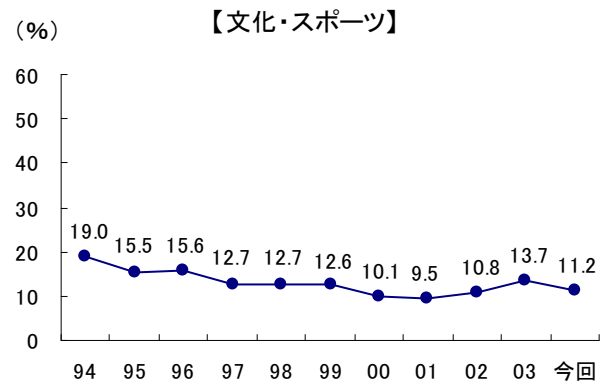
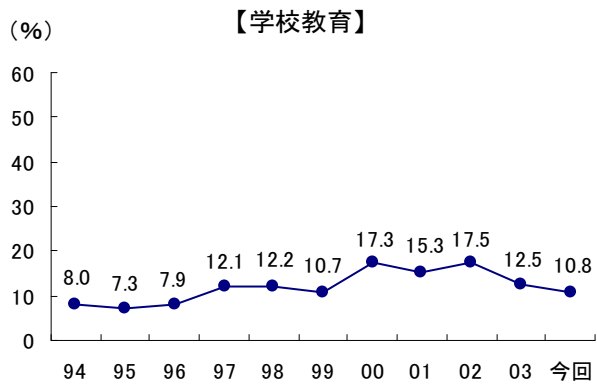
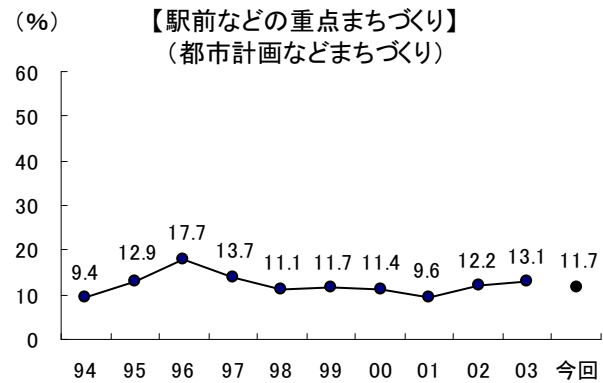
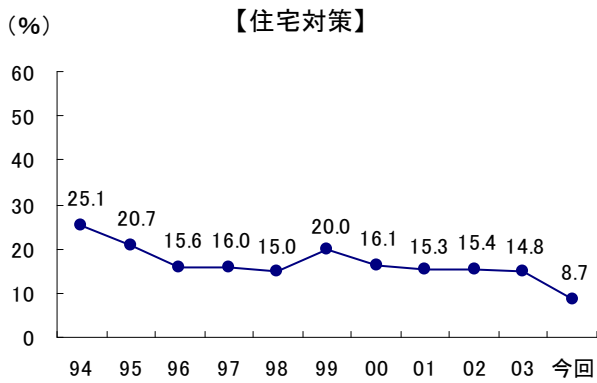
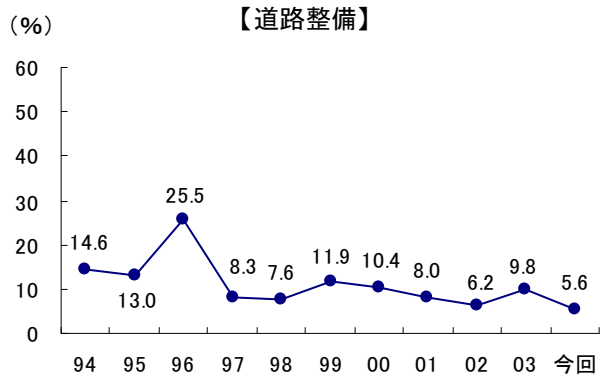
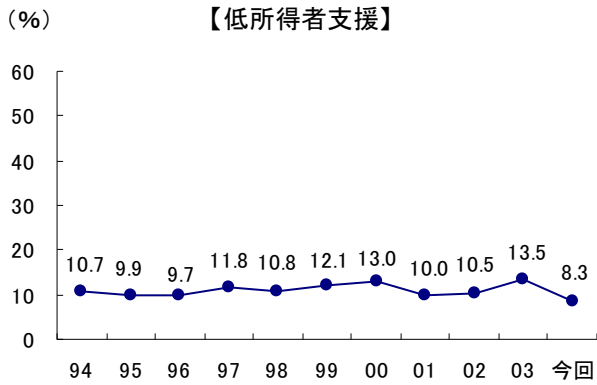


図7-2-③ 施策への要望 順位変化

(注) 項目名を大きく変更したものは昨年度までの名称を () 内に示した



性・年代別でみると、総数で第1位の「防犯」は男女とも20～50代までで第1位、60代と70歳以上からも第2位に挙げられている。第2位の「高齢者福祉」は男女とも60代と70歳以上で第1位だが、男性20代と女性20代30代からの支持はなかった。第3位の「健康」は男性30代以外のすべての年代で6位内に挙げられた。第4位の「防災」は男女20代以外のすべての年代で6位内に挙げられた。第5位の「みどり・環境向上」は女性60代と70歳以上以外のすべての年代で6位内に挙げられた。第6位の「平和」は、男性では30代・50代・60代・70歳以上から、女性では20代・50代・60代・70歳以上から6位以内に挙げられた。

総数で6位以内に挙げられなかった項目では、「子育て支援」が男性30代と女性20代・30代から第2位に挙げられ、男性40代からは第4位だった。「駅前などの重点まちづくり」は男性20代では第5位、女性20代から第6位に挙げられた。

表7-3 施策への要望(上位6項目) -性・年代別-

(%)

総数		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
		防犯 43.6	高齢者福祉 25.5	健康 24.9	防災 20.2	みどり・環境向上 17.6	平和 16.8
男性	合計	防犯 43.3	健康 24.8	高齢者福祉 24.3	防災 20.2	みどり・環境向上 18.8	文化・スポーツ 15.6
	20代	防犯 34.3	文化・スポーツ 32.4	みどり・環境向上 26.3	健康 18.6	駅前などの重点まちづくり 17.6	情報化(IT)の推進 14.7
	30代	防犯 53.0	子育て支援 25.2	防災 20.9	みどり・環境向上 17.4	平和 15.7	高齢者福祉 14.8
	40代	防犯 45.2	防災 23.3	高齢者福祉 21.9	みどり・環境向上／子育て支援／健康 20.5		
	50代	防犯 45.2	健康 36.9	高齢者福祉 31.0	防災 20.2	平和／みどり・環境向上／文化・スポーツ 15.5	
	60代	高齢者福祉 40.5	防犯 39.2	健康 34.2	防災 20.3	ごみ対策 17.5	平和／みどり・環境向上 13.9
	70歳以上	高齢者福祉 56.3	防犯 39.6	健康 35.4	防災 29.2	みどり・環境向上 16.7	平和 12.5
女性	合計	防犯 43.9	高齢者福祉 26.5	健康 25.1	防災 20.3	平和 19.5	みどり・環境向上 16.6
	20代	防犯 49.3	子育て支援 26.7	みどり・環境向上／健康 21.3		平和 20.5	駅前などの重点まちづくり 17.3
	30代	防犯 49.3	子育て支援 36.2	健康 22.5	防災 18.8	ごみ対策 17.4	みどり・環境向上 16.7
	40代	防犯 45.8	学校教育 27.1	高齢者福祉 25.0	健康 20.8	ごみ対策 19.8	防災／みどり・環境向上 18.8
	50代	防犯 42.2	健康／高齢者福祉 30.3		みどり・環境向上 23.9	平和 22.9	防災 21.1
	60代	高齢者福祉 40.9	防犯 34.1	健康 31.8	平和 29.5	防災 21.6	ごみ対策 12.5
	70歳以上	高齢者福祉 47.5	防犯 40.0	防災 28.8	健康 23.8	平和 22.5	ごみ対策 13.8

職業別では、総数で第1位の「防犯」は、無職以外すべての職業で第1位だった。第2位の「高齢者福祉」は無職で第1位に挙げられが、学生からは6位以内に挙げられなかった。第3位の「健康」はすべての職業から6位以内に挙げられた。

このほか、総数で6位以内に挙げられなかった項目として「産業振興」が自営業から第6位に、「子育て支援」が家事専業から第5位、常勤の勤め人と学生から第6位に挙げられた。「文化・スポーツ」はパート・臨時・アルバイトと学生から第5位に挙げられた。

表7-4 施策への要望(上位6項目) -職業別-

(%)

総数		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
		防犯 43.6	高齢者福祉 25.5	健康 24.9	防災 20.2	みどり・ 環境向上 17.6	平和 16.8
自営業		防犯 42.1	健康 28.9	高齢者福祉 25.7	防災 21.7	平和 21.1	産業振興 17.8
勤 め 人	常勤の勤 め人	防犯 47.1	みどり・ 環境向上 17.6	健康 21.6	防災 20.4	高齢者福祉 18.8	子育て支援 15.8
	パート・ 臨時・アル バイト	防犯 40.9	健康 26.3	高齢者福祉 21.2	平和 18.2	文化・ スポーツ 16.8	学校教育 16.1
無 職	学 生	防犯 42.9	平和/公衆衛生 25.7		駅前などの重 点まちづくり 20.0	文化・ スポーツ 17.1	みどり・環境 向上/子育て支 援/健康 14.3
	家事専業	防犯 48.7	高齢者福祉 28.0	健康 26.5	平和 21.7	子育て支援 20.6	防災 20.1
	無 職	高齢者福祉 45.2	防犯 34.9	健康 28.8	防災 21.9	平和 19.2	ごみ対策/駅前 などの重点ま ちづくり 11.6

地域別では、総数第1位の「防犯」はすべての地域で第1位となっていて、最も多かった地域は上高田・新井 50.5%だった。第2位の「高齢者福祉」は、昭和・東中野でやや少なく第5位だった。第3位の「健康」は同率を含めるとすべての地域で3位以内に入っている。第4位の「防災」は昭和・東中野で第2位になっている。

このほか、総数で6位以内に挙げられなかった項目として、「学校教育」が南中野で第6位、「駅前など重点まちづくり」が昭和・東中野で第4位に、「ごみ対策」が野方・大和と鷺宮・上鷺宮で第6位に挙げられた。

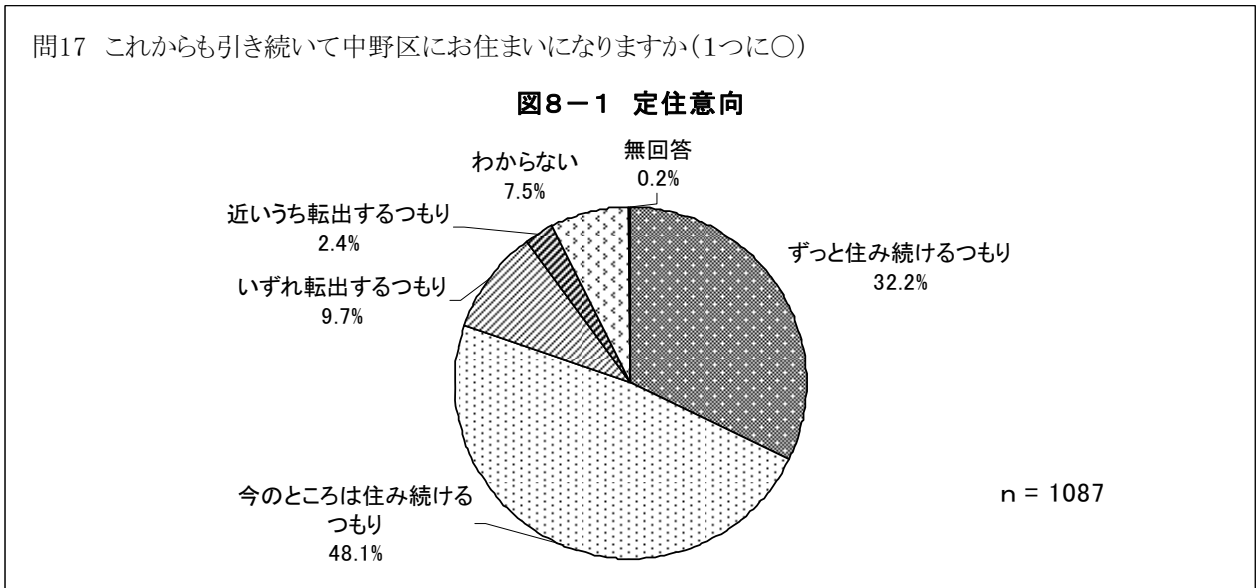
表7-5 施策への要望(上位6項目) -地域別-

(%)

総数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
	防犯 43.6	高齢者福祉 25.5	健康 24.9	防災 20.2	みどり・環境向上 17.6	平和 16.8
南中野	防犯 41.3	健康／高齢者福祉 30.3		平和 22.9	防災 19.3	学校教育 14.7
弥生・東部	防犯 47.3	健康 30.0	高齢者福祉 24.7	みどり・環境向上 22.7	防災 20.0	平和 16.0
鍋横・桃園	防犯 42.9	高齢者福祉 29.3	健康 28.6	防災 21.8	平和 21.1	みどり・環境向上/文化・スポーツ 16.3
昭和・東中野	防犯 40.2	防災 32.0	健康 20.6	駅前など重点まちづくり 19.6	高齢者福祉 18.6	平和 16.5
上高田・新井	防犯 50.5	高齢者福祉 24.2	平和／みどり・環境向上／健康 20.9			防災 16.5
江古田・沼袋	防犯 41.1	高齢者福祉 23.8	健康 22.5	子育て支援 18.5	みどり・環境向上 17.9	平和 15.2
野方・大和	防犯 37.4	高齢者福祉 25.9	防災／健康 23.8		みどり・環境向上 19.7	ごみ対策 15.6
鷺宮・上鷺宮	防犯 47.7	高齢者福祉 25.6	健康 22.1	子育て支援 19.0	防災 17.9	ごみ対策 16.4

8. 「定住意向」について

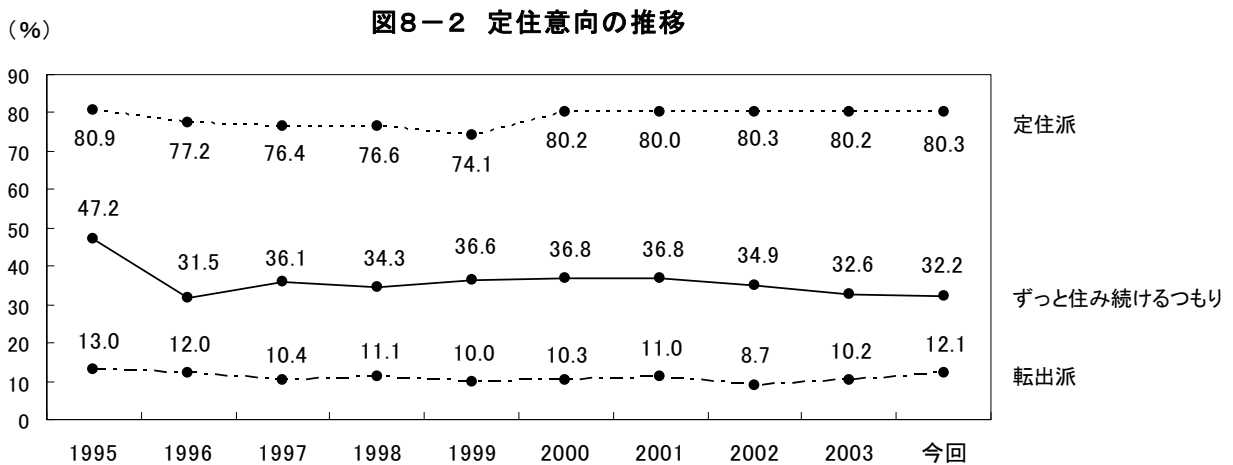
(1) 定住意向……“定住派(「ずっと住み続けるつもり」+「今のところは住み続けるつもり)」は約8割



定住意向をたずねたところ、「ずっと住み続けるつもり」32.2%、「今のところは住み続けるつもり」48.1%、これを合計した“住み続ける”という定住派は、80.3%という結果だった。一方、「いずれ転出するつもり」9.7%と「近いうち転出するつもり」2.4%を合計した“転出するつもり”という転出派は、12.1%だった。

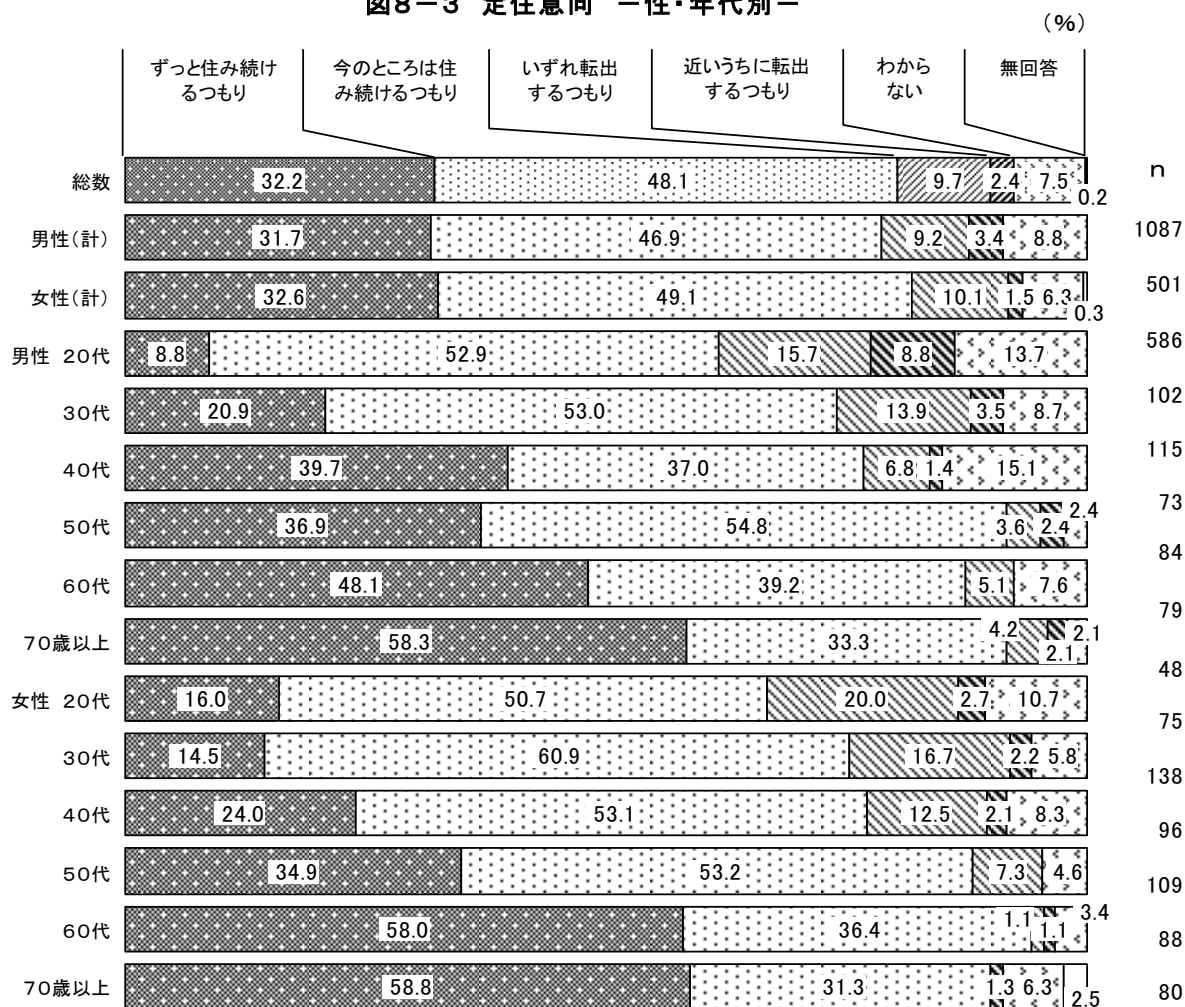
過去10年間の定住意向の推移をみると、“住み続ける”という定住派は、昨年の80.2%、一昨年の80.3%と比べ、今年もほぼ同率という結果だった。

“転出派”は、2002年度からみるとやや上昇傾向にある。



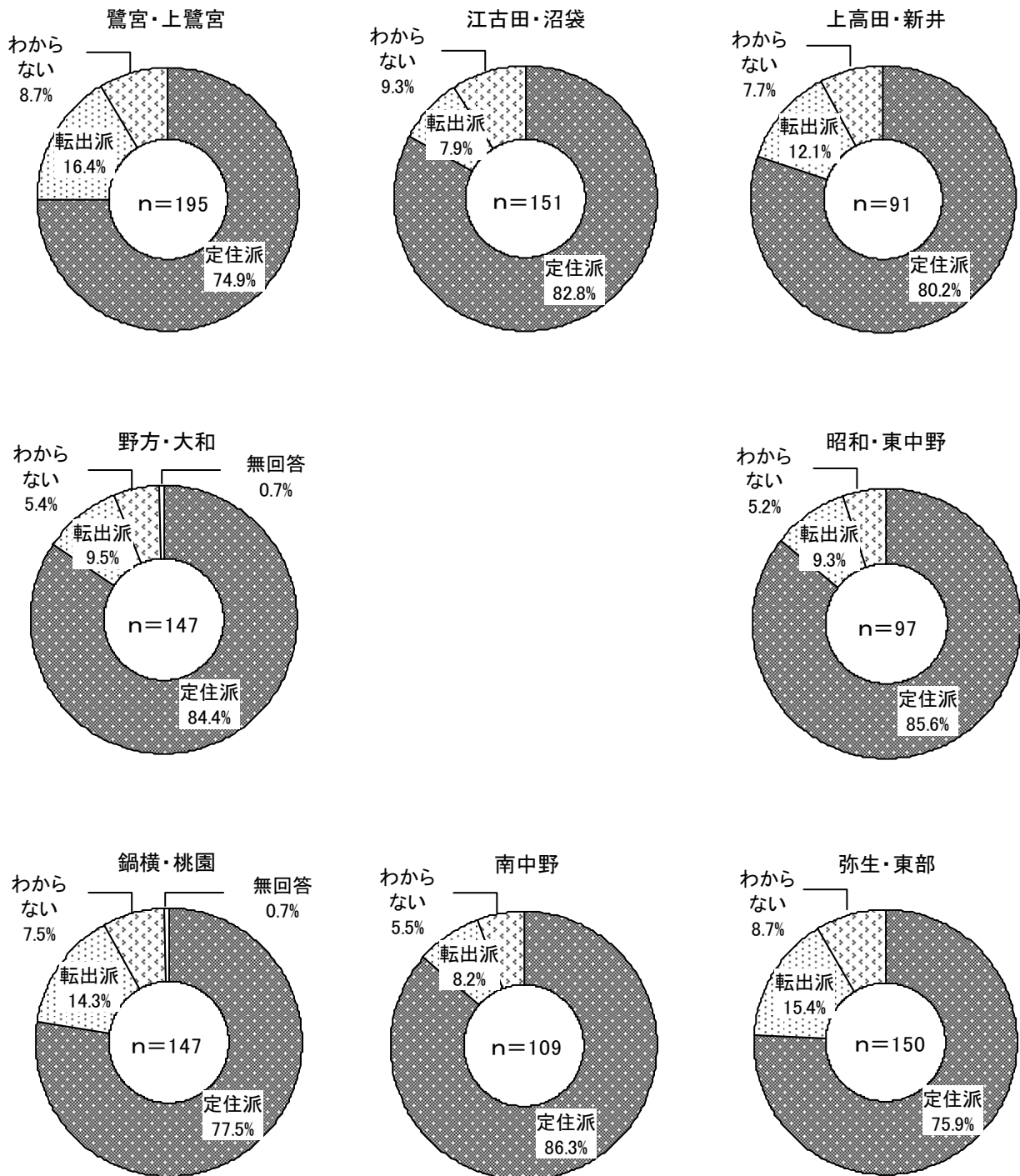
性・年代別でみると、定住派は、男性より女性のほうが若干多く、男女とも50代以降で多くなっている。転出派は、男性20代(24.5%)で最も多く、女性20代(22.7%)が続いている。「わからない」は男性20代が8.8%でやや目立っている。

図8-3 定住意向 ー性・年代別ー

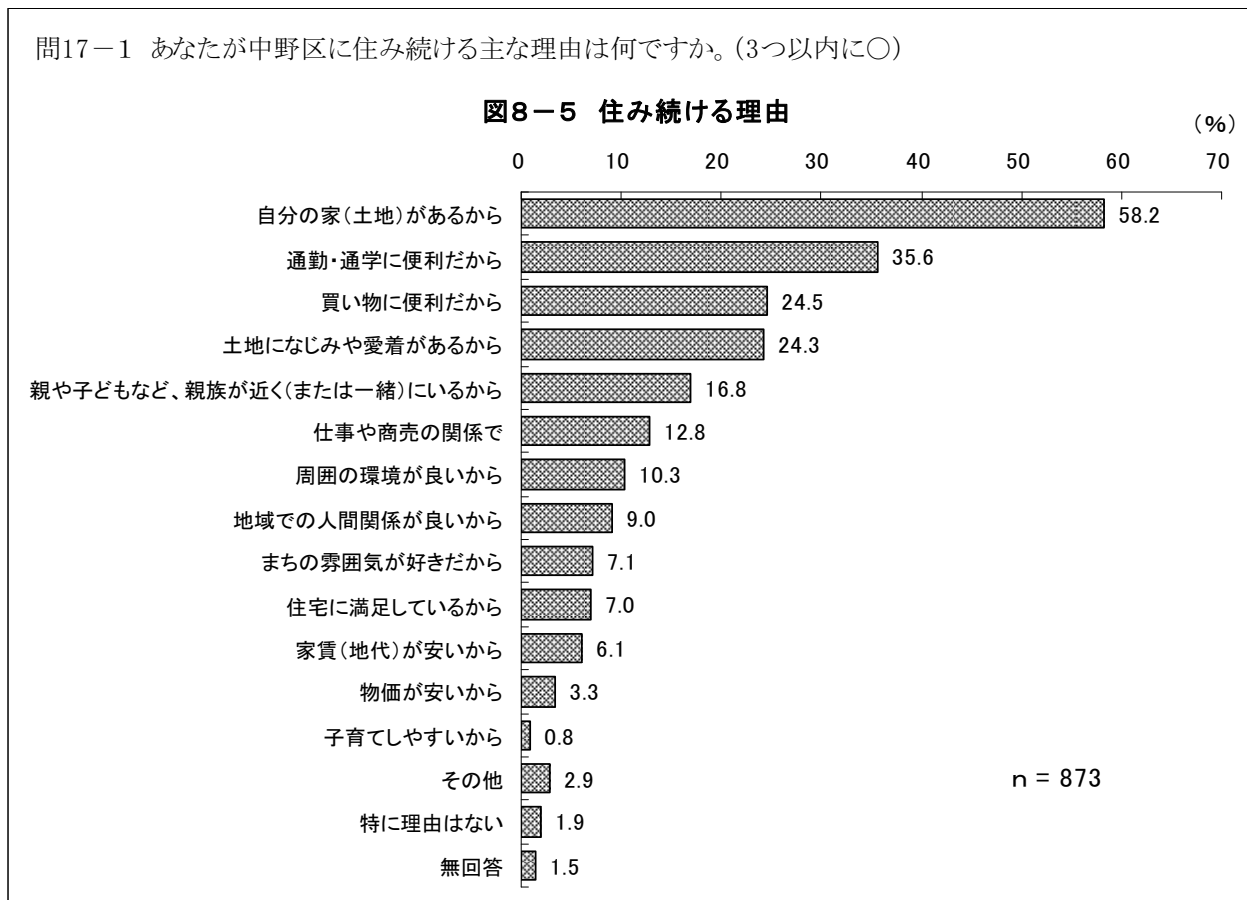


地域別では、定住派が多い地域は、南中野（86.3%）と昭和・東中野（85.6%）だった。一方、転出派は、鷺宮・上鷺宮（16.4%）、弥生・東部（15.4%）が多かった。

図8-4 定住意向 —地域別—



(2) 住み続ける理由……「自分の家(土地)があるから」が最多、次いで「通勤・通学に便利だから」
【問17で「1 ずっと住み続けるつもり」「2 今のところ住み続けるつもり」という方に】



“住み続ける”という定住派に、中野区に住み続ける理由を複数回答で該当する理由を3つまで挙げてもらった。

その結果、「自分の家(土地)があるから」58.2%が最も多く、次いで「通勤・通学に便利だから」35.6%、さらに「買い物に便利だから」24.5%、「土地になじみや愛着があるから」24.3%がほぼ同率で続いている。一方、「子育てしやすいから」0.8%、「物価が安いから」3.3%は少なかった。

性・年代別でみると、「通勤・通学に便利だから」は、男性20代(58.7%)、同30代(60.0%)で多くなっている。「買い物に便利だから」は、女性60代(41.0%)が多くなっている。「住宅に満足しているから」は、女性20代(20.0%)で多くなっている。「土地になじみや愛着がある」は、男女とも70歳以上が目立っている。

地域別では、「自分の家(土地)があるから」は、野方・大和(70.2%)が最も多く、昭和・東中野(44.6%)が最も少なかった。「家賃(地代)が安いから」は、昭和・東中野(14.5%)が最も多く、野方・大和(0.8%)が最も少なかった。「通勤・通学に便利だから」「買い物に便利だから」「仕事や商売の関係で」は昭和・東中野が目立っている。「地域での人間関係が良いから」は、昭和・東中野(13.3%)、江古田・沼袋(11.2%)、鷺宮・上鷺宮(11.6%)が目立っている。「周囲の環境が良いから」は、昭和・東中野(15.7%)、上高田・新井(17.8%)、鷺宮・上鷺宮(16.4%)が目立っている。「親や子どもなど、親族が近く(または一緒)にいるから」南中野(21.3%)、野方・大和(21.0%)、鷺宮・上鷺宮(22.6%)が目立っている。「土地になじみや愛着があるから」は、江古田・沼袋(28.0%)、鷺宮・上鷺宮(28.1%)がやや目立っている。

居住年数別では、「通勤・通学に便利だから」は、2年未満(56.5%)、2年～5年未満(56.6%)、5年～10年未満(50.9%)が目立っている。「まちの雰囲気が好きだから」は、2年未満(11.3%)、

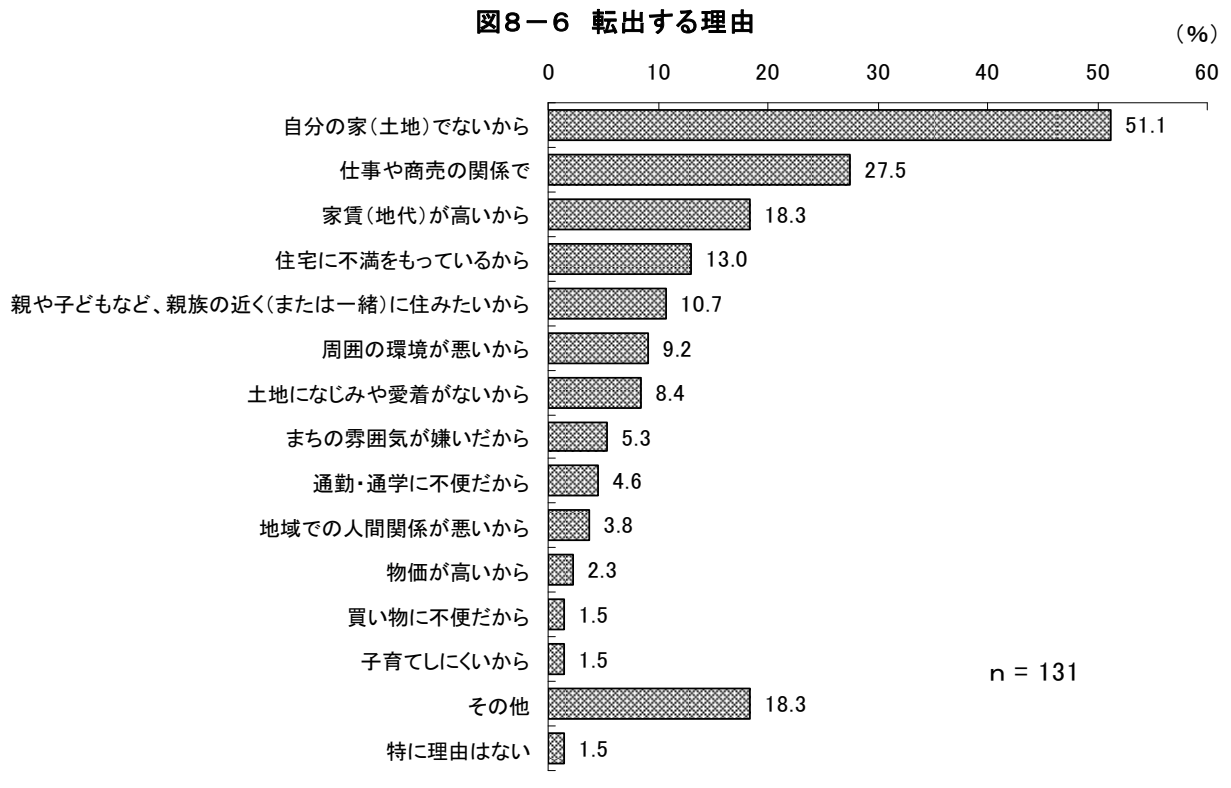
2年～5年未満（16.2%）が多いが、10年～20年未満と生まれてからずっと住んでいるは、それぞれ3.3%、3.7%と少なかった。「住宅に満足しているから」は、2年未満（17.7%）が目立っている。「土地になじみや愛着がある」は、居住年数が増すごとに多くなり、生まれてからずっと住んでいる（41.9%）が最も多い。

表8-1 住み続ける理由 - 性・年代別、地域別、居住年数別 -

		n	自分の家（土地）があるから	家賃（地代）が安いから	通勤・通学に便利だから	買い物に便利だから	子育てしやすいから	仕事や商売の関係で	地域での人間関係が良いから	周囲の環境が良いから	まちな雰囲気が好きだから	親や子どもなど、親族が近く（または一緒）にいるから	住宅に満足しているから	物価が安いから	土地になじみや愛着があるから	その他	特に理由はない	無回答	
総数		873	58.2	6.1	35.6	24.5	0.8	12.8	9.0	10.3	7.1	16.8	7.0	3.3	24.3	2.9	1.9	1.5	
性・年代別	男性（計）	394	55.8	7.4	40.9	20.1	0.5	17.5	8.9	10.2	7.9	15.2	6.6	2.8	25.4	2.0	2.0	1.8	
	女性（計）	479	60.1	5.0	31.3	28.2	1.0	9.0	9.2	10.4	6.5	18.2	7.3	3.8	23.4	3.5	1.9	1.3	
	男性	20代	63	34.9	7.9	58.7	20.6	-	12.7	4.8	7.9	9.5	19.0	4.8	1.6	20.6	3.2	-	4.8
		30代	85	48.2	8.2	60.0	20.0	-	22.4	7.1	12.9	10.6	23.5	4.7	2.4	23.5	-	-	-
		40代	56	58.9	3.6	44.6	3.6	3.6	16.1	16.1	5.4	10.7	17.9	-	-	21.4	-	1.8	-
		50代	77	61.0	5.2	39.0	20.8	-	27.3	5.2	10.4	6.5	14.3	10.4	3.9	27.3	3.9	2.6	-
		60代	69	68.1	11.6	18.8	26.1	-	11.6	10.1	13.0	4.3	10.1	14.5	5.8	24.6	4.3	5.8	1.4
		70歳以上	44	68.2	6.8	11.4	29.5	-	9.1	13.6	9.1	4.5	-	2.3	2.3	38.6	-	2.3	6.8
	女性	20代	50	30.0	2.0	50.0	20.0	2.0	8.0	4.0	12.0	8.0	34.0	20.0	6.0	24.0	4.0	2.0	2.0
		30代	104	43.3	4.8	44.2	20.2	1.0	10.6	7.7	6.7	14.4	19.2	5.8	3.8	22.1	5.8	2.9	-
		40代	74	63.5	6.8	41.9	20.3	2.7	5.4	5.4	9.5	9.5	14.9	2.7	5.4	21.6	4.1	1.4	2.7
		50代	96	69.8	3.1	37.5	31.3	-	13.5	8.3	11.5	-	16.7	6.3	2.1	19.8	1.0	2.1	-
60代		83	72.3	7.2	7.2	41.0	1.2	9.6	10.8	10.8	3.6	16.9	6.0	1.2	20.5	2.4	2.4	2.4	
70歳以上		72	75.0	5.6	8.3	34.7	-	4.2	18.1	13.9	2.8	12.5	8.3	5.6	34.7	4.2	-	1.4	
地域別	南中野	94	67.0	4.3	34.0	27.7	-	8.5	6.4	5.3	1.1	21.3	5.3	1.1	24.5	4.3	2.1	-	
	弥生・東部	114	52.6	6.1	41.2	21.9	2.6	11.4	9.6	4.4	2.6	7.9	8.8	-	24.6	5.3	1.8	1.8	
	鍋横・桃園	114	57.9	4.4	43.9	25.4	0.9	14.0	7.0	1.8	5.3	17.5	7.0	0.9	22.8	5.3	2.6	0.9	
	昭和・東中野	83	44.6	14.5	51.8	47.0	1.2	33.7	13.3	15.7	12.0	8.4	6.0	-	21.7	2.4	1.2	-	
	上高田・新井	73	65.8	6.8	31.5	24.7	-	16.4	8.2	17.8	8.2	13.7	9.6	1.4	23.3	-	1.4	1.4	
	江古田・沼袋	125	56.0	4.8	26.4	22.4	-	9.6	11.2	12.8	12.8	17.6	8.8	3.2	28.0	1.6	4.0	4.0	
	野方・大和	124	70.2	0.8	34.7	21.0	0.8	10.5	4.8	9.7	7.3	21.0	5.6	10.5	19.4	2.4	0.8	0.8	
	鷺宮・上鷺宮	146	52.7	8.9	27.4	15.8	0.7	6.8	11.6	16.4	7.5	22.6	5.5	6.2	28.1	1.4	1.4	2.1	
居住年数別	2年未満	62	33.9	3.2	56.5	25.8	1.6	11.3	4.8	11.3	11.3	8.1	17.7	6.5	4.8	4.8	4.8	-	
	2年～5年未満	99	34.3	9.1	56.6	23.2	-	22.2	5.1	11.1	16.2	11.1	9.1	4.0	5.1	4.0	2.0	4.0	
	5年～10年未満	106	36.8	12.3	50.9	23.6	2.8	13.2	11.3	9.4	8.5	17.9	6.6	1.9	15.1	2.8	1.9	0.9	
	10年～20年未満	121	49.6	5.8	38.0	18.2	1.7	6.6	7.4	12.4	3.3	18.2	5.8	4.1	16.5	3.3	4.1	1.7	
	20年～30年未満	115	60.0	7.0	32.2	25.2	-	19.1	12.2	5.2	7.8	21.7	5.2	6.1	26.1	2.6	-	1.7	
	30年以上	233	74.7	5.6	17.6	30.5	0.4	10.7	10.3	13.3	5.2	15.9	6.0	2.1	34.8	1.7	1.3	1.3	
	生まれてからずっと住んでいる	136	80.9	0.7	30.9	20.6	-	10.3	8.8	7.4	3.7	20.6	5.1	1.5	41.9	2.9	1.5	0.7	

(3) 転出する理由………「自分の家(土地)でないから」に次いで「仕事や商売の関係で」が多い
 【問17で「3 いずれ転出するつもり」「4 近いうちに転出するつもり」という方に】

問17-2 あなたが中野区から転出する主な理由は何ですか。(3つ以内に○)



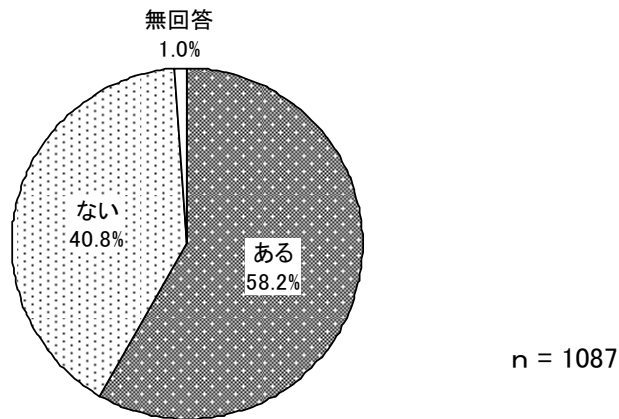
“転出するつもり”という転出派にその理由を複数回答（3つ以内）で挙げてもらったところ、「自分の家（土地）でないから」が51.1%でトップ、次いで「仕事や商売の関係で」27.5%、「家賃（地代）が高いから」18.3%となった。

9. 「新しい中野をつくる 10 か年計画」に関する事項等

(1) 区(本庁舎)の窓口の利用状況……過去1年間の利用者は約6割

問18 区は、誰もが気持ちよく利用できる区役所を目標としています。
あなたは、過去1年くらいの間に区役所本庁舎の窓口を利用したことがありますか。

図9-1 区(本庁舎)の窓口の利用状況



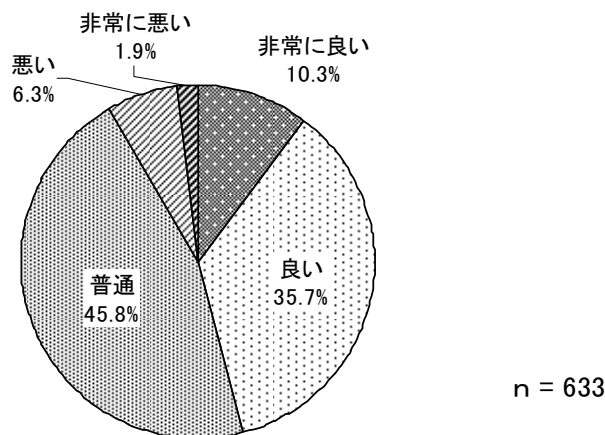
過去1年くらいの間に区役所本庁舎の窓口を利用したことがあるかたずねたところ、「ある」と答えた人は約6割の58.2%だった。

(2) 職員の窓口対応……“良い印象を持った層”は46.0%

【問18で「1 ある」という方に】

問18-1 そのときの職員の対応はいかがでしたか。(1つに○)

図9-2 職員の窓口対応

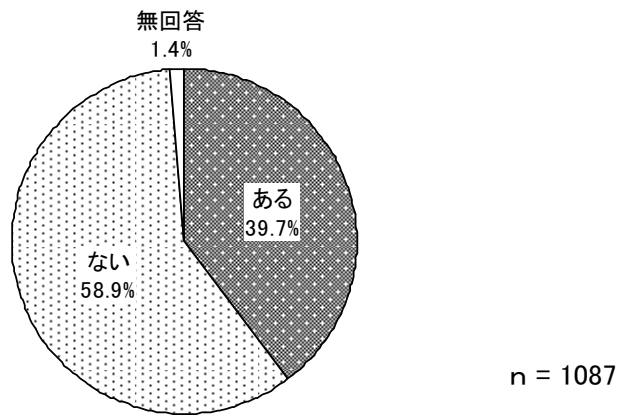


区役所本庁舎の窓口を利用したことがある人に、そのときの職員の対応についてたずねたところ、「非常に良い」(10.3%)と「良い」(35.7%)を合わせた“良い印象を持った層”は46.0%だった。反対に、「非常に悪い」(1.9%)と「悪い」(6.3%)を合わせた“悪い印象を持った層”は8.2%だった。

(3) 電話による区(本庁舎)への問い合わせ状況……過去1年間に問い合わせた人は約4割

問19 また、過去1年くらいの間に区役所本庁舎に電話をかけたことがありますか。

図9-3 電話による区(本庁舎)への問い合わせ状況



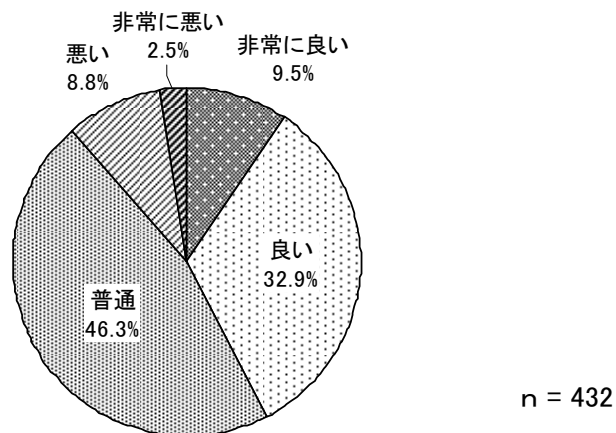
過去1年くらいの間に区役所本庁舎に電話をかけたことがあるかたずねたところ、約4割の人が「ある」と答えた。

(4) 職員の電話応対 ……“良い印象を持った層”は42.4%

【問19で「1 ある」という方に】

問19-1 そのときの職員の応対はいかがでしたか。(1つに○)

図9-4 職員の電話応対



区役所本庁舎に電話をかけたことがある人に、そのときの職員の応対についてたずねたところ、「非常に良い」(9.5%)と「良い」(32.9%)を合わせた“良い印象を持った層”は42.4%だった。

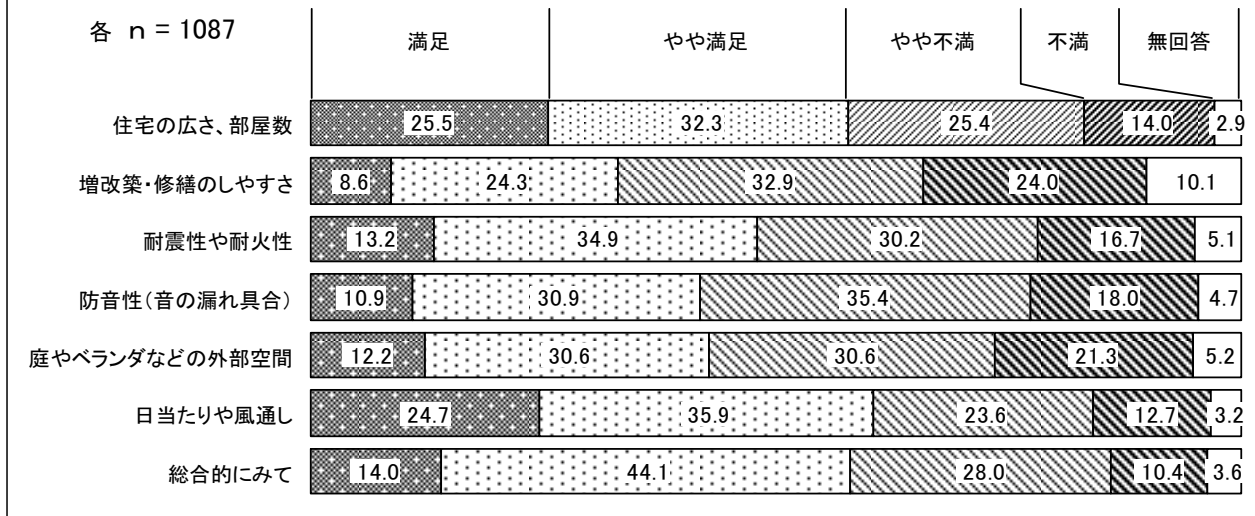
反対に、「非常に悪い」(2.5%)と「悪い」(8.8%)を合わせた“悪い印象を持った層”は11.3%だった。

(5)住まいの満足度……「総合的にみて」では約6割が“満足層”

問20 区は、安全で快適な住環境づくりを目標にしています。
あなたは、現在のお住まいにどの程度満足していますか。各項目ごとにお答えください。(1つずつ○)

図9-5 住まいの満足度

(%)



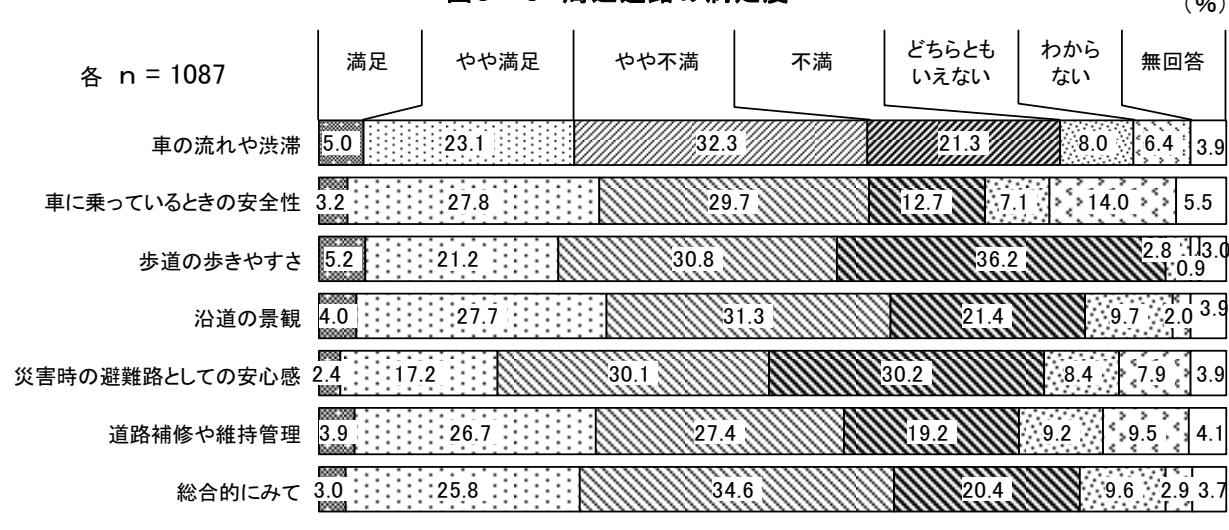
住まいについて「住宅の広さ、部屋数」など、7項目について満足度をたずねた。「総合的にみて」の項目では「満足」(14.0%)と「やや満足」(44.1%)を合計した“満足層”が58.1%となっている。

その他の項目で“満足層(「満足」+「やや満足」)”が多かったのは、「日当たりや風通し」(60.6%)、「住宅の広さ、部屋数」(57.8%)、反対に“不満層(「不満」+「やや不満」)”が多かったのは、「増改築・修繕のしやすさ」(56.9%)、「防音性(音の漏れ具合)」(53.4%)だった。

(6) 周辺道路の満足度……“不満層”が最も多いのは、「歩道の歩きやすさ」

問21 区は、地域に応じたまちづくりを進め、安全で快適な生活空間づくりを目標としています。あなたは、お住まいの周辺道路にどの程度満足していますか。各項目ごとにお答えください。(1つずつ○)

図9-6 周辺道路の満足度

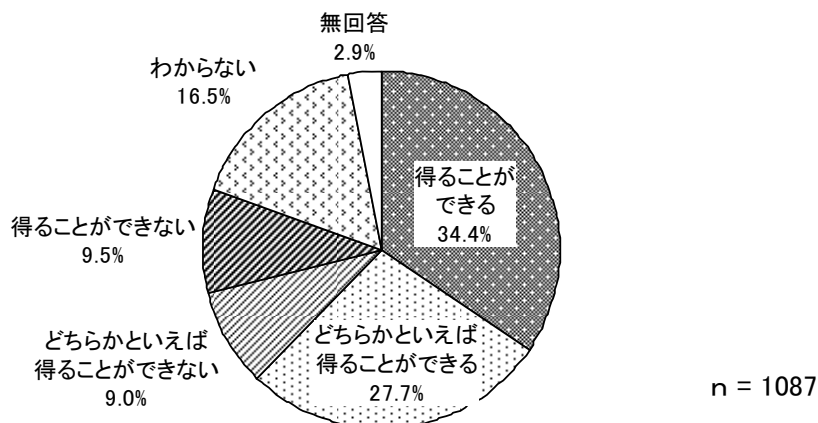


住まいの周辺道路について「車の流れや渋滞」など、7項目について満足度をたずねたところ、すべての項目で“不満層（「不満」＋「やや不満」）”が“満足層（「満足」＋「やや満足」）”を上回った。“不満層”が最も多いのは「歩道の歩きやすさ」（67.0%）、次いで「災害時の避難路としての安心感」（60.3%）となっている。

(7) 地域情報の入手状況……“得ることができる層”は 62.1%

問22 区は、地域で自主的な活動を活発に行っていただけるよう、地域の情報を十分提供することを目標としています。あなたは、お住まいの地域の情報について、地域センターの発行する地域ニュースや区のホームページ、ケーブルテレビなどで得ることができますか。(1つに○)

図9-7 地域情報の入手状況

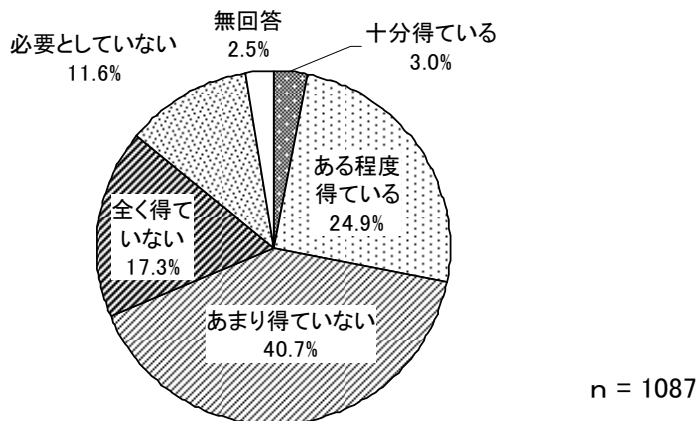


住んでいる地域の情報を地域ニュースやホームページ、ケーブルテレビなどで得ることができるかたずねたところ、“得ることができる層（「得ることができる」＋「どちらかといえば得ることができる」）”は 62.1%であった。一方、“得ることができない層（「得ることができない」＋「どちらかといえば得ることができない」）”は 18.5%となっている。

(8) 学習・スポーツ情報の入手状況……“得ていないと思う層”が約6割

問23 区は、区民のみなさんに生涯を通して学習・スポーツ活動を続けていただくために、さまざまな方法で情報提供を行うことを目標にしています。
あなたは、地域の学習・スポーツに関して知りたい情報を十分に得ていると感じますか。(1つに○)

図9-8 学習・スポーツ情報の入手状況

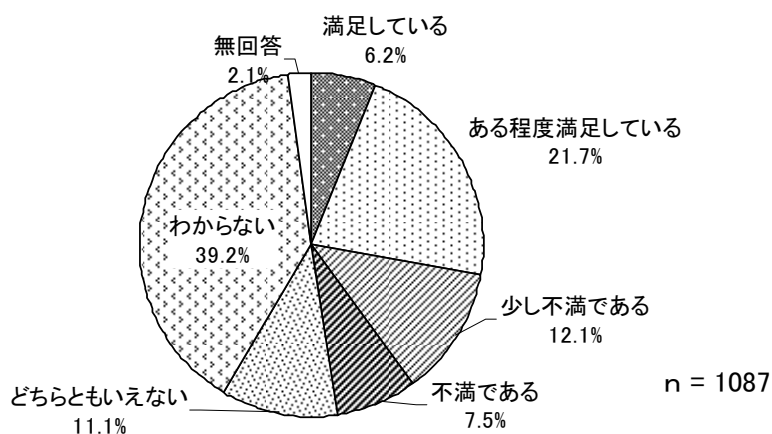


地域の学習・スポーツについて知りたい情報を十分に得ていると思うかたずねたところ、「あまり得ていない」(40.7%)と「全く得ていない」(17.3%)を合計した“得ていないと思う層”は58.0%となり、「十分得ている」(3.0%)と「ある程度得ている」(24.9%)を合計した“得ていると思う層”(27.9%)を上回った。なお、「必要としていない」と答えた人は11.6%だった。

(9) 図書館サービスの満足度……“満足層”は27.9%

問24 区は「区民にとって利用しやすく魅力ある図書館」を目標にしています。
あなたは、現在の図書館サービス(蔵書構成、インターネットサービス、レファレンスサービス、開館日、開館時間など)に満足していますか。(1つに○)

図9-9 図書館サービスの満足度

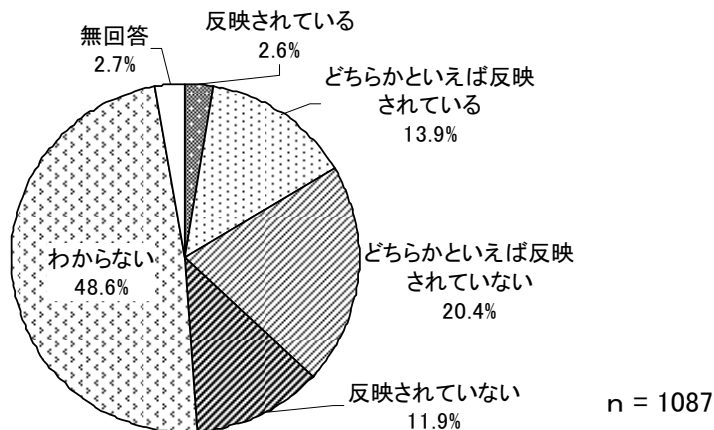


図書館サービスについての満足度をうかがったところ、“満足層(「満足している」+「ある程度満足している」)”は27.9%、“不満層(「不満である」+「少し不満である」)”は19.6%だった。

(10) 区民の意見・要望の反映度……“肯定層(「反映されている」+「どちらかといえば反映されている」)は 16.5%

問25 区は、多くの区民の意見・要望を区政運営に活かすことを目標にしています。あなたは、現在、区民の意見・要望などが区政に反映されていると思いますか。(1つに○)

図9-10 区民の意見・要望の反映度

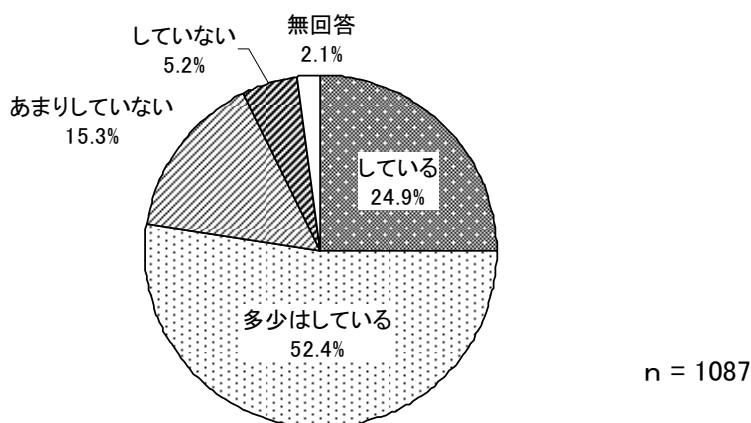


区民の意見や要望などが区政に反映されているかたずねたところ、「反映されている」(2.6%)と「どちらかといえば反映されている」(13.9%)を合計した“肯定層”は16.5%、一方、「反映されていない」(11.9%)と「どちらかといえば反映されていない」(20.4%)を合計した“否定層”は32.3%だった。なお、48.6%が「わからない」と答えた。

(11) 環境にやさしい行動をしているか……“している層”は 77.3%

問26 区は、区民の一人ひとりの方に環境にやさしい生活を送っていただくことを目標にしています。あなたは、環境にやさしい行動(冷暖房機の温度設定に気をつける、レジ袋を断る、車の停車時にエンジンを切るなど)をしていますか。(1つに○)

図9-11 環境にやさしい行動をしているか

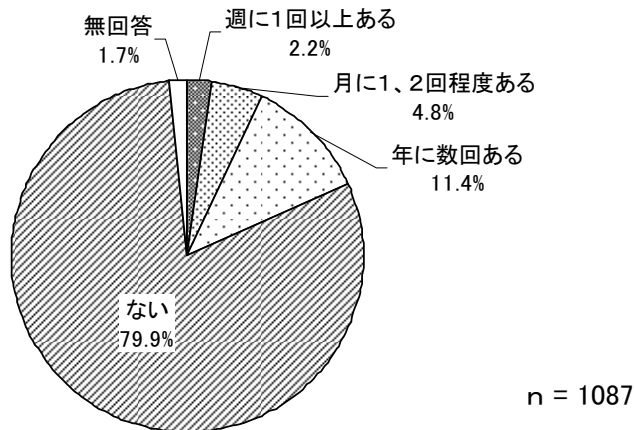


環境にやさしい行動をしているかたずねたところ、「多少はしている」が52.4%で最も多く、これに「している」(24.9%)を合わせた“している層”は77.3%となった。一方、「あまりしていない」(15.3%)と「していない」(5.2%)を合わせた“していない層”は20.5%となっている。

(12) 地域活動やボランティア活動の参加状況……8割が参加したことが「ない」

問27 区は、ボランティア活動など、区民の自主的な活動が活発に行われる社会を目標としています。あなたは、この1年間に町会・自治会、PTAなどの地域活動やボランティア活動をしたことがありますか。(1つに○)

図9-12 地域活動やボランティア活動の参加状況

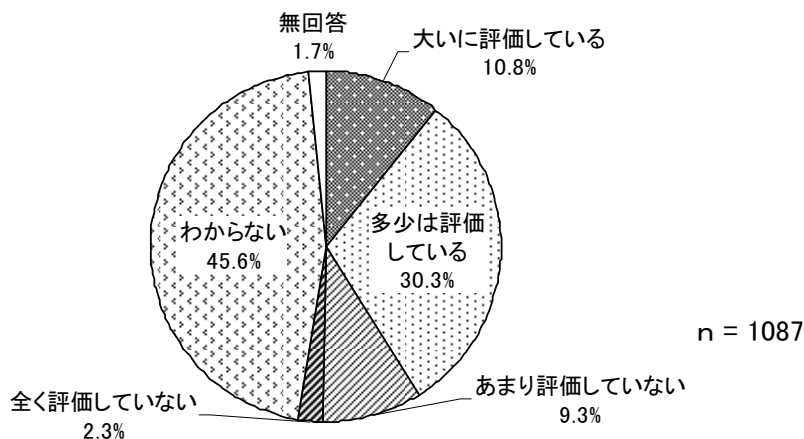


この1年間に地域活動やボランティア活動に参加したことがあるかたずねたところ、「ない」と答えた人が79.9%だった。

(13) 介護保険制度に対する評価……“肯定層(「大いに評価している」+「多少は評価している」)”は約4割

問28 区は、区民のみなさんが介護保険制度を使ったサービスを利用して、住み慣れた自宅・地域で暮らし続けられることを目標としています。介護保険制度が始まって4年が経過し、中野区では現在、約7千人の方がこのサービスを利用して生活しています。あなたは、この制度を全体として評価していますか。(1つに○)

図9-13 介護保険制度に対する評価

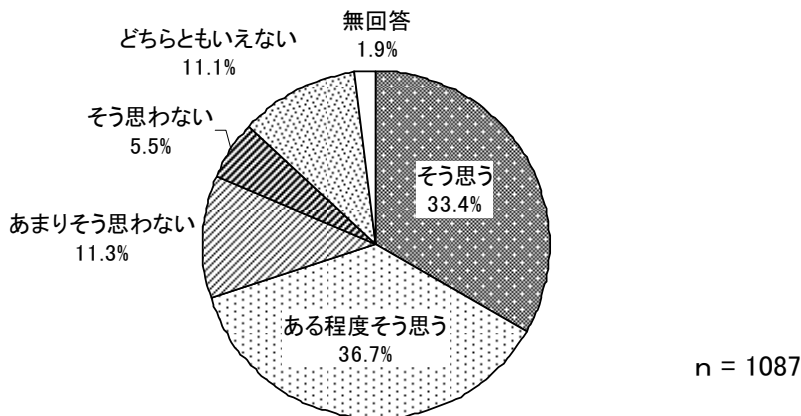


介護保険制度に対する評価をうかがったところ、「大いに評価している」が10.8%、「多少は評価をしている」が30.3%、これらを合計した“肯定層”は41.1%だった。反対に「全く評価していない」(2.3%)と「あまり評価していない」(9.3%)を合わせた“否定層”は11.6%だった。「わからない」と答えた人は45.6%だった。

(14) 性別役割分業の考え方をなくすべきか……“肯定層(「そう思う」+「ある程度層思う」)”が7割

問29 区は、性別による差別をなくし、男女が参画した立案や決定がされる社会を目標にしています。あなたは、例えば男は仕事、女は家庭というような性別役割分業の考え方をなくしていくべきだと考えますか。(1つに○)

図9-14 性別役割分業の考え方をなくすべきか



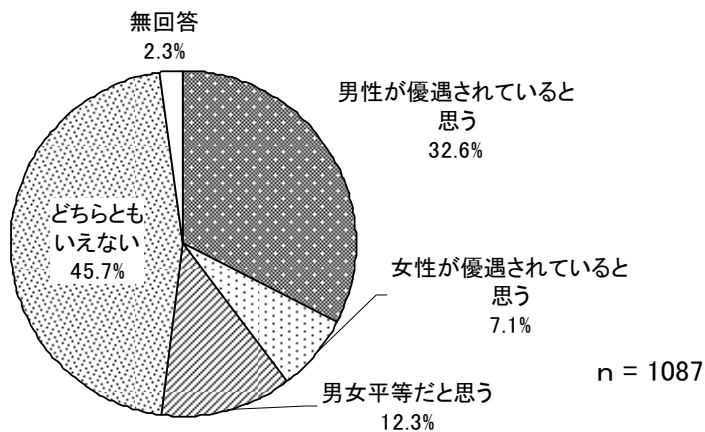
性的役割分業の考え方をなくしていくかべきかうかがったところ、「そう思う」(33.4%)と「ある程度そう思う」(36.7%)を合わせた“肯定層”は70.1%、「そう思わない」(5.5%)と「あまりそう思わない」(11.3%)を合わせた“否定層”は16.8%だった。

なお、「どちらともいえない」は11.1%だった。

(15) 男女平等意識……「男女平等だと思う」は12.3%

問30 また、社会のあらゆる場面で男性あるいは女性が優遇されていると思いますか。(1つに○)

図9-15 男女平等意識

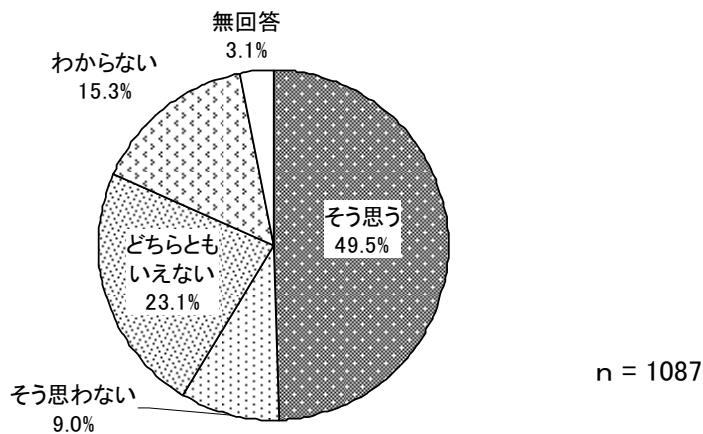


社会のあらゆる場面で男性あるいは女性が優遇されていると思うかたずねたところ、「どちらともいえない」が45.7%で最も多かった。また、「男性が優遇されていると思う」(32.6%)は「女性が優遇されていると思う」(7.1%)を大きく上回っている。「男女平等だと思う」と答えた人は12.3%だった。

(16)男女が多様な働き方ができるようになるべきか……「そう思う」が半数

問31 区は、すべての人に多様な働き方が選択できる社会を目標にしています。民間企業の中には一人あたりの労働時間を短くして、仕事を分かち合うワークシェアリングを導入するところも出始めています。あなたは、このような方法を用いて男女が多様な働き方ができるようになるべきだと思いますか。(1つに○)

図9-16 男女が多様な働き方ができるようになるべきか

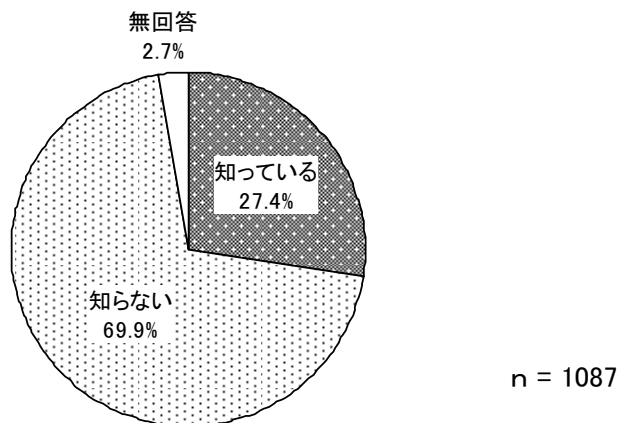


ワークシェアリングなどの方法を用いて、男女が多様な働き方ができるようになるべきかうかがったところ、49.5%の人が「そう思う」と答えた。一方、「そう思わない」は9.0%、「どちらともいえない」は23.1%だった。

(17)子ども総合相談窓口の周知度……「知っている」は27.4%

問32 区は、子育てに悩みを持った方がいつでも相談できる場を確保することを目標にしています。あなたは、区役所内に子ども総合相談窓口(子ども家庭支援センター)があることを知っていますか。

図9-17 子ども総合相談窓口の周知度

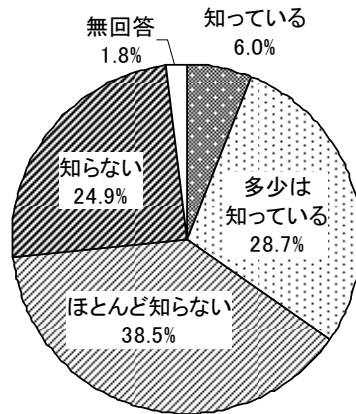


区役所内に子ども総合相談窓口があることを知っているかたずねたところ、「知っている」と答えた人は27.4%、「知らない」は69.9%だった。

(18)住民税の認知度……「ほとんど知らない」38.5%が最多

問33 区は、区民のみなさんに、税金を納得したうえで負担していただくことを目標にしています。区民のみなさんが区に納めている住民税は、区民サービスのための基本的な財源です。あなたは、住民税がどのような用途に使われているか知っていますか。(1つに○)

図9-18 住民税の認知度



n = 1087

住民税がどのような用途に使われているかを知っているかたずねたところ、「ほとんど知らない」(38.5%)と答えた人が最も多く、次いで「多少は知っている」(28.7%)、「知らない」(24.9%)の順だった。「知っている」は6.0%となっている。

2004 中野区政世論調査

2005年1月発行 文書番号16中総広第1142号

実施・編集・発行

中野区総務部広聴広報分野

東京都中野区中野4-8-1

電話(03)3389-4445(直通)
